

令和 2 年度
事業報告書

令和2年度 美作市社会福祉協議会事業報告書目次

事業名	ページ	事業種別
法人運営事業	1～8	継続
寄附金事業	9～10	継続
子ども応援夢基金	11	新規
社協会費	12～13	継続
企画広報事業	14	継続
地区社協活動の推進	15～32	継続
地区社協の概要と組織体系	15	継続
地域社協連絡会	16	継続
地区社協事業専門委員会	17	継続
地区社協会長会	17	継続
福祉ネットワークづくり事業：福祉会議	18～26	継続
おたがいさまネット事業	27～28	継続
地区社協メニュー事業（地区社協別実施状況）	29	継続
地区社協メニュー事業：高齢者ミニデイサービス事業	30	継続
地区社協メニュー事業：広報紙作成支援事業	30	継続
地区社協メニュー事業：地域文化伝承事業	30	継続
地区社協メニュー事業：サロン新規立上げ推進事業	31	継続
地区社協メニュー事業：友愛訪問支援事業	31	継続
救急医療情報キット配布事業	32	継続
高齢者ふれあい・いきいきサロン活動の支援	33	継続
サロン活動助成金	33	継続
高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿（年6回以上開催）	34～38	継続
我が事・丸ごとの地域力強化推進事業	39～42	継続
我が事・丸ごとの多機関協働による包括的支援体制構築事業	43～45	継続

事業名	ページ	事業種別
生活困窮者自立支援事業	46～49	継続
生活困窮者自立支援制度への対応 ①緊急食料支援おむすび事業・フードバンク事業 ②就学支援リユース事業	50	継続
生活困窮者自立支援制度への対応 ③子どもの学習支援・居場所づくり事業 ④生活困窮者等緊急援護資金貸付事業	51	継続
美作市内の社会福祉法人等連絡協議会（美作お助け隊）	52～58	継続
つどいの広場事業	59	継続
各種団体助成事業	60	継続
障害者地域活動支援センターⅠ型「なごみ」	61～64	継続
地域活動支援センターⅢ型「むぎの会」	65	継続
福祉移送サービス事業	66	継続
ファミリー・サポート・センター事業	67～68	継続
「食」の自立支援事業	69	継続
生活管理指導員派遣事業・産後ヘルパー派遣事業	70	継続
共同募金配分金事業	71	継続
ボランティア活動推進事業	72～74	継続
日常生活自立支援事業	75～76	継続
法人後見事業	77～78	継続
生活福祉資金貸付事業・生活福祉資金特例貸付事業	79～81	継続
施設管理事業	82	継続
障害者総合支援事業	83	継続
居宅介護支援事業	84	継続
通所介護事業	85～86	継続
訪問介護事業	87	継続

法人運営事業 ①

事業概要	<p>美作市社会福祉協議会の円滑な会務の遂行並びに効果的な事業執行を図るための基盤である理事会・評議員会の運営、さらに自主財源の確保、事業内容の整理統合を図りながら、住民参加を基本にした法人運営の管理業務を行いました。</p>	
主な活動記録	期 日	内 容
	令和2年4月13日	共同募金会配分交付式・事務局長会議（岡山県共同募金会）
	令和2年4月16日	勝英管内市町村社協連協事務局長会議（作東長寿センター）
		住宅確保給付金説明会（美作支所）
	令和2年4月17日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和2年5月12日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和2年5月20日	生活困窮者自立支援事業家計相談会（作東長寿センター）
	令和2年5月22日	美作市権利擁護以外支援検討委員会（美作市民センター）
	令和2年6月3日	令和2年度手話奉仕員養成講座入門編開校式（美作市民以外）
	令和2年6月10日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和2年6月17日	美咲町社協通帳預かりサービス事業視察（美咲町社協）
	令和2年6月19日	令和2年度美作お助け隊総会（作東長寿センター）
	令和2年6月24日	岡山県地域公益活動推進センター運営委員会（岡山県社協）
		岡山県共同募金会評議員会（岡山県社協）
	令和2年6月25日	障害者地域活動支援以外なごみ運営協議会（作東長寿以外）
	令和2年6月26日	美作市権利擁護以外支援検討委員会（世代交流多目的ホール）
		CSW（コミュニティワーカー）職員研修会（作東長寿センター）
	令和2年7月7日	社会を明るくする運動（保護司会）
	令和2年7月20日	美作市介護保険運営協議会（美作保健センター）
		生活困窮者自立支援事業家計相談会（作東長寿センター）
令和2年7月27日	常務理事設置に関わる市町村社協視察（浅口市社協）	
令和2年7月29日	令和2年度第2回美作お助け隊役員会（作東長寿センター）	
令和2年7月30日	美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）	
	生活支援体制整備事業第一層協議体会議（世代交流多目的ホール）	

	期 日	内 容
主な活動記録	令和2年7月31日	地域福祉実践研修会（岡山県社協）
	令和2年8月5日	岡山県共同募金会ブロック会議（岡山県社協）
	令和2年8月11日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和2年8月19日	美作市引きこもり等若年者就労支援事業会議（美作支所）
	令和2年8月25日～ 9月14日	フード&ライフドライブ事業 （美作お助け隊参加法人で受入れ）
	令和2年8月27日	生活困窮者自立支援事業実施社協連絡会（岡山県社協）
	令和2年8月28日	美作市権利擁護以外支援検討委員会（世代交流多目的ホール）
		C SW（コミュニティ・サポーター）職員研修会（作東長寿センター）
	令和2年9月2日	みまさかオレンジウォーク（美作市中心部県道沿い）
	令和2年9月4日	地域福祉実践基礎研修（岡山県社協）
	令和2年9月8日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和2年9月10日	美作市「生活と健康に関する調査」及び「社会的機能低下 疑い者への訪問調査」の結果報告会、今後の引きこもり等 困難者支援にむけての情報共有（美作市民センター）
		市民後見人養成研修事前説明会（美作支所）
	令和2年9月16日	日常生活自立支援事業監査
	令和2年9月18日	美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
	令和2年9月23日	生活困窮者自立支援事業家計相談会（作東長寿センター）
	令和2年9月25日	美作市権利擁護以外支援検討委員会（美作市民センター）
	令和2年9月30日	C SW（コミュニティ・サポーター）職員研修会（作東長寿センター）
		地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）
	令和2年10月5日	引きこもり支援会議（美作保健センター）
	令和2年10月12日	市町村社協会長・事務局長会議（岡山県社協）
	令和2年10月13日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和2年10月16日	美作市介護保険運営協議会（美作保健センター）
令和2年10月22日	勝英管内市町村社協権利擁護研修会（美作支所）	

	期 日	内 容
主な活動記録	令和2年10月23日	美作市権利擁護以外支援検討委員会（世代交流多目的ホール）
		CSW（コミュニティ・サポーター）職員研修会（作東長寿センター）
	令和2年10月29日	市町村社協地域福祉推進委員会（岡山県社協）
	令和2年11月10日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和2年11月17日	美作自修会オンライン研修会（美作支所）
	令和2年11月18日	夏のボランティア体験事業事前研修会（作東パルク・ライヴ）
	令和2年11月20日	生活困窮者自立支援事業家計相談会（作東長寿センター）
		地域共生社会推進フォーラム（岡山県社協）
	令和2年11月24日	美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
		生活支援体制整備事業第一層協議体会議（世代交流多目的ホール）
	令和2年11月27日	美作市権利擁護以外支援検討委員会（世代交流多目的ホール）
		CSW（コミュニティ・サポーター）職員研修会（作東長寿センター）
	令和2年11月30日	相談援助基礎研修会（津山市社協）
	令和2年12月8日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和2年12月9日	社会福祉法人ネットワーク情報交換会（岡山県社協）
	令和2年12月11日	美作お助け隊役員会（作東長寿センター）
	令和2年12月14日	美作市権利擁護以外支援検討委員会（世代交流多目的ホール）
	令和2年12月15日	市町村社協地域福祉推進委員会（岡山県社協）
	令和2年12月18日	障害者地域活動支援以外・なごみ運営協議会（作東長寿以外）
		CSW（コミュニティ・サポーター）職員研修会（作東長寿センター）
	令和2年12月21日	生活困窮者自立支援事業中間就労研修会（岡山県社協）
		生活困窮者自立支援事業家計相談会（作東長寿センター）
令和2年12月25日	美作市介護保険運営協議会（美作保健センター）	
令和3年1月7日	多機関協働による包括的支援体制構築事業中四国ブロック研修会（美作市民センター）	
令和3年1月12日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）	

主な活動記録	期 日	内 容
	令和3年1月22日	美作市権利擁護センター支援検討委員会（世代交流多目的ホール）
		市民後見人養成研修個人面接（美作市民センター）
	令和3年1月27日	地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）
	令和3年1月29日	C SW（コミュニティソーシャルワーカー）職員研修会（作東長寿センター）
	令和3年2月1日	子ども応援夢基金貸付審査会（作東長寿センター）
	令和3年2月2日	美作市障がい者計画・障がい福祉計画策定委員会（美作保健センター）
	令和3年2月3日	市町村社協会長・事務局長会議（岡山県社協）
		美作市保健福祉部社会福祉課相談援助研修（職員5名参加）
	令和3年2月4日	美作市保健福祉部社会福祉課相談援助研修（職員5名参加）
		地域福祉実践基礎研修（岡山県社協）
	令和3年2月9日	地域包括支援センター受託調整会議（作東長寿センター）
		生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
	令和3年2月10日	マルナカ美作店移動販売事業調整会議（作東長寿センター）
	令和3年2月12日	地域福祉実践基礎研修（岡山県社協）
	令和3年2月15日	岡山県地域公益活動推進センター 社会福祉法人役員セミナー（岡山県社協）
	令和3年2月16日	招（商）福連携による移動販売事業説明会（東粟倉総合支所）
	令和3年2月19日	美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
		岡山県社会福祉士会定例研修会（美作支所）
	令和3年2月26日	美作市権利擁護センター支援検討委員会（世代交流多目的ホール）
C SW（コミュニティソーシャルワーカー）職員研修会（作東長寿センター）		
令和3年3月1日	美作市障がい者計画・障がい福祉計画策定委員会（美作保健センター）	
令和3年3月11日	成年後見制度説明会（美作名倉堂）	
令和3年3月16日	岡山県地域公益活動推進センター運営委員会（岡山県社協）	
	岡山県社会福祉士会シンポジウム（岡山県社協）	

	期 日	内 容
主な活動記録	令和3年3月18日	市町村社協地域福祉推進委員会（岡山県社協）
	令和3年3月19日	美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
	令和3年3月22日	生活困窮者自立支援事業家計相談会（作東長寿センター）
	令和3年3月23日	生活困窮者自立支援事業支援調整会議（美作保健センター）
		障害者地域活動支援センター-なごみ運営協議会（作東長寿センター）

	期 日	報 告 事 項 ・ 議 案																																				
令和2年度 理事会の 開催状況	第1回 理事会 令和2年6月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度一般会計第1次補正予算について ・ 子ども応援夢基金について ・ 令和元年度事業報告について ・ 令和元年度一般会計収支決算報告について ・ 評議員選任候補者の推薦について ・ 令和2年度 定時評議員会の開催について (理事10名・監事2名出席) 																																				
	第2回 理事会 令和2年10月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美作市地域包括支援センターの受託について ・ 美作市大原居宅サービスセンター、美作コスモス苑、及び美作市東栗倉ふれあいセンターの指定管理撤退について ・ 美作市社会福祉協議会大原支所・東栗倉支所の事務所移転と統合について ・ 美作市社会福祉協議会美作支所の事務所移転について ・ 大原指定居宅介護支援事業所の事業撤退について ・ 生活福祉資金貸付事業特例貸付の実績報告について ・ 子ども応援夢基金の実績報告について ・ 令和2年度 第2回評議員会の開催について (理事10名・監事2名出席) 																																				
	第3回 理事会 令和3年2月5日 書面決議による開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専決処分の報告について ・ 子ども応援夢基金貸付審査会委員の選任について ・ 積立基金設置及び管理運営に関する規程の一部改正について ・ 経理規程の一部改正について ・ 事務局規程の一部改正について ・ 事務決裁規程の一部改正について ・ 職員給与規程の一部改正について ※令和3年2月5日、理事全員より同意書を受理 																																				
	第4回 理事会 令和3年3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援事業所みらいの移転について ・ 令和2年度一般会計第2次補正予算について ・ 定款の変更について ・ 令和3年度事業計画について ・ 令和3年度一般会計収支予算について ・ 令和2年度第3回評議員会の開催について (理事9名・監事2名出席、表決書提出者1名) 																																				
理 事 ・ 監 事 名 簿	<p>美作市社会福祉協議会理事・監事名簿(令和3年3月31日現在)</p> <table border="0"> <tr> <td>会 長</td> <td>山本眞澄</td> <td>(学識経験を有する者)</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>正子初美</td> <td>(民生委員児童委員協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>理 事</td> <td>坂元秀明</td> <td>(勝田地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>春名信義</td> <td>(大原地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>小松美之</td> <td>(東栗倉地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>角南展弘</td> <td>(美作地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>長瀬鈴子</td> <td>(作東地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>長船洋行</td> <td>(英田地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>高橋秀記</td> <td>(社会福祉事業の経営に関する見識を有する者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>亀山弘道</td> <td>(保健医療関係者)</td> </tr> <tr> <td>監 事</td> <td>船曳隆司</td> <td>(財務諸表等を監査し得る者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>浅尾善郎</td> <td>(社会福祉事業に学識を有する者)</td> </tr> </table>		会 長	山本眞澄	(学識経験を有する者)	副会長	正子初美	(民生委員児童委員協議会の代表者)	理 事	坂元秀明	(勝田地域社協の代表者)	//	春名信義	(大原地域社協の代表者)	//	小松美之	(東栗倉地域社協の代表者)	//	角南展弘	(美作地域社協の代表者)	//	長瀬鈴子	(作東地域社協の代表者)	//	長船洋行	(英田地域社協の代表者)	//	高橋秀記	(社会福祉事業の経営に関する見識を有する者)	//	亀山弘道	(保健医療関係者)	監 事	船曳隆司	(財務諸表等を監査し得る者)	//	浅尾善郎	(社会福祉事業に学識を有する者)
会 長	山本眞澄	(学識経験を有する者)																																				
副会長	正子初美	(民生委員児童委員協議会の代表者)																																				
理 事	坂元秀明	(勝田地域社協の代表者)																																				
//	春名信義	(大原地域社協の代表者)																																				
//	小松美之	(東栗倉地域社協の代表者)																																				
//	角南展弘	(美作地域社協の代表者)																																				
//	長瀬鈴子	(作東地域社協の代表者)																																				
//	長船洋行	(英田地域社協の代表者)																																				
//	高橋秀記	(社会福祉事業の経営に関する見識を有する者)																																				
//	亀山弘道	(保健医療関係者)																																				
監 事	船曳隆司	(財務諸表等を監査し得る者)																																				
//	浅尾善郎	(社会福祉事業に学識を有する者)																																				

	期 日	報 告 事 項 ・ 議 案																																																
令和2年度 評議員会の 開催状況	第1回 評議員会 令和2年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度一般会計第1次補正予算について ・ 子ども応援夢基金について ・ 令和元年度事業報告について ・ 令和元年度一般会計収支決算報告について ・ 理事の補充選任について (評議員9名・監事1名出席) 																																																
	第2回 評議員会 令和2年11月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美作市地域包括支援センターの受託について ・ 美作市大原居宅サービスセンター、美作市コスモス苑、及び美作市東粟倉ふれあいセンターの指定管理撤退について ・ 美作市社会福祉協議会大原支所・東粟倉支所の事務所移転と統合について ・ 美作市社会福祉協議会美作支所の事務所移転について ・ 大原指定居宅介護支援事業所の事業撤退について ・ 生活福祉資金貸付事業特例貸付の実績報告について ・ 子ども応援夢基金の実績報告について (評議員14名出席) 																																																
	第3回 評議員会 令和3年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専決処分の報告について ・ 子ども応援夢基金貸付審査会委員の選任について ・ 積立基金設置及び管理運営に関する規程の一部改正について ・ 経理規程の一部改正について ・ 事務局規程の一部改正について ・ 事務決裁規程の一部改正について ・ 職員給与規程の一部改正について ・ 相談支援事業所みらいの移転について ・ 令和2年度一般会計第2次補正予算について ・ 定款の変更について ・ 令和3年度事業計画について ・ 令和3年度一般会計収支予算について (評議員15名出席) 																																																
評議員名簿	<p>美作市社会福祉協議会評議員名簿(令和3年3月31日現在)</p> <table border="0"> <tr> <td>評議員</td> <td>下山文男</td> <td>(勝田地域自治振興協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>小松俊行</td> <td>(大原地域自治振興協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>井上 豪</td> <td>(東粟倉地域自治振興協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>鳥越重一</td> <td>(美作地域自治振興協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>原 知行</td> <td>(作東地域自治振興協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>遠藤 清</td> <td>(英田地域自治振興協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>井上正子</td> <td>(愛育委員会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>小椋宏子</td> <td>(栄養委員会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>高田好己</td> <td>(老人クラブ連合会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>伴 正收</td> <td>(身体障害者福祉協会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>福田洋江</td> <td>(ボランティア活動団体の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>熊谷要治</td> <td>(保護司会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>安東真理子</td> <td>(精神障害者家族会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>山本敏子</td> <td>(知的障害者家族会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>赤堀桂子</td> <td>(主任児童委員の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>江見 勉</td> <td>(行政関係者：美作市保健福祉部長)</td> </tr> </table>		評議員	下山文男	(勝田地域自治振興協議会の代表者)	//	小松俊行	(大原地域自治振興協議会の代表者)	//	井上 豪	(東粟倉地域自治振興協議会の代表者)	//	鳥越重一	(美作地域自治振興協議会の代表者)	//	原 知行	(作東地域自治振興協議会の代表者)	//	遠藤 清	(英田地域自治振興協議会の代表者)	//	井上正子	(愛育委員会の代表者)	//	小椋宏子	(栄養委員会の代表者)	//	高田好己	(老人クラブ連合会の代表者)	//	伴 正收	(身体障害者福祉協会の代表者)	//	福田洋江	(ボランティア活動団体の代表者)	//	熊谷要治	(保護司会の代表者)	//	安東真理子	(精神障害者家族会の代表者)	//	山本敏子	(知的障害者家族会の代表者)	//	赤堀桂子	(主任児童委員の代表者)	//	江見 勉	(行政関係者：美作市保健福祉部長)
評議員	下山文男	(勝田地域自治振興協議会の代表者)																																																
//	小松俊行	(大原地域自治振興協議会の代表者)																																																
//	井上 豪	(東粟倉地域自治振興協議会の代表者)																																																
//	鳥越重一	(美作地域自治振興協議会の代表者)																																																
//	原 知行	(作東地域自治振興協議会の代表者)																																																
//	遠藤 清	(英田地域自治振興協議会の代表者)																																																
//	井上正子	(愛育委員会の代表者)																																																
//	小椋宏子	(栄養委員会の代表者)																																																
//	高田好己	(老人クラブ連合会の代表者)																																																
//	伴 正收	(身体障害者福祉協会の代表者)																																																
//	福田洋江	(ボランティア活動団体の代表者)																																																
//	熊谷要治	(保護司会の代表者)																																																
//	安東真理子	(精神障害者家族会の代表者)																																																
//	山本敏子	(知的障害者家族会の代表者)																																																
//	赤堀桂子	(主任児童委員の代表者)																																																
//	江見 勉	(行政関係者：美作市保健福祉部長)																																																
正副会長会 開催状況	第1回正副会長会 令和2年6月3日	第1回理事会、第1回評議員会議案審議																																																

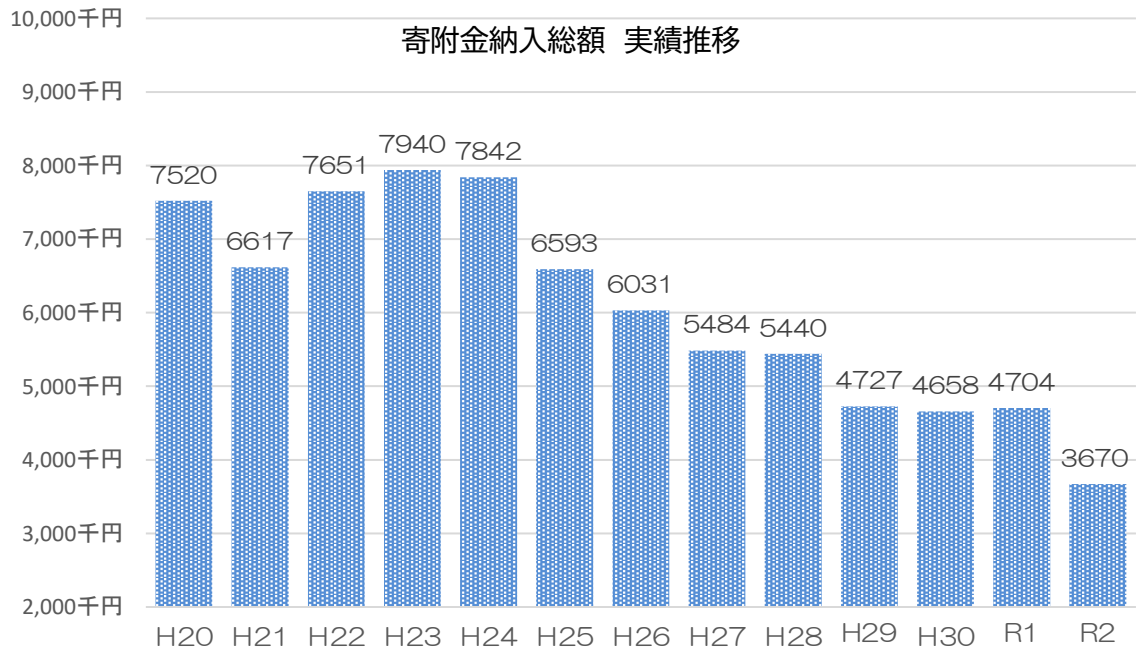
評議員選任 解任委員会	令和2年6月30日	欠員補充のため4名の評議員を選任	
監査開催状況	令和2年5月29日	令和元年度 決算監査	
	令和2年9月16日	令和2年度 日常生活自立支援事業実施状況調査	
	令和2年10月19日	令和2年度 内部監査（6支所の監査）	
	令和2年12月8日	令和2年度 中間監査	
	令和3年3月18日	令和2年度 日常生活自立支援事業内部監査	
講演依頼等	令和2年8月18日	養護老人ホーム塩手荘（成年後見制度について）	
	令和2年12月21日	養護老人ホーム塩手荘（成年後見制度について）	
	令和3年2月25日	岡山県地域公益活動推進センター（美作お助け隊の活動について）	
	令和3年3月11日	美作名倉堂職員研修（成年後見制度について）	
相談援助実習	相談援助実習の受け入れ（美作大学生：2名）		
外部委員等の 就任状況	関 連 委 員 等		担 当
	岡山県社会福祉協議会 評議員		山本会長
	岡山県共同募金会 評議員		
	美作市介護保険運営協議会 委員		
	全国社会福祉協議会・地域福祉推進委員会市区町村社協代表委員		春名事務局長
	岡山県地域公益活動推進センター運営委員会 委員		
	岡山県市町村社協地域福祉推進委員会 委員		
	美作市障がい者計画・障がい福祉計画策定委員会 委員		

寄附金事業 ①

事業概要

市民の皆様からお寄せ頂いた香典返しや見舞い返し等の寄附金は、美作市社協が推進する地域福祉事業の浄財です。
令和2年度は、次項の寄附金事業支出内訳に記載する、地区社協・サロン等の地域福祉事業と市社協の権利擁護事業・広報事業等に活用させて頂きました。

寄付金収入状況推移



	一般寄付金		見舞い返し		香典返し		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成20年度	16件	324,719円	54件	658,000円	306件	6,538,000円	376件	7,520,719円
平成21年度	6件	91,035円	33件	415,000円	326件	6,111,000円	365件	6,617,035円
平成22年度	19件	341,706円	48件	597,810円	323件	6,712,175円	390件	7,651,691円
平成23年度	19件	302,415円	47件	619,000円	338件	7,019,000円	404件	7,940,415円
平成24年度	20件	264,292円	52件	751,000円	309件	6,827,500円	381件	7,842,792円
平成25年度	19件	1,090,666円	22件	315,000円	269件	5,187,500円	310件	6,593,166円
平成26年度	20件	298,553円	25件	292,000円	310件	5,440,500円	355件	6,031,053円
平成27年度	19件	190,848円	28件	286,526円	322件	5,007,500円	369件	5,484,874円
平成28年度	18件	170,152円	21件	163,765円	286件	5,107,000円	325件	5,440,917円
平成29年度	23件	209,132円	18件	149,000円	259件	4,369,000円	300件	4,727,132円
平成30年度	22件	221,669円	19件	155,000円	248件	4,282,000円	289件	4,658,669円
令和元年度	21件	325,926円	10件	118,000円	257件	4,260,500円	288件	4,704,426円
令和2年度	24件	480,856円	7件	65,000円	207件	3,125,000円	238件	3,670,856円

寄附金科目内訳		支 所 内 訳						合 計
		勝 田	大 原	東栗倉	美 作	作 東	英 田	
一般寄附金	件数	2件	1件	1件	4件	15件	1件	24件
	金額	21,000円	100,000円	50,000円	125,856円	174,000円	10,000円	480,856円
見舞い返し	件数	2件		1件	1件	3件		7件
	金額	20,000円		5,000円	30,000円	10,000円		65,000円
香典返し	件数	28件	23件	9件	65件	55件	27件	207件
	金額	445,000円	430,000円	120,000円	1,008,000円	822,000円	300,000円	3,125,000円
令和2年度合計	件数	32件	24件	11件	70件	73件	28件	238件
	金額	486,000円	530,000円	175,000円	1,163,856円	1,006,000円	310,000円	3,670,856円
令和元年度合計	件数	31件	31件	15件	92件	85件	34件	288件
	金額	411,000円	460,000円	240,000円	1,951,870円	1,023,500円	618,056円	4,704,426円
寄附金事業支出内訳	区分	事 業 名						事 業 費
	地区社協	①地区社協広報紙作成支援事業						57,090円
		②地域文化伝承事業						30,000円
		③救急医療情報キット配布事業						63,600円
		④友愛訪問支援事業						410,160円
	サロン	⑤高齢者ふれあい・いきいきサロン助成金事業						1,579,000円
	市社協	⑥法人後見事業						1,200,000円
		⑦「社協だより」広報事業						1,333,200円
		⑧「私の生き方ノート」制作代						12,650円
		⑨緊急食糧支援おむすび事業						5,872円
		⑩子どもの学習支援居場所づくり事業						63,315円
合 計							4,754,887円	
寄附金事業の財源不足分1,084,031円は社協会費より充当								

<p>事業概要</p>	<p>「子ども応援夢基金」は、美作市社協が令和2年8月1日に創設した生活困窮世帯の子どもへの支援に特化した寄附金を財源とする基金です。 制度の狭間で支援が行き届かない生活困窮世帯の子どもの実態を市民や市内企業、団体等に伝え、寄附を通じて社会貢献や地域貢献の機会をファンドレイジングにより提供し、集まった寄附金を財源に、義務教育の中で行われている就学援助制度の支援から外れる就学や就職に必要な経費の一部を無利子で貸付けをすることにより、親から子への「貧困の連鎖」を断ち切る、生活困窮世帯の子どもたちを支援する新たな仕組みです。 なお、資金貸付は当初令和3年度から実施する予定でしたが、事業開始1年間から多額の寄附金が寄せられたため、令和2年度より前倒しして実施することとしました。</p>	
<p>基金の内容</p>	<p>基金目標額</p>	<p>500万円</p>
<p>寄附金募集期間</p>	<p>令和2年8月1日～令和7年3月31日</p>	
<p>寄附金受付方法</p>	<p>社協本所及び各支所で現金納付又は銀行振込、郵便振替</p>	
<p>貸付対象者</p>	<p>美作市に居住する子ども（満18歳に達する年度末までの子）の保護者で、経済的な理由等で家計に課題を抱え、本会が行う生活困窮者自立支援事業の「家計改善支援プラン」の作成を受けた世帯</p>	
<p>貸付金額</p>	<p>子ども一人に対し1回20万円以内を貸付け</p>	
<p>貸付の種類</p>	<p>現行の制度やサービスではカバーできない、生活困窮世帯の子どもの進学や就職のために必要な以下の経費を貸付するとともに、その世帯及び保護者も含めた支援を実施 ① 入学時に必要な経費（通学費用・教材費・制服代等） ② 小・中・高校の修学旅行費 ③ 普通自動車及び原動機付自転車運転免許取得に必要な経費 ④ 就職に必要な経費</p>	
<p>償還方法等</p>	<p>① 貸付利息は無利子、償還は3年以内、据置期間は6カ月以内。 ② 償還は本会窓口において現金納付又はゆうちょ銀行の払込取扱票</p>	
<p>貸付審査会</p>	<p>貸付は、子ども応援夢基金貸付審査会に諮り決定する</p>	
<p>寄附金実績額</p>	<p>令和2年度寄附金実績額：3,248,752円 （募集期間：令和2年8月1日～令和3年3月31日） ■個人等：32件（818,752円） ■法人・企業：13件（2,430,000円）</p>	
<p>貸付け実績</p>	<p>貸付件数</p>	<p>1件</p>
<p>貸付金額</p>	<p>200,000円</p>	
<p>貸付目的</p>	<p>普通自動車免許取得費用</p>	
<p>貸付審査会開催状況</p>	<p>子ども応援夢基金貸付審査会（現任理事より選出） 委員長：正子初美、委員：坂元英明、長瀬鈴子 第1回貸付審査会 期日：令和3年2月1日（月） 場所：作東長寿センター 件数：1件</p>	



<p>事業概要</p>	<p>社協の活動は、美作市や県社協からの受託金、補助金その他、市民や団体、企業の皆様からの社協会費や寄附金等を財源としています。 社協会費は、福祉のまちづくりをすすめるための貴重な自主財源で、納入いただいた会費から、地区社協実態調査の世帯数に200円を乗じた額を差し引いた額を、各地区社協の活動費として配分しています。</p>																																																																							
<p>社協会費内</p>	<p>普通会費 1,000円 賛助会費 3,000円 特別会費 5,000円</p>																																																																							
<p>社協会費納入額推移</p>	<div style="text-align: center;"> <p>社協会費納入額・配分額推移</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入額</td> <td>7,768,500円</td> <td>7,697,500円</td> <td>7,571,500円</td> <td>7,516,000円</td> <td>7,241,000円</td> <td>7,191,000円</td> <td>99.3%</td> </tr> <tr> <td>配分額</td> <td>6,727,600円</td> <td>6,681,300円</td> <td>5,580,900円</td> <td>5,565,200円</td> <td>5,308,800円</td> <td>5,284,400円</td> <td>99.5%</td> </tr> </tbody> </table>									平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	前年比	収入額	7,768,500円	7,697,500円	7,571,500円	7,516,000円	7,241,000円	7,191,000円	99.3%	配分額	6,727,600円	6,681,300円	5,580,900円	5,565,200円	5,308,800円	5,284,400円	99.5%																																								
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	前年比																																																																	
収入額	7,768,500円	7,697,500円	7,571,500円	7,516,000円	7,241,000円	7,191,000円	99.3%																																																																	
配分額	6,727,600円	6,681,300円	5,580,900円	5,565,200円	5,308,800円	5,284,400円	99.5%																																																																	
<p>地域別会費納入額推移</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>平成30年</th> <th>令和2年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勝田</td> <td>861,000円</td> <td>857,000円</td> <td>833,000円</td> <td>837,000円</td> <td>809,000円</td> <td>782,000円</td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>大原</td> <td>1,057,000円</td> <td>1,035,000円</td> <td>1,009,000円</td> <td>1,000,000円</td> <td>980,000円</td> <td>988,000円</td> <td>100.8%</td> </tr> <tr> <td>東粟倉</td> <td>329,000円</td> <td>315,000円</td> <td>308,000円</td> <td>299,000円</td> <td>296,000円</td> <td>285,000円</td> <td>96.2%</td> </tr> <tr> <td>美作</td> <td>2,797,000円</td> <td>2,797,500円</td> <td>2,779,500円</td> <td>2,774,000円</td> <td>2,611,000円</td> <td>2,626,000円</td> <td>100.5%</td> </tr> <tr> <td>作東</td> <td>1,962,000円</td> <td>1,939,000円</td> <td>1,902,000円</td> <td>1,895,000円</td> <td>1,847,000円</td> <td>1,827,000円</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>英田</td> <td>762,500円</td> <td>754,000円</td> <td>740,000円</td> <td>711,000円</td> <td>698,000円</td> <td>683,000円</td> <td>97.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,768,500円</td> <td>7,697,500円</td> <td>7,571,500円</td> <td>7,516,000円</td> <td>7,241,000円</td> <td>7,191,000円</td> <td>99.3%</td> </tr> </tbody> </table>									平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成30年	令和2年	前年比	勝田	861,000円	857,000円	833,000円	837,000円	809,000円	782,000円	96.6%	大原	1,057,000円	1,035,000円	1,009,000円	1,000,000円	980,000円	988,000円	100.8%	東粟倉	329,000円	315,000円	308,000円	299,000円	296,000円	285,000円	96.2%	美作	2,797,000円	2,797,500円	2,779,500円	2,774,000円	2,611,000円	2,626,000円	100.5%	作東	1,962,000円	1,939,000円	1,902,000円	1,895,000円	1,847,000円	1,827,000円	98.9%	英田	762,500円	754,000円	740,000円	711,000円	698,000円	683,000円	97.8%	合計	7,768,500円	7,697,500円	7,571,500円	7,516,000円	7,241,000円	7,191,000円	99.3%
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成30年	令和2年	前年比																																																																	
勝田	861,000円	857,000円	833,000円	837,000円	809,000円	782,000円	96.6%																																																																	
大原	1,057,000円	1,035,000円	1,009,000円	1,000,000円	980,000円	988,000円	100.8%																																																																	
東粟倉	329,000円	315,000円	308,000円	299,000円	296,000円	285,000円	96.2%																																																																	
美作	2,797,000円	2,797,500円	2,779,500円	2,774,000円	2,611,000円	2,626,000円	100.5%																																																																	
作東	1,962,000円	1,939,000円	1,902,000円	1,895,000円	1,847,000円	1,827,000円	98.9%																																																																	
英田	762,500円	754,000円	740,000円	711,000円	698,000円	683,000円	97.8%																																																																	
合計	7,768,500円	7,697,500円	7,571,500円	7,516,000円	7,241,000円	7,191,000円	99.3%																																																																	

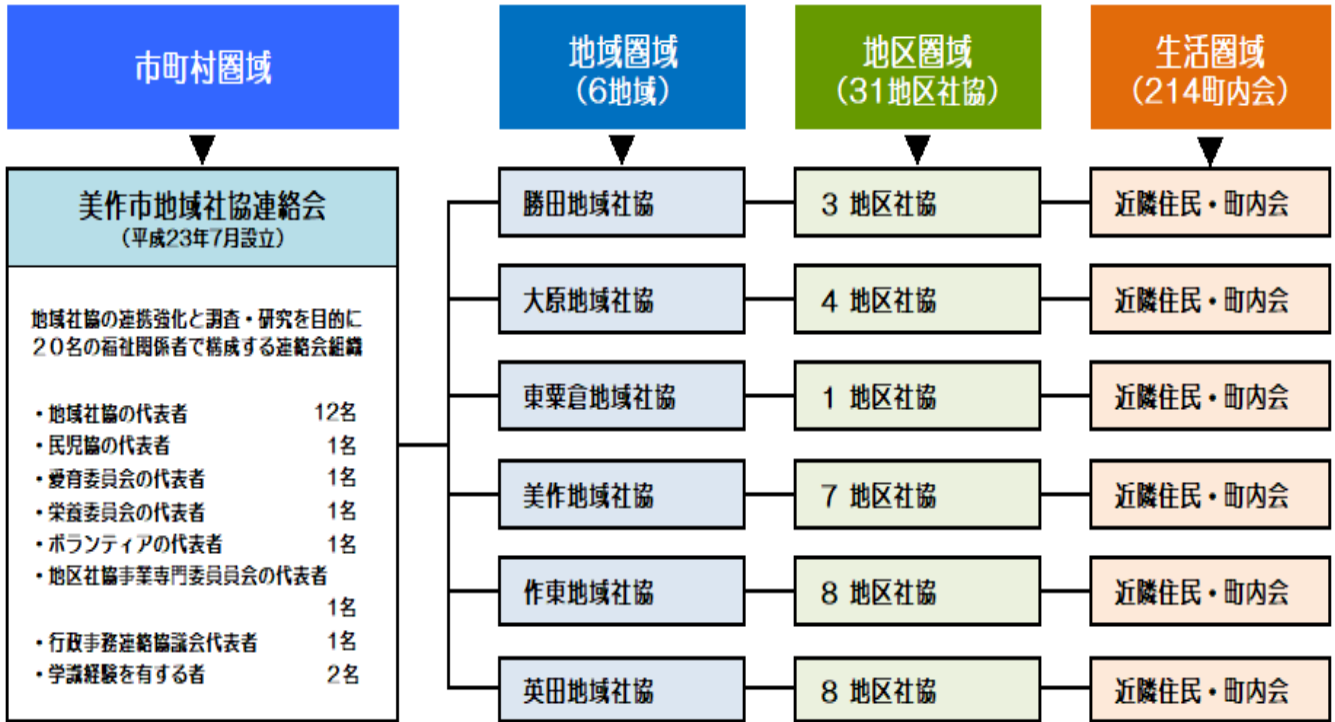
社協会費 ②



※世帯数は、令和2年4月1日現在の地区社協実態調査表による地域別の総世帯数

<p>事業の概要</p>	<p>市民の皆様からいただいた社協会費及び寄付金を財源に、社協が実施する諸事業・活動の紹介、福祉サービス・ボランティア活動に関する情報等を掲載した広報紙「はい！社協です」を発行し、地域福祉活動の啓発を図っています。広報紙は平成23年11月号から有料広告を掲載し市内全戸に配布しています。</p> <p>また、インターネットを活用した「ホームページ」も平成24年4月リニューアルし、本会事業の取組みや地域福祉情報の発信を行っています。</p>			
<p>広報紙の仕様</p>	<p>A4：12ページ 表1・表4カラー 中面2色</p>			
<p>発行回数</p>	<p>隔月発行（平成29年5月号～）</p>	<p>発行部数</p>	<p>12,400部</p>	
<p>配布方法</p>	<p>美作市広報紙に挟みこみ</p>	<p>発行財源</p>	<p>社協会費・寄附金</p>	
<p>有料広告</p>	<p>1枠：10,000円、2枠：20,000円</p>	<p>協賛事業者</p>	<p>11事業者</p>	
<p>内 容</p>				
<p>令和2年5月号</p>	<p>令和2年度事業計画・予算が決定、家計相談会、訪問介護事業所の統合について輝くボランティア、高齢者ふれあい・いきいきサロン紹介、人事異動、フードバンク活動を始めました、第17回暮らしの困りごと相談会、新入職員紹介他</p>			
<p>令和2年7月号</p>	<p>福祉出前ステーションについて、美作市社協ボランティアセンターについて、令和2年度会員加入のお願い、緊急小口資金（特例貸付）のご案内、輝くボランティア、食糧支援おむすび事業、「私の生き方ノート」の販売、手作りマスク差し上げます、子育て用品・車椅子の貸し出他</p>			
<p>令和2年9月号</p>	<p>子ども応援夢基金へのご協力をお願いします、令和元年度事業報告・決算報告、令和元年度寄附金活用報告、生活困窮者自立支援事業、令和元年度社協会費実績報告、パシフィコエナジーよりマスクを寄附、フード＆ライフドライブ、家計相談会、輝くボランティア、市民後見人養成研修受講生募集、食糧支援おむすび事業他</p>			
<p>令和2年11月号</p>	<p>赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします、福祉のまちづくりフォーラムin美作、地域社協連絡会役員会の開催、美作お助け隊フード＆ドライブ報告、子ども応援夢基金輝くボランティア、美作市社協職員採用試験について、食糧支援おむすび事業について他</p>			
<p>令和3年1月号</p>	<p>美作市社協理事の新春メッセージ、美作お助け隊フード＆ドライブについて、子ども応援夢基金パシフィコエナジーに感謝状、山陽マルナカよりフードドライブに寄附、コロナ禍においてできる福祉活動の紹介、輝くボランティア、子ども応援夢基金、就学支援リユース事業、福祉のまちづくりフォーラムDVD貸出、家計相談会、ファミリーサポートセンター、年末年始のお知らせ他</p>			
<p>令和3年3月号</p>	<p>子ども応援夢基金の貸付を始めました、お助け隊フード＆ライフドライブのお礼と報告、令和2年度共同募金実績報告、家計相談会、輝くボランティア、就学支援リユース事業、手話奉仕員養成講座基礎課程について、なごみ通信、事業所廃止のお知らせ、大原支所と東栗倉支所の統合について他</p>			
<p>ホームページの更新</p>	<p>ホームページを開設しております。 美作市社会福祉協議会ホームページ http://www.mimasakasyakyo.jp</p>			

地区社協組織体系図(令和3年3月末現在)



<p>事業概要</p>	<p>平成23年度より、地区社協の組織確立・強化に向けた取り組みとして、市レベルの31地区社協連合会組織「地域社協連絡会」やその専門機関として「地区社協事業専門委員会」「地区社協会長会」等を設立し、地域福祉基礎組織としての位置づけと役割の徹底や連携・情報交換の強化を図りました。</p> <p>また、市社協が事業提案し、これらの機関で決定した「福祉ネットワークづくり事業」や地区社協メニュー事業は殆どの地区社協で実施され、特に平成26年度から実施している「おたがいさまネット事業」は、地区社協が運営主体となり地域住民による定期的な見守りやちょっとした困りごとの支援活動を行う事業です。令和2年度は、コロナ禍により多くの地区社協が見守り会議を自粛し、17地区社協が取り組み91集落で見守り会議が開催されました。</p>	
<p>地区社協の組織体系</p>	<p>地区社協数と活動形態</p>	<p>市内で活動する地区社協数は31あり、小地域福祉活動を担う基礎組織として、自治振興協議会単位の設立になっています。</p> <p>地区社協の活動形態は大きく分けて、自治振興協議会の福祉部会として活動しているものと、自治振興協議会から独立して活動が行われているものとに分かれます。</p>
<p>地区社協の組織体系</p>	<p>地区社協の構成員内訳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、愛育委員、栄養委員、ボランティア代表 (30地区) ・区長 (29地区) ・福祉委員 (15地区) ・老人クラブ役員 (24地区) ・身障協会役員 (7地区) ・その他 (19地区)
<p>地域社協の組織体系</p>	<p>地域社協</p>	<p>平成の合併前の旧町村内で設置した、各地区社協の代表者で構成する地区社協連絡会を「地域社協」としており、6つの「地域社協」があります。</p>

<p>事業概要</p>	<p>31地区社協の市レベルの連合体である地域社協連絡会は、地区社協活動の推進組織として平成23年度に設立し、地区社協事業専門委員会や地区社協会長会等の機関を持ち地区社協事業の計画の決定や地区社協間の連携強化を図っています。</p>	
<p>役員構成 (20名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社協代表者(2名×6地域社協)：12名 ・美作市民生委員児童委員協議会の代表者：1名 ・美作市愛育委員の代表者：1名 ・美作市栄養委員の代表者：1名 ・美作市ボランティア連絡協議会の代表者：1名 ・自治振興協議会の代表者：1名 ・地区社協事業専門委員会の代表者：1名 ・学識経験を有する者：2名 	
<p>活動内容</p>	<p>期日等</p>	<p>内 容</p>
	<p>第1回 役員会 令和2年6月30日 (出席者：15名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 事業報告について ・令和元年度 福祉ネットワークづくり事業について ・令和元年度 地区社協メニュー事業について ・令和元年度 おたがいさまネット事業について ・令和元年度 社協会費・寄附金事業について ・令和2年度 事業計画について ・子ども応援夢基金について
	<p>第2回 役員会 令和2年8月21日 (出席者：15名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉のまちづくりフォーラムin美作の開催について ・地区社協メニュー事業の見直しについて (友愛訪問事業の配布品を美作市販売のゴミ袋に変更) ・地域福祉講座グループワークの実習について
<p>福祉のまちづくり フォーラムin美作 みまちゃんネル放送日 令和2年10月26日 ～11月1日</p>	<p>毎年、地区社協や福祉関係者を対象に、作東バレンタインプラザで開催していた「福祉のまちづくりフォーラム」は、コロナ禍により従来の会場開催をやめ、みまちゃんネルで「PRビデオ」を作成し、ケーブルテレビによる特集番組を放送しました。 また、番組はDVDに録画し、地区社協・サロンへの貸出用として支所に配布しました。</p> <p>令和2年度 福祉のまちづくりフォーラムin美作 ”子どもの貧困問題と私たちにできる社会貢献活動を考える”</p> <p>放送内容 1) 基調講演：「子どもの貧困」の実態について(10分) 講師：川崎医療福祉大学 医療福祉部 直島克樹氏 2) パネルディスカッション 「子どもの貧困問題と私たちにできる社会貢献活動を考える」 司 会：みまちゃんネル 中村雅史アナウンサー パネラー：川崎医療福祉大学 講師 直島克樹氏 美作市保健福祉部 課長補佐 春名雄一氏 美作市社会福祉協議会 課長 福田光雄</p>	

地区社協活動の推進：③地区社協事業専門委員会

事業概要	平成24年7月、地域社協連絡会に地区社協活動の問題点や課題を明らかにし、活動推進に向けた新たな方策を協議検討する専門委員会を設置しました。専門委員会で協議決定された事項は地域社協連絡会に報告され、地区社協活動の推進策に実務者の声を反映する仕組みが構築されています。
委員構成	平成29年度に委員構成を見直し、6地域社協より選出された地区社協活動の実務者10名から12名に変更。
活動内容	令和2年度は委員会の開催なし

地区社協活動の推進：④地区社協会長会

事業概要	市社協並びに地域社協連絡会、関係機関等からの情報提供の場として、また各地区社協相互の情報交換・意見交換の場として地区社協会長会を開催しています。 なお、令和元年度からは、地区社協会長会を地域単位で開催しています。	
地域社協名	期日等	内容
勝田地域社協	令和2年9月1日（出席者8名）	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 事業報告について 令和元年度 福祉ネットワークづくり事業について 令和元年度 地区社協メニュー事業について 令和元年度 おたがいさまネット事業について 令和元年度 社協会費・寄附金事業について
大原地域社協	令和2年7月9日（出席者15名）	
東栗倉地域社協	令和2年9月29日（出席者18名）	
美作地域社協	令和2年7月6日（出席者15名）	
作東地域社協	令和2年7月16日（出席者15名）	
英田地域社協	令和2年7月13日（出席者15名）	

<p>事業概要</p>	<p>福祉ネットワークづくり事業は、地区社協の組織運営の強化を図るために、地区社協構成員に民生委員・愛育委員・栄養委員・ボランティア団体の代表者等の参画による組織の再編と地域の福祉課題や生活課題の把握と課題解決に向けた活動（年3回の福社会議開催）に対し、美作市社協が平成24年度より寄付金等を財源に活動費を助成する事業として提唱しました。</p> <p>本事業は、地区社協基盤強化事業（単年事業）と福社会議事業（継続事業）の2つのメニュー事業で構成しており、令和2年度は福社会議事業に30地区社協が事業申請し、自分達の住む地域の福祉課題を把握し、その課題について共に考え活動していく協議が行われ、福社会議の開催数は延べ52回（前年度81回）、831人（前年度1,282人）の地区社協関係者や住民が参加しました。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、福社会議の開催を自粛する地区社協が多くあり、福社会議が停滞した1年になりました。また、コロナ禍により様々な福祉活動が制限される中で、人と人との繋がり大切さを考えた訪問活動や安否確認等を新たに行う地区社協もあり、改めて住民同士がつながり、支え合う関係を築く必要性が浮き彫りになりました。</p>		
<p>助成金額と申請状況</p>	<p>①基盤強化事業（単年事業）</p>	<p>助成金額</p>	<p>50,000円</p>
		<p>R2申請状況</p>	<p>なし（平成26年度で30地区社協が実施済）</p>
	<p>②福社会議事業（継続事業）</p>	<p>助成金額</p>	<p>30,000円</p>
		<p>R2申請状況</p>	<p>30地区社協</p>
		<p>R2実施状況</p>	<p>10地区社協（年3回以上福社会議を実施）</p>
<p>財源</p>	<p>基金運営事業</p>		
<p>福社会議の様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="368 1146 1067 1626">  </div> <div data-bbox="1082 1370 1321 1440"> <p>←大吉地区社協の福社会議の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>土居地区社協の福社会議の様子</p> </div>		

地区社協名	福祉会議の内容等
梶 並	<p>■協議内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コロナ禍における福祉活動の停滞について ②見守られる側の見守りに関する意識について ③高齢者以外の見守りの視点につなげる美作市社協の地域福祉講座の研修会について <p>■決定事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コロナ禍で大字の福祉会議・サロン等の福祉活動が停滞する中で、福祉会議等を活用し役員同士の情報共有や連携・協力体制を強化していくこととした。 ②見守る側・見守られる側双方が地域での見守りについて理解し、見守られる側に変化があった際に情報発信できるような取り組みを次年度検討する。 ③「子供の貧困」についてグループワーク形式の研修会を開催し、実際にあった市内の事例を通じて、地区全体で子どもを見守り育てていくことの必要性について意識の向上が図られた。 <p>■開催日・参加者数</p> <p>7月17日（17人）・10月16日（16人）・2月19日（16人）</p>
勝 田	<p>■協議内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①各団体の活動の情報共有について ②高齢者以外の見守りの視点につなげるグループワーク形式の研修 ③「認知症あんしん声かけ模擬訓練」について <p>■決定事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ①福祉会議で、各団体の活動の情報共有を通じて福祉意識の向上を図る。 ②感染症拡大防止のためグループワーク形式の研修は未実施。来年度実施予定。 ③10月28日に「認知症あんしん声かけ模擬訓練」を実施し、日頃の声かけや見守りの必要性を理解し、「我が事」として捉える当事者意識を高めることができた。 <p>■開催日・参加者数</p> <p>6月24日（17人）・11月19日（17人）・3月12日（17人）</p>
勝 田 東	<p>■協議内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①前年度実施した移動困難者等、その他の困りごとについての聞き取り結果の情報共有 ②前年度実施した「男性の集いの場」の振り返り ③高齢者以外の見守りの視点につなげる美作市社協の地域福祉講座の研修会について <p>■決定事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ①困りごとの聞き取り結果から、医療・健康・交通手段についての困り感や不便を感じている人が多い半面、約半数の人は特に困り感がないという地区の現状を情報共有した。 ②地区の福祉課題を取り上げて立ち上げた「男性の集いの場」は多くの参加者があり、大きな成果があった。活動内容の振り返りを行い、地区社協活動の意義や福祉意識の向上につながり、今後も試行錯誤しながら「男性の集いの場」を継続することとした。 ③「子供の貧困」についてグループワーク形式の研修会を開催し、情報共有や意見交換を行い、市内の事例を通じて新たな福祉課題の気づきや理解を深めた。地区全体で子どもを見守り育てていくことの必要性について意識の向上が図られた。 <p>■開催日・参加者数</p> <p>7月2日（17人）・11月13日（15人）・3月17日（17人）</p>

地区社協名	福祉会議の内容等
大原	<p>■協議内容 ①コロナ禍における各種団体やサロンの活動状況について情報共有</p> <p>■決定事項 ①地区内の福祉委員がサロン参加者宅に月1回の安否確認と訪問時に脳トレや簡単にできる体操のプリント等を配布し、コロナ禍でも繋がりを絶やさないための活動事例を紹介し、高齢者の孤立防止に向けた福祉委員活動に各自取り組むこととした。</p> <p>■開催日・参加者数 8月28日（14人）・3月11日（13人）</p>
讚甘	<p>■協議内容 ①サロン開催が難しい地区の支援について ②高齢者以外の見守りの視点につなげるグループワーク形式の研修</p> <p>■決定事項 ①単独でサロンが開催できない隣接する集落で合同開催を働きかける。 ②「子どもの貧困」についてグループワーク形式の研修を開催し、各字の子どもの状況や関わり等について情報共有や意見交換を行い、高齢者に限定しない見守りの視点を持つ必要性について情報共有を図ることが出来た。</p> <p>■開催日・参加者数 6月23日（17人）・9月15日（14人）・3月9日（16人）</p>
大野	<p>■協議内容 ①気軽に集える場の整備や世代間交流について ②高齢者以外の見守りの視点につなげるグループワーク形式の研修 ③大野カフェの周知について</p> <p>■決定事項 ①サマースクールや巻き寿司作りなど子供や保護者との世代間交流は、コロナ禍により中止し、次年度の開催で協議することとなった。 ②「子どもの貧困」についてグループワーク形式の研修を開催し、市内での事例を通じて新たな福祉課題について情報共有や意見交換を行い、高齢者に限定しない見守りの視点を持つ必要性について理解を深めることが出来た。 ③大野カフェの周知は、地区社協広報誌への記事掲載やチラシの配布、ゴミステーションに掲示を行う。</p> <p>■開催日・参加者数 7月22日（15人）・9月10日（14人）・3月19日（12人）</p>
大吉	<p>■協議内容 ①地区社協内での各団体の情報共有や活動理解について ②コロナ禍における友愛訪問について</p> <p>■決定事項 ①福祉会議・見守り会議等で各団体の活動について情報共有や情報交換を行う時間を設定し、連携協働して取組める友愛訪問や日常生活の延長で地区社協活動。 ②地区社協から訪問員に消毒液等を配布し、感染拡大防止に配慮しながら訪問を行う。</p> <p>■開催日・参加者数 7月3日（11人）・3月16日（13人）</p>

地区社協名	福祉会議の内容等
東 栗 倉	<p>■協議内容</p> <p>①コロナ禍で感染防止を図りながら、引きこもりがちな高齢者や独居高齢者の集いの場をどのようにして確保するか</p> <p>②高齢者の生活の困りごとと支援について</p> <p>■決定事項</p> <p>①コロナ禍でコミュニティカフェやミニデイサービスが未実施となり、高齢者が地域から孤立しないよう、近所同士で声かけや見守り等の支え合い活動に取り組むこととした。</p> <p>②ゴミ出しカレンダーを友愛訪問時に配布し、引き続き独居高齢者や高齢者世帯の困り事を福祉委員が聞き取り、地区社協の新たな福祉活動に繋げていく。</p> <p>■開催日・参加者数</p> <p>9月29日（18人）・3月24日（18人）</p>
豊 国	<p>■協議内容</p> <p>①地区社協の理解啓発と災害時の地域の関わりに関する福祉委員研修会について</p> <p>②コロナ禍におけるミニデイサービスとサロンの開催について</p> <p>■決定事項</p> <p>①地区社協活動の担い手である福祉委員に対して、市社協職員から地区社協や災害ボランティアセンターの役割や意義に関する研修会を開催し、地域福祉活動の必要性について理解を深める機会が提供できた。また、見守り会議で使用している住宅地図を地区社協や自主防災組織でも情報共有したり、日頃から要援護者と地域の関係づくりがとれていれば、災害時には大きな防災力になることを共有できた。</p> <p>②令和2年度のミニデイサービスの開催は中止し、参加対象者へ自宅で取り組める脳トレプリントや体操資料などを配布し、高齢者の孤立防止に向けた福祉活動に取り組むこととした。次年度も、引き続きコロナ禍における地区社協の活動について協議を行う。</p> <p>■開催日・参加者数</p> <p>7月20日（14人）</p>
湯 郷	<p>■協議内容</p> <p>①集落と地区社協の連携強化</p> <p>②障害者や引きこもり世帯等を含めたおたがいさまネット事業の見守り活動について</p> <p>③高齢者以外の見守りの視点につなげる美作市社協の地域福祉講座の研修会について</p> <p>■決定事項</p> <p>①見守り会議時に、地区社協についての説明や意見交換の時間を設ける（次年度に実施）</p> <p>②おたがいさまネット事業の対象者は高齢者に偏っており、引きこもりや生活困窮等の世帯の見守りについて、地域でどのように関わっていくのかを継続協議する。</p> <p>③「子供の貧困」についてグループワーク形式の研修を開催し、情報共有や意見交換を行う予定であったが、時間がなく次年度に持ち越しとなった。次年度は、「8050」についての地域福祉講座も開催し、グループワークを行う。</p> <p>■開催日・参加者数</p> <p>6月25日（7人）・11月26日（15人）</p>

地区社協名	福祉会議の内容等
豊田	<p>■協議内容</p> <p>①旧豊田小学校に住民が集える場所（カフェ）を立ち上げる ②コロナ禍により、自宅に閉じこもりがちな高齢者の見守りや状況把握について</p> <p>■決定事項</p> <p>①10月に旧豊田小学校でカフェ開催を予定していたが、コロナ禍により開催できなかったため、状況をみながら引き続き次年度に計画することとした。 ②友愛訪問時に困りごとの聞き取りを行い、コロナ禍での孤立防止に重点を置いた訪問を行った。</p> <p>■開催日・参加者数 7月18日（22人）・9月19日（21人）・3月20日（19人）</p>
榑原	<p>■協議内容</p> <p>①「福祉の集い」に、榑原地区内にある障害者のグループホーム入所者にも参加してもらえるよう声掛けを行う ②各サロンの開催状況とコロナ禍により閉じこもりがちな高齢者の見守りについて</p> <p>■決定事項</p> <p>①「福祉の集い」は、コロナ禍により中止し、引き続き次年度に計画することとした。次年度もコロナ化を想定し、健康増進目的のプログラムを取り入れることとした。 ②地区内の新たな見守りの取組みとして、サロンの参加者同士が電話をかけあいお互いに見守りしあう取組を行う事とした。具体的な連絡網の整備等は次年度に協議する。</p> <p>■開催日・参加者数 6月19日（16人）・9月11日（16人）・2月22日（15人）</p>
巨勢	<p>■協議内容</p> <p>①民生委員、愛育委員、地区社協が行っている友愛訪問や見守り会議の情報の集約と共有方法について ②役員間の横のつながり、情報共有について</p> <p>■決定事項</p> <p>①コロナ禍により福祉会議の開催が1回しか出来なかったため、役員間の情報交換、課題の協議について、十分に行えていないため、次年度の継続課題とした。</p> <p>■開催日・参加者数 7月28日（16人）</p>
田殿	<p>■協議内容</p> <p>①美作市社協の地域福祉講座を受講し、高齢者に限定しない地域課題の把握についての協議と友愛訪問対象者の見守り方法等について</p> <p>■決定事項 コロナ禍により福祉会議は未実施</p> <p>■開催日・参加者数 コロナ禍により福祉会議は未実施</p>

地区社協名	福祉会議の内容等
江見中部	<p>■協議内容</p> <p>①地区社協内での情報共有や活動理解を図る ②友愛訪問の訪問時期について</p> <p>■決定事項</p> <p>①愛育、栄養委員の活動や見守り状況等を情報共有したが、コロナ禍により十分な活動が出来ないため、地区社協で住民に対して、短時間でも声掛け、見守りを行い、変化があれば市社協等に繋ぐこととした。 ②コロナ禍により友愛訪問は、1回のみ実施。次年度継続協議</p> <p>■開催日・参加者数 10月16日（15人）</p>
江見西部	<p>■協議内容</p> <p>①買物難民・移動困難についてどのようにすれば解決できるか ②気になったこと、困ったこと等の相談について</p> <p>■決定事項 コロナ禍により福祉会議は未実施</p> <p>■開催日・参加者数 コロナ禍により福祉会議は未実施</p>
江見東部	<p>■協議内容</p> <p>①地区内で認知症に対する知識・理解を深める取組みについて</p> <p>■決定事項</p> <p>①認知症の情報を地区社協だよりに掲載し、相談窓口のチラシと併せ全戸配布する。友愛訪問時に、地区社協だよりの記事の感想を確認する。今後は、認知症の人への「声かけ方法」に関する記事等を連載し、認知症理解につながる活動を検討する。</p> <p>■開催日・参加者数 10月2日（14人）・12月17日（13人）・3月11日（11人）</p>
福 山	<p>■協議内容</p> <p>①健康寿命を延ばすためには何ができるか ②災害時の助け合いについて</p> <p>■決定事項</p> <p>①住民同士の交流の機会を増やし、誰もが気軽に無理なく参加できるようサロン活動を充実させ、隣接する集落同士によるサロン活動の交流を併せて行う。 ②地区の各組織と連携し、災害時の見守り体制を今後検討する。</p> <p>■開催日・参加者数 7月31日（23人）</p>

地区社協名	福祉会議の内容等
豊野	<ul style="list-style-type: none"> ■協議内容 <ul style="list-style-type: none"> ①地区内での高齢者の見守りについて ■決定事項 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により福祉会議は未実施 ■開催日・参加者数 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により福祉会議は未実施
栗井	<ul style="list-style-type: none"> ■協議内容 <ul style="list-style-type: none"> ①「ふれあいの集い」の実施状況等について ②認知症についての理解・知識を深める研修会を開催する ■決定事項 <ul style="list-style-type: none"> ①「ふれあいの集い」はコロナ禍により中止し、広報誌等で見守り活動の大切さを呼びかけた。「ふれあいの集い」は、今後状況を確認しつつ開催を検討する。 ②コロナ禍により研修会は中止。 ■開催日・参加者数 <ul style="list-style-type: none"> 5月29日（18人）・8月28日（13人）・2月20日（8人）
吉野	<ul style="list-style-type: none"> ■協議内容 <ul style="list-style-type: none"> ①見守り会議の開催について ②各役員間で訪問実施している情報の共有 ■決定事項 <ul style="list-style-type: none"> ①見守り会議を福祉会議と同時に行い、地域住民の生活状況の把握し、各役員が訪問等で気になることがあれば、福祉会議で議題としてあげ協議し共有する。 ②一人暮らし高齢者宅の訪問時に不在の場合、どこまで踏み込んで対応すべきかとの意見が有り、次年度地区社協で『訪問不在時対応マニュアル』を作成出来るよう検討する。 ■開催日・参加者数 <ul style="list-style-type: none"> 7月25日（29人）・3月20日（26人）
土居	<ul style="list-style-type: none"> ■協議内容 <ul style="list-style-type: none"> ①コロナ禍における友愛訪問の方法について ■決定事項 <ul style="list-style-type: none"> ①友愛訪問の目的を再確認するとともに、訪問時に地区社協からマスクや心と体のケア、相談窓口等のチラシも配布し、例年以上に容姿・言動等に対する変化や細かな気づきを意識し、変化がある時は早期に市社協等へ繋げる。 ■開催日・参加者数 <ul style="list-style-type: none"> 11月5日（20人）

地区社協名	福祉会議の内容等
奥	<p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉活動及び友愛訪問時の高齢者の状況把握について ②高齢者の行事への参加を個別に確認する ③地区社協広報誌を年2回発行し、活動の楽しさを周知する ④各種行事に誘い合える習慣づくり <p>■決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①友愛訪問を負担のない範囲で継続的に実施できるよう、愛育委員だけでなく老人クラブ役員も同行して、地区内の福祉団体が連携して見守り活動を行う。 ②③④コロナ禍により福祉会議が開催できず協議が出来なかった。 <p>■開催日・参加者数</p> <p>5月22日（21人）</p>
福本	<p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地区社協広報誌を活用した福祉情報の共有について ②見守り会議の実施と災害時の対応について ③地域行事・健康維持活動（ゲートボール、囲碁ボール、元気会）の取組みについて <p>■決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市社協や包括からの福祉情報を、地区社協広報誌に掲載し、地区内に広く周知する。 ②③コロナ禍により福祉会議が開催できず協議が出来なかった。 <p>■開催日・参加者数</p> <p>6月26日（18人）</p>
真三井	<p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地区社協広報誌の継続発行と情報共有について ②地区社協の体制強化・情報の共有を図るため各団体の情報が集約できる組織づくり ③救急医療情報キットの更新方法について ④地区社協による福祉講演会の開催について <p>■決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市社協や包括からの福祉情報を、地区社協広報誌に掲載し、地区内に広く周知する。 ②福祉会議や見守り会議を定期的で開催し、地区内の情報共有を図る。 ③毎年緊急連絡カードを地区社協役員が確認し、2年に1回緊急連絡カードを更新し、最新の情報が把握できるように取組む。 ④コロナ禍により福祉講演会の開催は中止。 <p>■開催日・参加者数</p> <p>7月19日（20人）・9月6日（16人）・11月6日（14人）・1月22日（10人）</p>
上山	<p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害時の助け合いについて ②後継者の育成について <p>■決定事項</p> <p>コロナ禍により福祉会議は未実施</p> <p>■開催日・参加者数</p> <p>コロナ禍により福祉会議は未実施</p>

地区社協名	福祉会議の内容等
河 会	<p>■協議内容</p> <p>①情報提供・声掛け・見守り活動の充実について</p> <p>②ボランティアの人材確保について</p> <p>③福祉情報の発信について</p> <p>■決定事項</p> <p>コロナ禍により福祉会議は未実施</p> <p>■開催日・参加者数</p> <p>コロナ禍により福祉会議は未実施</p>
公 文	<p>■協議内容</p> <p>①災害時に備えた高齢者の実態把握について</p> <p>②避難所運営ゲームHUGの実施について</p> <p>③住民の福祉意識の啓発について</p> <p>■決定事項</p> <p>①②避難所運営ゲームHUGを地区社協関係者で演習した結果、平時から要援護者の実態把握をしておく必要性が共有でき、地区社協で高齢者の緊急連絡網を作成することを決定したが、コロナ禍により次年度に協議することになった。</p> <p>③コロナ禍により福祉会議が開催できず協議が出来なかった。</p> <p>■開催日・参加者数</p> <p>7月17日（14人）・9月18日（16人）</p>
公 文 奥	<p>■協議内容</p> <p>①福祉会議・見守り会議とサロンとの連携を深め高齢者の状況把握について</p> <p>■決定事項</p> <p>コロナ禍により福祉会議は未実施</p> <p>■開催日・参加者数</p> <p>コロナ禍により福祉会議は未実施</p>
尾谷・椿谷	<p>■協議内容</p> <p>①地区社協広報誌を活用した福祉情報の共有について</p> <p>②高齢者の生きがいづくりについて</p> <p>③独居高齢者、高齢者世帯、障害者への見守り・声掛けの強化について</p> <p>■決定事項</p> <p>①市社協・包括からの福祉情報を地区社協広報誌に掲載し、地区内に広く周知する。</p> <p>②③コロナ禍により福祉会議が開催できず協議が出来なかった。</p> <p>■開催日・参加者数</p> <p>6月9日（17人）・10月2日（17人）</p>

地区社協活動の推進：⑥-1おたがいさまネット事業

事業概要	<p>おたがいさまネット事業は、地区社協が運営主体となって、一人暮らし・高齢者・障害者世帯など、日常的に見守りが必要な世帯の拾い出しを行う「見守り会議」を開催し、見守りが必要な人のお宅に、地区住民が定期的に訪問し、安否確認やちょっとした困りごとをお手伝いする住民の自主活動による見守りネットワークを構築する事業です。</p> <p>令和2年度はコロナ禍により、17地区社協で見守り会議が行われましたが、13地区社協は見守り会議を中止しました。その結果、おたがいさまネット事業の実施率は約43%となりました（前年度実施率89%）。ふれあい訪問の利用者は21名で、月2回以上の有料訪問は2名が利用され、延べ訪問回数は243回でした。</p>			
支援対象者	一人暮らし高齢者、認知症高齢者、高齢者世帯、身体・精神・知的障害者等 地域から孤立する恐れがあり定期的な生活援助が必要な者			
支援内容	安否確認	無事に暮らしているか、その他状態の変化がないか		
	消費者被害防止	振り込め詐欺や訪問販売等の被害はないか		
	生活情報の支援	サロンや公的情報、地域行事等の情報提供		
	話し相手	定期訪問による見守りなど		
	買い物宅配支援	業者発注の手続きや店舗への電話取り次ぎ等		
	オプション	手紙文書の整理、ゴミの分別・ゴミだし、電球交換、買い物代行 ※オプションは、月2回以上の訪問に適用		
見守り会議	<p>見守り会議は、地区社協単位で開催し、自治会代表者・民生委員・老人会役員などが大字ごとに一つのテーブルを囲んで、見守りが必要な世帯や訪問員の選定を行うもので、抜け漏れのない地域の実態把握と住民同士の情報共有が行われています。</p> <p>見守り会議は、事業開始3年間は年2回以上実施、4年経過後は年1回以上実施。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防の為、申請していた13地区社協が見守り会議の開催を中止しました。</p>			
実施状況		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実施地区社協数	30地区社協	30地区社協	17地区社協
	実施集落（大字）数	181集落	181集落	91集落
	利用世帯数	45世帯	32世帯	21世帯
	延訪問回数	512回	369回	243回
	見守り会議開催数	50回	47回	22回
	見守り会議参加人数	793人	777人	362人
	市社協職員参加人数	84人	71人	38人
利用者実態	利用世帯数：21世帯（新規利用：2世帯・中止世帯13世帯）			
	世帯状況：独居高齢者17、独居障害者4			
訪問員実態	訪問員登録人数：98人（平均年齢73歳）			
	実働人数：26人			
訪問状況	月1回訪問：19世帯、有料訪問：2世帯（月2回以上の訪問）			
利用者の支援ニーズ	安否確認：21件 話し相手：21件 買い物宅配支援：1件 生活情報の支援：4件 ※支援7より抽出（重複含む）			

地区社協活動の推進：㊦-2おたがいさまネット事業

地区社協名	大字の実施状況			世帯の実施状況			利用状況			
	大字 総数	実施 大字	実施率 (%)	世帯 総数	実施 世帯	実施率 (%)	要訪問 世帯数	新規利用 世帯数	実利用 世帯数	延訪問 回数
梶 並	6	6	100%	281	281	100%	0	0	0	0
勝 田	10	1	10%	538	51	9%	0	0	0	0
勝 田 東	4	0	0%	171	0	0%	0	0	0	0
大 原	5	5	100%	442	442	100%	2	0	2	16
讚 甘	5	5	100%	236	236	100%	0	0	0	0
大 野	6	6	100%	231	231	100%	0	0	0	0
大 吉	7	7	100%	230	230	100%	1	0	1	12
東 栗 倉	7	0	0%	348	0	0%	0	0	0	0
豊 国	11	0	0%	1110	0	0%	0	0	0	0
湯 郷	27	0	0%	862	0	0%	4	1	4	87
林 野	19	—	—	646	—	—	—	—	—	—
豊 田	9	9	100%	317	317	100%	0	0	0	0
檜 原	5	5	100%	617	617	100%	1	0	1	12
巨 勢	10	0	0%	302	0	0%	1	0	1	12
田 殿	3	0	0%	119	0	0%	0	0	0	0
江見中部	12	11	92%	248	248	100%	2	0	1	12
江見西部	8	0	0%	338	0	0%	1	0	1	1
江見東部	8	7	87.5%	156	140	90%	0	0	0	0
豊 野	6	0	0%	138	0	0%	2	0	2	16
土 居	5	0	0%	517	0	0%	1	0	1	4
福 山	5	5	100%	161	161	100%	6	1	6	59
栗 井	5	5	100%	323	323	100%	0	0	0	0
吉 野	8	8	100%	269	269	100%	1	0	1	12
奥	1	1	100%	119	119	100%	2	0	0	0
福 本	1	1	100%	200	200	100%	0	0	0	0
真 三 井	5	5	100%	144	144	100%	0	0	0	0
上 山	3	0	0%	121	0	0%	2	0	0	0
河 会	3	0	0%	62	0	0%	0	0	0	0
公 文 奥	4	0	0%	119	0	0%	0	0	0	0
公 文	4	4	100%	80	80	100%	0	0	0	0
尾谷・椿谷	2	0	0%	95	0	0%	0	0	0	0
合 計	214	91	42.5%	9,540	4,089	42.9%	26	2	21	243

地区社協活動の推進：⑦-1 地区社協メニュー事業

事業概要	<p>地区社協メニュー事業は、市社協が地区社協活動を支援する事業をメニュー化したもので、地区の実情に沿った様々な取り組みが行われています。令和2年度はコロナ禍によって地区社協活動の自粛が続いたため、メニュー事業への取り組みが減少しました。</p> <p>地域文化伝承事業は令和2年度をもって終了しました。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度地区社協メニュー事業の実施状況

地区社協名	高齢者ミニデイ	地域文化伝承事業	サロン新規立上	友愛訪問支援事業		広報紙作成支援	
				1回訪問	2回訪問	1回発行	2回発行
勝田	梶 並			64	64	○	
	勝 田			62	61	○	
	勝 田 東			11	8		
大原	大 原			57	52		
	讚 甘			39	39		
	大 野			19	21	○	○
	大 吉			30	31		
	東 栗 倉			38	43		
美作	豊 国			72	73		
	湯 郷	○		80	73	○	○
	林 野	○		79	68		
	豊 田	○		31	31		
	檜 原	○		40	39		
	巨 勢			32	29		
	田 殿			11	11		
作東	江見 中部			31		○	○
	江見 西部			26	24	○	
	江見 東部			19	18	○	
	豊 野			25	23		
	土 居			75	68	○	○
	福 山		○	18	20	○	○
	栗 井			29	27		
	吉 野			39	39		
英田	奥			11	11	○	
	福 本			23	22	○	○
	真 三 井			15	13	○	
	上 山			17	18		
	河 会			8	8		
	公 文			9	8		
	公 文 奥			8	8		
	尾 谷 椿 谷			8	7	○	○
合 計	4カ所	1カ所		1,026	957	13カ所	7カ所

① 高齢者ミニデイサービス事業

事業概要	地区社協が自主運営する65歳以上の高齢者や一人暮らし高齢者等を対象にしたミニデイサービスについて、市社協所有のマイクロバスの配車や体操指導員の派遣を行い（年間8回までを上限）、地域住民の生きがいづくりや交流活動を支援する。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、回数が減少しました。			
財源	美作市地域住民グループ支援事業（市受託事業）			
実施地区社協	4地区社協			
実施状況	地区社協名	実施回数	参加人数	会場名
	湯郷地区社協	1回	18人	湯郷交流センター
	林野地区社協	4回	38人	世代交流多目的ホール・林野公民館
	豊田地区社協	1回	7人	世代交流多目的ホール
	榎原地区社協	1回	8人	世代交流多目的ホール
	合計	7回	71人	

② 広報紙作成支援事業

事業概要	地域住民に身近な福祉に関する情報を提供し、地区社協活動への理解と協力を得るために、地区社協が発行する広報紙の作成費の一部を助成し、各地区社協で広報紙が作成できるよう支援する。		
助成金	地区社協が発行する広報紙1回につき 基本額10,000円＋（地区社協実態調査表の世帯数×10円）を年2回を上限に助成。 助成金の交付は3年間とし、4年目以降は年度内2回を上限に印刷代を無料とした。		
財源	令和2年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）		
助成金総額	57,090円	実施地区社協	13地区社協

③ 地域文化伝承事業

事業概要	地区社協が小中学校との協働や地区内の子供を交えて、地域の文化伝承を目的とする事業（稲刈り・田植え・しめ縄作り・昔遊び等）を実施する地区社協に助成金を交付する。本事業は、令和2年度をもって事業を終了しました。		
助成金	小中学校との世代交流事業 助成金：30,000円	地区社協が地区内の小中学校等と協働し、地域の文化伝承（田植え、稲刈り、しめ縄づくり、昔遊び等）を通じて世代交流を図る活動を年3回以上実施する地区社協に助成	
財源	令和2年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）		
助成金総額	30,000円	実施地区社協	1地区社協

地区社協メニュー事業：⑦-3

④ サロン新規立上げ推進事業

事業概要	地区内の大字又は小字単位に、5人以上で登録する「高齢者ふれあい・いきいきサロン」を新たに立ち上げた地区社協に対し、助成金を交付しサロン活動の普及推進を支援する。令和2年度は実施地区社協はありませんでした。		
助成金	新規サロンを立ち上げ活動支援をする地区社協に対し1サロンにつき30,000円を助成		
財源	令和2年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）		
助成金総額	なし	申請数	なし

⑤ 友愛訪問支援事業

事業概要	地区社協が実施する友愛訪問活動に対して、市社協より訪問時に配布する野菜ジュース等を提供し、一人暮らし高齢者の安否確認と声掛けを行い、住み慣れた地域で自立した生活を支援する。							
対象者	美作市内に在住する75歳以上の一人暮らし高齢者							
配布品	野菜ジュース、スポーツドリンク、抹茶葛湯							
財源	令和2年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）							
実施地区社協	31地区社協			延実施回数	61回			
配布世帯総数	1,983世帯			配布総数	3,299			
実施状況内訳	地区社協名	実施回数	配布世帯数	配布数	地区社協名	実施回数	配布世帯数	配布数
	梶並地区社協	2回	128世帯	256	江見西部地区社協	2回	50世帯	76
	勝田地区社協	2回	123世帯	185	江見東部地区社協	2回	37世帯	56
	勝田東地区社協	2回	19世帯	30	豊野地区社協	2回	48世帯	73
	大原地区社協	2回	109世帯	218	土居地区社協	2回	143世帯	218
	讃甘地区社協	2回	78世帯	117	福山地区社協	2回	38世帯	56
	大野地区社協	2回	40世帯	59	粟井地区社協	2回	56世帯	112
	大吉地区社協	2回	61世帯	91	吉野地区社協	2回	78世帯	156
	東粟倉地区社協	2回	81世帯	119	奥地区社協	2回	22世帯	33
	豊国地区社協	2回	145世帯	217	福本地区社協	2回	45世帯	90
	湯郷地区社協	2回	153世帯	306	真三井地区社協	2回	28世帯	56
	林野地区社協	2回	147世帯	226	上山地区社協	2回	35世帯	52
	豊田地区社協	2回	62世帯	93	河会地区社協	2回	16世帯	32
	檜原地区社協	2回	79世帯	119	公文地区社協	2回	17世帯	34
	巨勢地区社協	2回	61世帯	93	公文奥地区社協	2回	16世帯	32
	田殿地区社協	2回	22世帯	33	尾谷椿谷地区社協	2回	15世帯	30
	江見中部地区社協	1回	31世帯	31	合計	61回	1,983世帯	3,299

地区社協活動の推進：⑧救急医療情報キット配布事業

事業概要	<p>救急医療情報キットは、自分の氏名・年齢・緊急連絡先・かかりつけ医・持病や服薬内容等の情報を、専用の筒状の容器に入れ冷蔵庫の中に保管して置くことで、緊急時の救急隊等の迅速な救命活動を可能にするもので、各市町村等で導入が進んでいます。</p> <p>美作市社協は、平成22年度より、市内に在住する概ね75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、救急医療情報キットを有償で配布しており、地区社協で配布の取りまとめと緊急連絡カードの更新が行われています。</p> <p>令和2年度より在宅の障害者も対象に加え、対象者には障害者地域活動支援センターなごみから設置を勧めることとしました。</p>								
配布対象者	市内に居住する概ね75歳以上の一人暮らし高齢者世帯・障害者世帯								
購入負担金	100円 ※配布対象者以外で申請があれば300円で提供								
配布方法	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協が取りまとめ購入し配布 障害者地域活動支援センターなごみより配布 								
R2購入数	200本	R2配布数		48本配布（対象外含む）					
財源	令和2年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）								
配布状況		勝田	大原	東栗倉	美作	作東	英田	合計	
	R2配布数	2	22	0	2	12	10	48	
	配布総数	541	463	95	2,143	1,243	474	4,959	
美作市消防本部からの活用事例報告	年月	地域	性別	年齢	事故種別				
	1	令和2年4月	作東	男性	80代				急病
	2	令和2年5月	勝田	女性	90代				急病
	3	令和2年5月	大原	女性	80代				急病
	4	令和2年5月	作東	女性	90代				負傷
	5	令和2年5月	大原	女性	80代				負傷
	6	令和2年8月	作東	女性	70代				急病
	7	令和2年9月	勝田	女性	80代				急病
	8	令和2年10月	英田	女性	90代				負傷
	9	令和2年10月	英田	女性	80代				急病
	10	令和2年12月	美作	男性	70代				急病
	11	令和3年1月	作東	女性	70代				急病
	12	令和3年2月	作東	女性	80代				急病
	13	令和3年3月	美作	男性	70代				急病
<p>令和2年度の救急医療情報キットの活用事例</p> <p>①活用件数13件（令和元年度9件）</p> <p>②地域内訳：勝田2件、大原2件、美作2件、作東5件、英田2件</p> <p>③性別内訳：男性3件、女性10件</p> <p>④年齢内訳：70代（4人）、80代（6人）、90代（3人）</p>									
各地区社協の特徴的な取組事例	<ul style="list-style-type: none"> 緊急情報カードの色を毎年変えて、更新が来ているかを確認。 緊急連絡カードの色を夫婦で変えて、男女の区別がわかるような工夫をしている。 友愛訪問時に、緊急連絡カードを更新している。 お薬手帳のコピーを添付。 								

高齢者ふれあい・いきいきサロン活動の支援 ①

事業概要	<p>地域住民と地区社協や、民生委員、栄養委員、ボランティア等が主体となって、公民館や集会場などを活用して、定期的に会食やおしゃべり、レクリエーションなどを行い、地域の集いの場として、高齢者ふれあい・いきいきサロンの開設や運営を支援します。</p> <p>令和2年度はコロナ禍で開催を自粛する所もありましたが、電話で安否を確認したり、脳トレプリントをもって安否確認に訪問するなど、各サロンで創意工夫のもと、「つながりを途切れさせない」ための活動が行われました。</p>								
食材費助成	<p>サロンで行う調理実習に対し、65歳以上の参加者一人当たり300円を乗じた金額を上限に食材費を助成します。また、食材費が上限に満たない場合は実費を助成します。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、多くのサロンが調理実習を自粛しました。</p>								
人的派遣	<p>地域における介護予防事業として、サロン活動に看護師や体操指導員等の人的派遣を実施しました。また市社協に登録している、特技ボランティアの派遣も実施しています。</p>								
戸外活動	<p>高齢者の外出支援や社会参加を目的に、勝英管内で施設見学や買い物、研修等の戸外活動を企画したサロンに対し、市社協のマイクロバスの貸出しと運転員の派遣を年1回実施します。戸外活動を利用できるサロンは、年6回以上開催が条件としています。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、マイクロバスの貸出を中止しました。</p>								
レク用品の無料貸出し	市社協所有のレクリエーション用品等の無料貸出しを随時実施。								
派遣人員内訳		看護師	体操指導員	PT/OT	訪問介護員	運転員	社協職員	合計	
	平成28年度		2人	1人		118人	61人	182人	
	平成29年度		28人	4人		124人	46人	202人	
	平成30年度		15人	2人		82人	34人	133人	
	令和元年度		15人			70人	49人	134人	
	令和2年度		2人				11人	13人	
サロン活動助成金	<p>年6回以上開催するサロンに対し、65歳以上の高齢者の登録人数に応じて、1サロンにつき年額5,000円から20,000円の活動費を助成。助成金の財源は寄附金を充当。令和2年度はコロナ禍によりサロンの開催回数が減少したことから、回数に応じて活動費を助成することとしました。</p> <p>・令和2年度助成サロン数：143（平成30年度助成サロン数：155）</p>								
	サロン登録人数		10人以下		30人以下		60人以下		61人以上
	助成金額（年額）		5,000円		10,000円		15,000円		20,000円
サロン代表者会議		勝田	大原	東栗倉	美作	作東	英田	合計	
	申請数	12カ所	22カ所	7カ所	36カ所	45カ所	21カ所	143カ所	
	助成金額	115,500円	259,500円	99,000円	456,000円	448,000円	201,000円	1,579,000円	
サロン代表者会議	サロン代表者会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止しました。								

高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ①

地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
勝 田 (12)	1	こぶしの会	木地山公会堂	34人	4回
	2	サロン立木	立木公会堂	14人	4回
	3	みやまクラブ	塩木集会所	14人	7回
	4	中右手ふれあい会	中右手集会所	16人	6回
	5	真殿地区サロン	真殿公会堂	34人	12回
	6	大杉会	大杉デイサービスセンター	24人	4回
	7	梶並サロン	梶並公会堂	12人	2回
	8	真加部なかよし会	真加部老人いこいの家	20人	4回
	9	南町いきいきサロン	南町集会所	65人	4回
	10	ニコニコ会	西町集会所	43人	44回
	11	矢田ふれあいサロン	矢田公会堂	62人	1回
	12	長谷内さくら会	長谷内コミュニティー	28人	6回
地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
大 原 (22)	1	古町上サロン	八幡集会所	108人	2回
	2	古町中サロン	古町集会所	66人	5回
	3	江ノ原サロン	江ノ原公会堂	63人	5回
	4	中町西サロン	中町西公会堂	50人	5回
	5	下町サロン	下町公会堂	66人	1回
	6	大塔サロン	大塔公会堂	18人	10回
	7	しましょう会	下庄上公会堂	17人	5回
	8	下庄町半坂サロン	半坂公会堂	28人	2回
	9	わきあいあい	日面公会堂	34人	5回
	10	宮本下いきいきサロン	宮本下土居公会堂	31人	6回
	11	中西町いきいきサロン	中西町公会堂	31人	6回
	12	今岡いきいきふれあいサロン	今岡公会堂	75人	6回
	13	川上上サロン	大野コミュニティー	54人	6回
	14	川上中いきいきサロン	川上中公民館	45人	3回
	15	美土呂ふれあいサロン	大野コミュニティー	43人	4回
	16	滝ふれあい・いきいきサロン	滝第2集会所	68人	6回
	17	笹岡ふれあいサロン	笹岡公会堂	14人	7回
	18	赤田いきいきサロン	赤田公会堂	39人	6回
	19	田井サロン	田井コミュニティーハウス	36人	6回
	20	川戸サロン	川戸公民館	27人	5回
	21	沢田サロン	沢田公民館	22人	7回
	22	壬生サロン	壬生公民館	59人	1回

高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ②

地 域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
東栗倉 (7)	1	入谷ふれあいの会	入谷コミュニティー	42人	6回
	2	後山元気会	後山公民館	33人	5回
	3	中谷いきいき会	中谷集会所	64人	6回
	4	東青野あかがね会	東青野コミュニティー	31人	6回
	5	野原天一会	野原コミュニティー	10人	4回
	6	東吉田大空会	東吉田集落センター	61人	5回
	7	川東ごじろ会	川東コミュニティー	39人	8回
地 域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
美 作 (36)	1	北山コスモス会	豊国公会堂	101人	7回
	2	上相健康教室	上相公会堂	63人	5回
	3	中尾ひまわり会	中尾コミュニティー	118人	6回
	4	豊国原健康広場	豊国原コミュニティー	40人	11回
	5	明見サロン	明見コミュニティーハウス	68人	6回
	6	林尾楽友会	湯郷上コミュニティー	19人	5回
	7	5日サロン(下位田)	位田下集会所	19人	8回
	8	金原・稲穂・則平健康広場	稲穂コミュニティー	65人	4回
	9	中筋いきいきサロン	中筋集会所	50人	5回
	10	長内やすらぎサロン	長内コミュニティーハウス	42人	4回
	11	福田・中山サロン	中山コミュニティーハウス	52人	6回
	12	畑沖友遊サロン	畑沖集会所	69人	108回
	13	岩見田サロン	岩見田公会堂	39人	2回
	14	湯郷みずほサロン	町内山下宅	21人	4回
	15	たんぼぼ	ゆのごう館	6人	3回
	16	えびす会	林野公民館	15人	6回
	17	三分区20日会(栄町)	栄町公民館	14人	3回
	18	青空会(栄町)	アルコ	6人	5回
	19	ひまわりサロン	長大寺集会所	15人	6回
	20	朽木サロン	朽木コミュニティー	87人	90回
	21	友野健康広場	友野コミュニティー	19人	5回
	22	山口サロン	山口公民館	17人	16回
	23	山外野遊友サロン	山外野コミュニティー	29人	7回
	24	大原サロン	大原公民館	49人	7回
	25	猪臥どっこいクラブ	猪臥公会堂	45人	5回
	26	なかよしサロン平田	平田コミュニティー	15人	7回
	27	北原	北原コミュニティー	28人	7回

高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ③

地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
美 作 (36)	28	榎原中	榎原中多目的集会所	83人	19回
	29	榎原下	榎原下多目的集会所	90人	7回
	30	さくら会	桜川コミュニティハウス	13人	6回
	31	平福いきいきサロン	平福公民館	112人	4回
	32	榎村ゆきすな	巨勢改善センター	37人	48回
	33	中村健康サロン	中村公会堂	16人	6回
	34	榎サロン	榎公会堂	34人	8回
	35	サロン安蘇	安蘇公会堂	63人	47回
	36	田殿サロン	田殿公民館	134人	1回
地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
作 東 (45)	1	能登香小房サロン	小房コミュニティー	34人	6回
	2	小野ひだまりサロン	小野集会所	68人	6回
	3	横田ふれあいサロン	横田集会所	22人	2回
	4	粟井中サロン	粟井中教育集会所	22人	4回
	5	鷲巣サロン「ほほえみ」	本谷・土師コミュニティ	32人	4回
	6	梶原ほっこりサロン	梶原集会所	30人	6回
	7	南海お元気サロン	南海公会堂	13人	1回
	8	西河内ふれあいサロン	西河内集会所	22人	5回
	9	藤生サロン	藤生公会堂	26人	3回
	10	今在家・駅前ふれあいサロン	今在家・駅前集会所	65人	14回
	11	川北さくら会	川北コミュニティハウス	14人	11回
	12	原久保木サロン	原久保木集会所	15人	7回
	13	あすなろ会	川崎集会所	32人	13回
	14	原元気クラブ	原公民館	16人	7回
	15	江見吉田体操クラブ	吉田公民館	14人	6回
	16	さつきの会	作東公民館	16人	7回
	17	作東お元気会	介護予防通所センター	13人	12回
	18	別所”若葉会”	別所集会所	20人	9回
	19	角南ふれあいサロン	角南コミュニティーハウス	39人	19回
	20	札の内サロン	札の内集会所	14人	6回
	21	土居地区サロンほほえみ	土居老人共同作業所	14人	5回
	22	新町おしゃべり会	新町会館	11人	7回
	23	渡田サロン	渡田公民館	14人	11回
	24	蓮花寺健康サロン	蓮花寺公民館	22人	14回
	25	片伏日向いきいきサロン	片伏日向集会所	20人	20回

高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ④

地 域	サロン名	開催場所	登録者数	実施回数	
作 東 (45)	26	黒藪笑年・笑女サロン	黒藪コミュニティーハウス	22人	12回
	27	毘沙門クラブ	日指公民館	23人	7回
	28	山城ふれあいサロン	山城公会堂	20人	7回
	29	上福原地区サロン	上福原公会堂	12人	4回
	30	岩辺いきいきサロン	岩辺公民館	32人	7回
	31	豊野サロン	豊野公民館	29人	7回
	32	鯨はつらつサロン	鯨公会堂	39人	1回
	33	松脇サロン	松脇隣保館	21人	6回
	34	瀬戸ふれあいサロン	瀬戸コミュニティーハウス	28人	4回
	35	国貞サロン	国貞集会所	19人	76回
	36	万善親和会サロン	万善集会所	30人	7回
	37	柿ヶ原サロン	柿ヶ原コミュニティー	31人	9回
	38	鈴家サロン	鈴家集会所	16人	21回
	39	小ノ谷ふれあいサロン	小ノ谷集会所	20人	6回
	40	西五名サロン	吉野地区センター	23人	4回
	41	中西サロン	中西コミュニティー	14人	4回
	42	鉦・宮土居サロン	鉦コミュニティーハウス	21人	6回
43	小滝ふれあいサロン	小滝公会堂	15人	3回	
44	豆田サロン	豆田老人作業所	29人	6回	
45	東五名ふれあいサロン	殿河内コミュニティー	38人	1回	
地 域	サロン名	開催場所	登録者数	実施回数	
英 田 (21)	1	奥地区ふれあいいきいきサロン	奥コミュニティー	72人	6回
	2	小原高齢者ふれあいクラブ	小原公会堂	35人	8回
	3	山崎ふれあい会	山崎コミュニティー	28人	7回
	4	アカシア会	赤坂コミュニティー	22人	6回
	5	北香合ふれあい会	北香合コミュニティー	24人	3回
	6	南香合むつみの里ひまわりサロン	南香合集会所	23人	7回
	7	井口ふれあいサロン	井口コミュニティーハウス	26人	3回
	8	神田あすなろ会	神田コミュニティー	34人	23回
	9	中磯サロン	中磯公会堂	22人	9回
	10	芦谷サロン会	芦谷コミュニティー	19人	7回
	11	わたげガンバル会	渡瀬コミュニティー	17人	4回
	12	小長ふれあいサロン	小長コミュニティー	30人	3回
	13	上山あじさいの会	上山公会堂	61人	6回
	14	大西ふれあい会	大西ディサービスホーム	15人	6回

高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ⑤

地 域	サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
英 田 (21)	15 英田青野元気会	英田青野コミュニティー	24人	6回
	16 鳥淵ふれあい会	鳥淵コミュニティハウス	16人	7回
	17 城田ひまわり会	城田公会堂	18人	1回
	18 名杭ふれあい会	名杭コミュニティー	41人	3回
	19 中河内わいわいわくわくサロン	中河内公会堂	29人	10回
	20 尾谷ふれあいサロン	尾谷生活改善センター	88人	1回
	21 椿谷地区ふれあいサロン	椿谷コミュニティハウス	20人	1回
令和元年度登録サロン数（年6回以上開催）：155サロン 令和2年度登録サロン数（年6回以下も含む）：143サロン（前年比12減）			5,087人	1,271回

事業概要

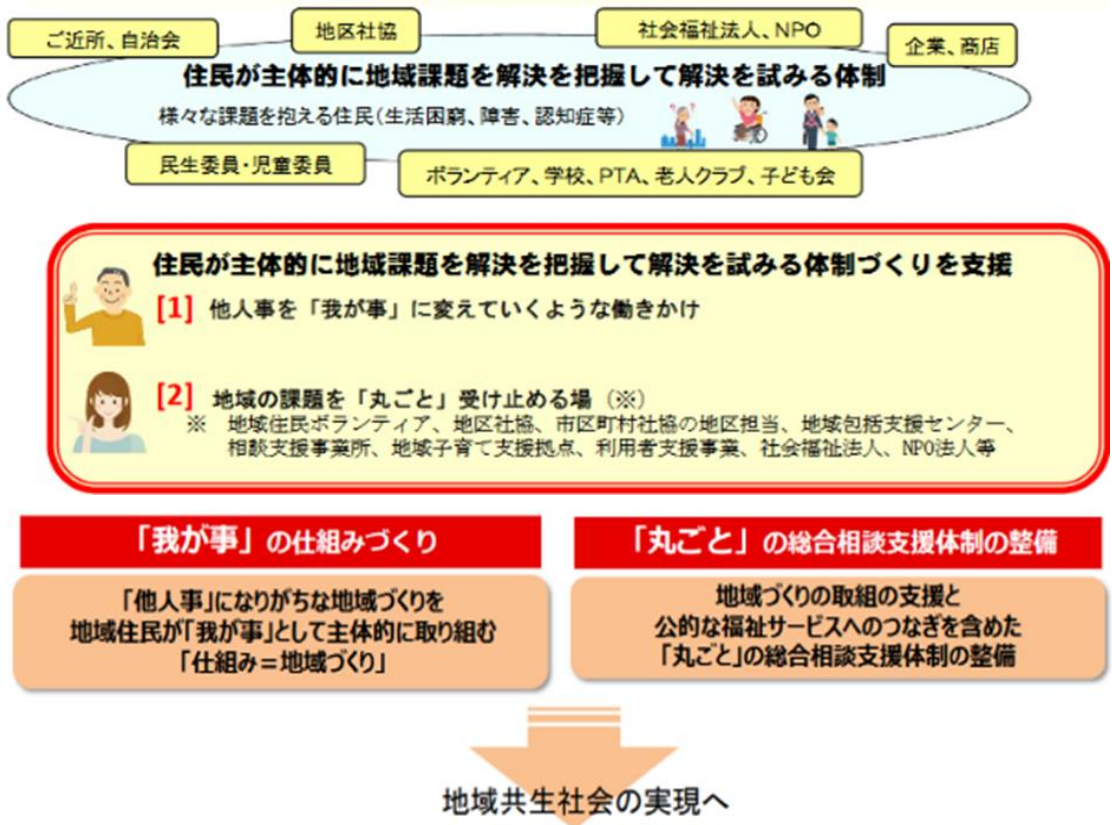
本事業は、厚生労働省のモデル事業である「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」を「我が事・丸ごとの地域力強化推進事業」の名称で、平成30年度から美作市より事業受託し実施しました。令和2年度現在で、美作市を含め全国で278自治体が本事業に取り組んでいます。

この事業は、住民の身近な圏域で、地域で起きている様々な福祉問題や生活課題を他人事ではなく「我が事」として捉え、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりと個人や世帯が抱える複合化・複雑化した課題を包括的に「丸ごと」受け止める相談支援体制を構築し、誰もがそのニーズに応じた支援を受けられる「地域づくり」を進めることを目的としています。

具体的には、「地域力強化推進事業」と「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」の2つの事業の一体的な推進を図ることとされています。美作市においては、平成30年度より「地域力強化推進事業」を、令和元年度より「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を実施しました。

事業内容

地域力強化推進事業のイメージ図



本事業は、住民の身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を構築することを支援するため、次の二つの事業を実施します。

- ①「我が事」の仕組みづくり：住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくり
 他人事を「我が事」に変えていくような働きかけ（意識醸成や地域づくりに必要な働きかけや支援）、活動拠点づくり（誰もが気軽に立ち寄り交流を図ることができる場、住民の自主活動、住民と専門職が話し合うことができる場等）、住民等に対する学習、地域福祉活動へのきっかけづくりや参加促進等に関する取組の実施
- ②「丸ごと」の総合相談支援体制の整備：地域生活課題を包括的に受止める体制の構築
 地域住民の相談を「丸ごと」受け止める場、機能の構築、地域生活課題の把握等、地域生活課題に対する解決策の検討等

1.「我が事」の仕組みづくり

地区社協単位に住民に身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進するために、以下の取組みを実施しました。

①地区社協「福社会議」の開催

福社会議は、地区社協が、地域の生活・福祉課題を把握し、解決に向けた取組みを協議する場として、平成25年度より市内30か所で行われています。美作市社協のCSWは、すべての福社会議に出席し、その中で出てくる地域の生活・福祉課題について、地域が主体となって課題解決に取組めるよう助言やサポートを行っています。また、引きこもりや生活困窮、障害者の地域生活、複合的な課題を抱える世帯等を他人事ではなく自分たちの地域の事（我が事）として捉えるよう、福社会議にグループワークや福祉教育を取り入れ住民の新たな気づきや具体的な活動につながるような働きかけを行いました。本年度の福社会議は、25地区社協で延べ52回開催され、831人の住民が参加しましたが、コロナ禍により多くの地区社協で会議を自粛することになり、前年度に比べ開催地区社協、開催回数、参加人数が大幅に減少しました。

（福社会議の内容は、本資料19～26ページに掲載）

	勝田	大原	東栗倉	美作	作東	英田	合計
福社会議開催回数	9回	10回	2回	10回	11回	10回	52回
参加者数	149人	139人	36人	161人	183人	163人	831人

令和元年度実績：30地区社協で延べ81回開催、延べ1,282人参加

②地域住民等に対する研修の実施

生活困窮や障害者の地域生活等様々な地域課題への住民の新たな気づきや活動を促すために、市内共通のテーマを設けて地区社協の福社会議で研修会を開催しました。

●住民の生活困窮や子どもの貧困問題の理解に向けた研修会

本年度は、生活困窮や子どもの貧困問題についてグループワーク形式の研修会を開催しました（7会場107人参加）。実際にあった市内の事例を通じて、困窮が単なる経済的な問題ではなく世代を超えて連鎖することや見た目では困窮状態がわかりにくいなど、改めて地域全体で子どもを見守り育てていくことの必要性を理解する機会を提供することが出来ました。

また、高齢者の問題だけではなく、地域にはまだまだ埋もれている様々な福祉課題が顕在化していることを提示し、地域住民で何が出来るのか、どのような関わりが必要なのか活発な意見交換が行われました。

本年度は、コロナ禍により研修会を実施できた社協は7地区となりましたが、次年度以降も引き続き研修会を実施するとともに、「8050問題」をテーマにした研修会も順次行う予定です。

③「福祉のまちづくりフォーラムin美作」の開催

●ケーブルテレビを活用した「福祉のまちづくりフォーラム」の放映

毎年、地区社協や福祉関係者を対象に、作東バレンタインプラザで開催していた「福祉のまちづくりフォーラム」は、コロナ禍により従来の会場開催をやめ、みまちゃんネルで「PRビデオ」を作成し、ケーブルテレビによる特集番組を放送しました。

周囲から気づかれず見えにくい「子どもの貧困」の実態を知り、子ども一人ひとりの将来が閉ざされることがないように、貧困の連鎖を断ち切るための地域の関わり方や個人に出来る社会貢献活動（支援）について考える機会を提供しました。

本フォーラムをきっかけに「子どもの貧困」に、多くの市民が問題意識を持ったことが、令和2年8月より募集を開始した「子ども応援夢基金」の寄附へと繋がりました。

2. 「丸ごと」の総合相談支援体制の整備

住民が把握した課題について、包括的に受け止め、相談、助言、情報提供を行うとともに、必要に応じて支援機関につなぐことのできる総合相談支援体制を構築するために、以下の取組みを実施しました。

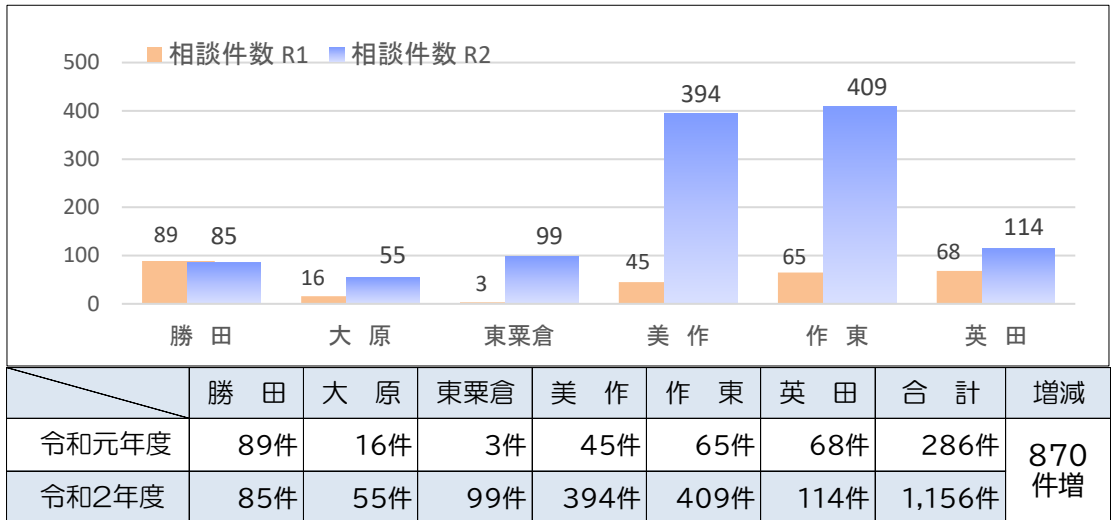
①地域住民の相談を「丸ごと」受け止める「福祉出前ステーション」を開設

サービスや制度を知りたい、どこに相談して良いかわからない等、住民が抱える様々な福祉に関する困りごとの相談に対応する窓口として、平成30年11月から美作市社協6支所に「福祉出前ステーション」を開設しました。「福祉出前ステーション」には、相談支援の専門職であるCSWを配置しており、市民が抱える様々な相談に対応しました。「制度の狭間」にある対象者については、生活困窮が共通した課題となっており、生活困窮者自立支援事業や日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付などの公的な支援（フォーマルサービス）とフードバンクやおむすび事業、美作お助け隊などのインフォーマルサービスを有機的につなぎ、市社協独自の包括的な支援活動を展開しました。

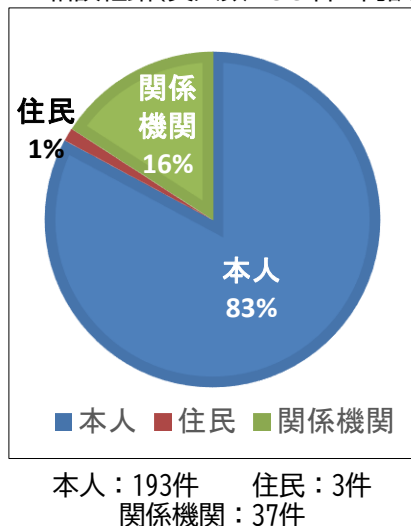
また、地区社協や住民による見守り活動と情報提供を活かし、CSWによるアウトリーチを積極的に進め、個人に寄り沿った支援を行いながら、課題解決に取り組みました。

本年度は、コロナ禍により解雇や雇止め、減収に陥った個人から、生活福祉資金特例貸付に関する相談が大幅に増え、前年比で約4倍の相談件数となりました。

1. 支所別相談延べ件数内訳



2. 相談経路(実人数233名の内訳)



3. 相談内容(重複あり)

生活困窮に関すること	1,084件
障害に関すること	66件
介護に関すること	10件
子育てに関すること	5件
その他	43件

4. 相談後の経過(実人数:233名)

解決(終結)	14件
関係機関につなぐ	5件
継続支援	214件

丸ごとの総合相談支援体制の整備



②福祉出前ステーションの広報活動

住民の身近な相談窓口である「福祉出前ステーション」を周知するために、市社協の広報誌に記事を掲載したり、地区社協の福祉会議やサロン等で広報チラシを配布しました。
また、地区社協の広報誌にも「福祉出前ステーション」や担当のCSWの紹介記事等を掲載してもらい、広報活動に取り組みました。



1)各支所で行った広報活動内訳

	勝田	大原	東栗倉	美作	作東	英田	合計
広報活動	9回	7回	6回	9回	12回	5回	48回
参加者数	124人	112人	52人	117人	198人	81人	684人

2)広報活動を行った主な団体

地区社協・老人クラブ・身障協会・一人暮らしの会・高齢者サロン・
民生児童委員協議会・地域ケア会議・ボランティアグループ・コミュニティカフェ

③職員の資質向上に向けた研修会の実施と専門職の資格取得状況

「福祉出前ステーション」の相談支援に従事する職員には、生活上の課題を持つ個人や家族のニーズに対する個別支援を行いながら、その地域における住民のネットワークづくりや新たな社会資源の開発等の地域支援を展開するコミュニティソーシャルワークの実践が求められています。



美作市社協は、コミュニティソーシャルワークの実践と職員の資質向上を目的に、美作大学の堀川涼子教授を講師に招き、毎月第4金曜日に全職員を対象にしたCSW研修会を開催しています。

また、相談支援に求められる専門的知識と相談技術の向上を図るために、社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員等の資格取得補助制度を創設し、職員の専門職化を図っています。

- 1) 美作大学堀川教授によるCSW研修会の開催状況：8回開催、延べ123人参加
- 2) 令和3年3月末時点の専門職資格取得状況（正職員29名）
社会福祉士：16名 精神保健福祉士：2名 介護支援専門員：16名

④権利擁護センター支援検討委員会によるバックアップ体制

「福祉出前ステーション」には様々な相談が住民から寄せられますが、相談窓口のCSWだけでは解決が難しく、専門的・包括的な支援が必要な場合には、美作市権利擁護センター支援検討委員会で事例検討を行い、専門職からの適切なアドバイスを受け、課題解決を図る体制を構築しています。

美作市権利擁護センター支援検討委員会は、弁護士、司法書士、大学教授、民生委員、児童相談所、保健所、行政関係者、本会職員等が参加し、困難事例や複合的な課題を抱える世帯への支援方針について、毎月協議が行われています。

令和2年度は、「福祉出前ステーション」のCSWが延べ13人出席し、専門職から支援方針に関する助言を仰ぎました。

丸ごとの
総合支援
の体制
の整備

心配ごと・困りごと何でも相談ください

福祉相談

福祉出前ステーション

美作市社会福祉協議会

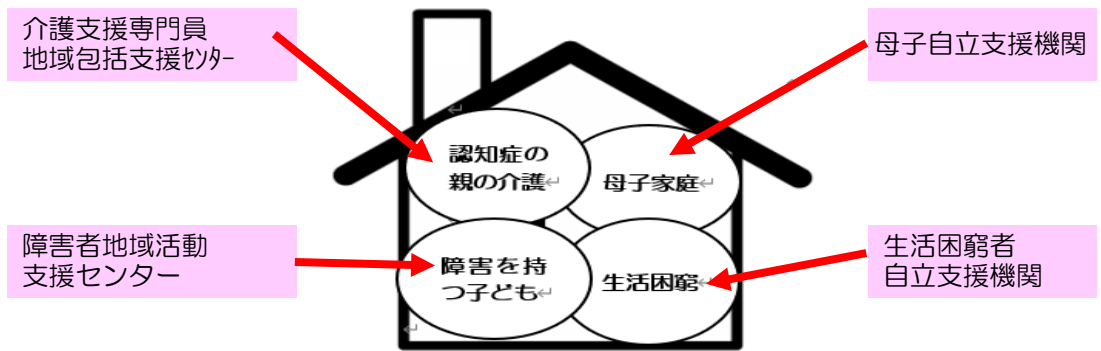
事業概要

本事業は、厚生労働省のモデル事業である「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」を「我が事・丸ごとの多機関の協働による包括的支援体制構築事業」の名称で、令和元年度から美作市より受託し実施しました。「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」は、前年度より実施している「地域力強化推進事業」と「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」で構成しており、二つの事業を一体的に実施することにより地域づくりの強化を図ることとしています。

「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」は、個人や世帯が抱える課題を丸ごと受け止める相談窓口として開設した「福祉出前ステーション」を拠点に、一つの世帯で介護や生活困窮、引きこもり、ゴミ屋敷等の複合化・複雑化した課題を抱える相談ケースに的確に対応するために、それぞれの課題に関わる相談支援機関を総合的にコーディネートする相談支援包括化推進員を配置し、チームアプローチによる包括的な支援体制を構築する事業です。

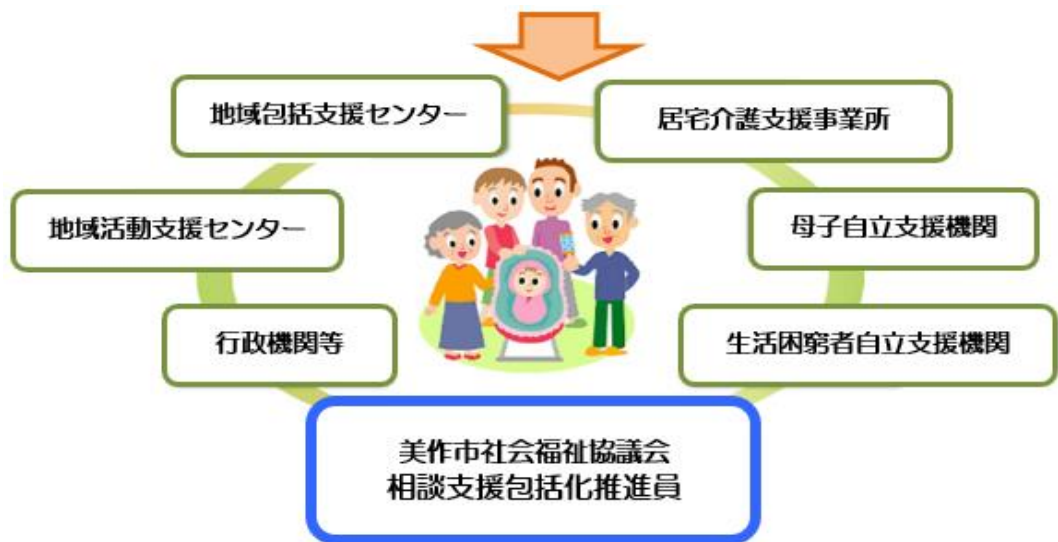
相談支援包括化推進員は、福祉出前ステーションに寄せられた困難事例等について、CSWと連携しながら世帯全体の課題を的確に把握し、多機関・多分野の専門職（支援者）が支援調整について協議する相談支援包括化推進会議の開催や支援に不足している新たな社会資源の創出を図るコーディネーターの役割を担っています。

多機関の協働による包括的支援体制構築事業のイメージ図



介護や生活困窮、引きこもり等の複合的な課題を抱えている世帯には、分野別に様々な専門機関が支援者として関わっていますが、世帯全体の支援には繋がっていないことが多いため、スムーズに各専門機関が連携できるように、相談支援包括化推進員を配置し世帯全体を支援する体制を作ります。

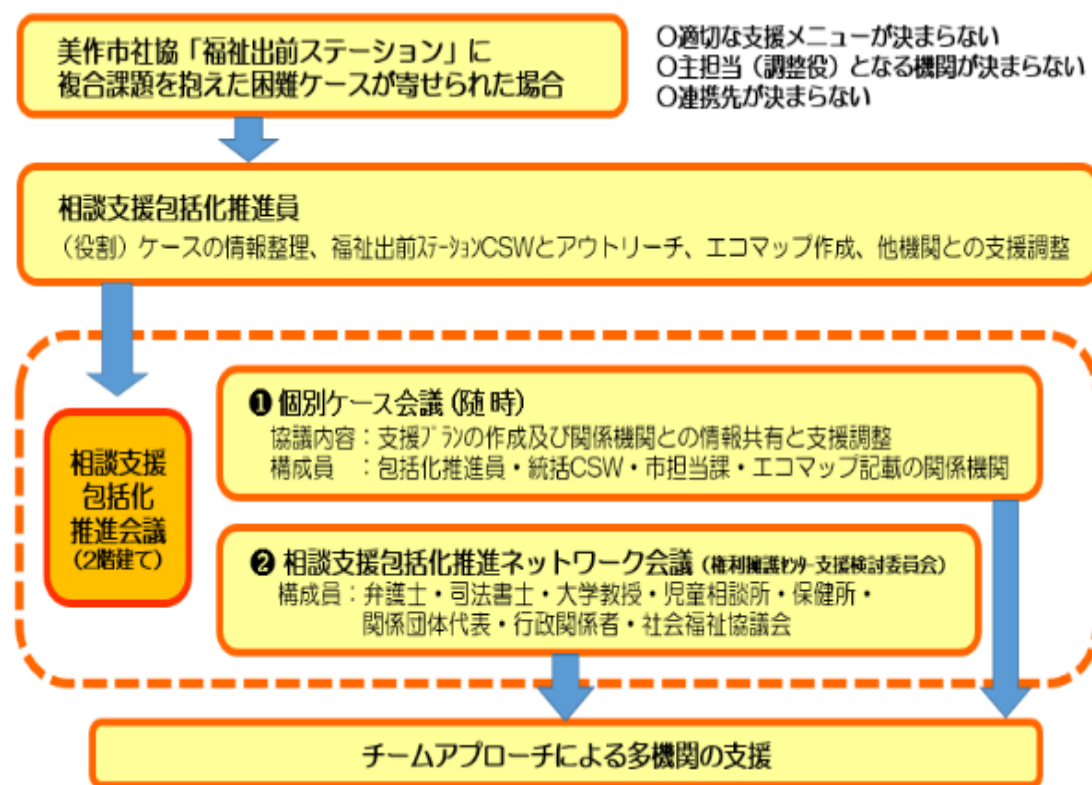
事業内容



協働の中核を担う役割

- 包括的なアセスメントの実施
- 相談内容の共有
- 関係機関のネットワーク化
- それぞれの役割分担の整理
- 新たな社会資源の創出の働きかけ
- 支援内容のモニタリング

①相談支援包括化推進員の配置



事業内容

社会情勢の変化に伴い、福祉ニーズが多様化し、一つの世帯に複合的な課題や問題を抱えるケースが増えています。本事業では、このようなケースに的確に対応するために各制度や分野の相談支援機関を総合的に調整する「相談支援包括化推進員」を1名配置し、包括的な支援体制づくりに取り組みました。

「相談支援包括化推進員」は、課題別に適切な支援機関を招集し、チームアプローチによる解決を図るための連携や調整の役割を果たす専門職になります。

例えば、「認知症の高齢者と中高年の引きこもりの息子」や「介護と育児を同時に抱える母子家庭の母親」といった複雑な課題を抱えた世帯の問題や「制度の狭間」といわれるような問題は、一人の専門職や1つの支援機関、そして1つの分野では対応することができません。そのため、分野を横断した包括的な相談支援体制を構築する必要がありますが、現行の福祉制度は障害、高齢者、児童と分野ごとに縦割りになっており、このような課題に応えることは難しいのが現状です。

相談支援包括化推進員は、このような現行の縦割りの支援を見直し、それぞれに関わる支援機関が一堂に会する場合（相談支援包括化推進会議）を作り、支援機関が一人ひとりではなく、世帯に対してどのような目標に従って、どのように支援するのか合意していく体制を整える役割を担っています。

複合的な課題を抱える困難ケースにおける相談支援包括化推進員の役割と支援の流れは、次に掲げる方法により実施しました。（上記フロー図参照）

- ①福祉出前ステーションのCSWと相談者本人との面接や相談支援機関等からの聞き取りにより、複合課題を評価、分析（アセスメント）
- ②複合課題に関する分析に基づき、その世帯に関わる支援機関のエコマップを作成
- ③支援機関との支援調整を個別に行い、支援の基本的な方向性に関するプランを作成
- ④作成したプランに基づき、支援機関を集めて相談支援包括化推進会議を開催し、支援に関する優先順位や役割分担等の調整を行う
- ⑤各支援機関による支援の実施状況の把握と評価、プランの見直しを適宜行う
- ⑥支援の結果、課題解決に繋がらない場合は、権利擁護センター支援検討委員会において、専門職からの助言・指導を仰ぎ、再度支援調整を行う

②相談支援包括化推進会議の開催



事業実施1年目は、相談支援包括化推進会議を6世帯を対象に延べ20回行い、支援機関20団体が参加しました。相談支援包括化推進会議では、支援機関が抱える課題の整理や優先順位、役割分担を明確にすることができスムーズな支援が可能になりました。

また、会議で取扱う案件には、制度の狭間をカバーする支援が必要なケースが多く、美作お助け隊の地域公益活動や地域の社会資源を活用することにより、本事業を通じて様々な関係機関との連携を図りました。

1)相談支援包括化推進会議で協議した6世帯のケース事例

①	金銭管理が苦手な妻（40代）と、不登校の長女（中学生）のいる生活保護世帯
②	通所介護を利用する母（90代）の年金や妻（50代）の障害年金を使い込む無職の夫（60代）のいる世帯
③	金銭管理が苦手で障害を抱える母（50代）と、障害を抱えて引きこもり状態にある次男（30代）が同居している世帯
④	金銭管理が苦手な夫（60代）と精神疾患で浪費癖のある中国人妻（40代）とその連れ子のいる世帯
⑤	近隣住民から金銭搾取をされている疑いがある父親（70代）と障害を抱え就労継続支援事業所に通う長女（40代）、施設入所中の孫（10代）のいる世帯
⑥	金銭管理が苦手な両親と不登校の長男（小学生）がおり、不衛生な住環境で生活をする世帯

2)相談支援包括化推進会議に参加した支援機関(12団体)

美作市保健福祉部・総務部、相談支援事業所みらい、障害者地域活動支援センターなごみ、相談支援センターほのか美作、指定就労継続支援A型事業所福祉の店きずな、誕生時支援学校、立正青葉学園、自治会長、地域包括支援センター、美作市社協

③新たな社会資源の創出

「制度の狭間」の問題を支援していくためには、個別支援だけではなく、足りないサービス（社会資源）の開発や新たな支援の枠組みの構築も必要になります。美作市社協は、相談支援包括化推進会議で必要とされる社会資源の検討を行い、美作お助け隊の協力により生活困窮者の食糧支援として「フードドライブ事業」を行ってしました。令和2年度は、食糧支援に加え、生活困窮世帯の日用品等の需要にも対応するために、「フード&ライフドライブ事業」を美作お助け隊や地域住民等の協力を得て実施しました。

※詳細は50ページに掲載

④自主財源確保のための取組み

福祉出前ステーションに寄せられる相談を通じて、生活困窮世帯の子どもが多くが、就学費が払えない、修学旅行に行くことが出来ない等の原因で不登校や引きこもり、一般就労できない状態にあり、生活困窮が子どもたちの教育格差や経済格差を生んでいる実態がわかってきました。美作市社協は、生活困窮世帯の子どもを支援する「子ども応援夢基金」を設置し、市民や市内企業から寄附を募るファンドレイジングに取り組みました。

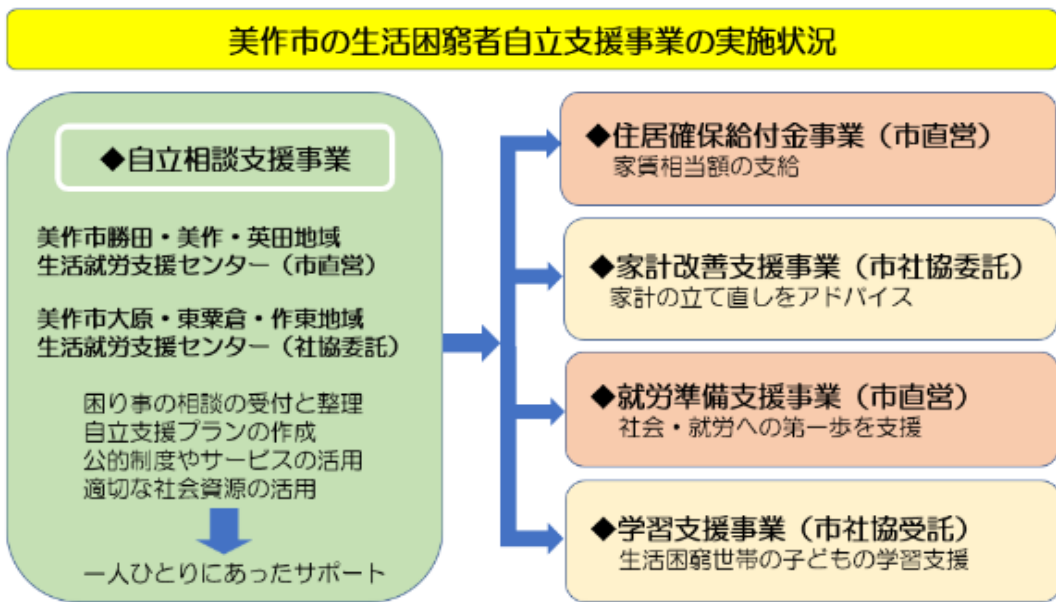
※詳細は11ページに掲載

事業内容

事業概要

平成27年4月1日から施行された生活困窮者自立支援事業は、全国の福祉事務所を置く自治体の実施主体となり、失業や就職活動の行き詰まり等の事情で経済的な困窮状態に陥っている方（生活困窮者）を対象に、自立に関する相談支援や就労に関する支援を実施し生活困窮者の「自立の促進」を図っていく制度です。支援内容は、現金給付ではなく、自立に向けた人的な支援を有期に提供することを基本としています。

美作市においても北山の福祉事務所を拠点に、生活困窮者自立支援法に基づく各事業が行われています。美作市社協は令和元年度より、自立相談支援事業の一部と家計改善支援事業、学習支援事業を美作市より受託するとともに、本所に「美作市大原・東栗倉・作東地域就労支援センター」を設置し、住まい・健康・仕事・家族など多様な課題を抱える生活困窮者に、様々な社会資源等を活用しながら、一人ひとりにあった支援を行いました。



事業内容	名称	美作市大原・東栗倉・作東地域就労生活支援センター
	設置場所	美作市社会福祉協議会本所（美作市江見280）
	開所日	毎週月～金曜日（土曜日及び日曜日、祝祭日、年末年始を除く）
	事業内容	①生活困窮者自立相談支援事業（大原・東栗倉・作東地域を対象） 生活の状況等を本人から聞き取り課題を整理し、自立相談支援員と本人の協働により目的に沿った自立支援プランを作成します。自立支援プランに沿って、関係機関等と連携を取りながら、自立に向けた支援を行います。
		②家計改善支援事業（市内全域を対象） 家計収支のバランスが取れていないなど家計に課題を抱えている方に、家計表やキャッシュフロー表等を用いて、自らの力で家計管理ができるようになるよう相談支援を行います。
③学習支援事業（市内全域を対象） 生活困窮世帯の子どもを対象に、勉強の基礎づくりと居場所・仲間づくりを目的に、学習支援を行います。		
職員配置	<ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援員（社会福祉士・社会福祉主事）：2名 家計改善支援員（社会福祉士）：1名 学習相談支援員（社会福祉士）：1名 	

自立相談支援
の事業概要

自立相談支援は、生活困窮者及び生活困窮者の家族や関係者からの相談に応じ、相談者からの聞き取り（アセスメント）を実施して、個人の状態にあった支援プランを作成し、必要なサービスにつなげます。美作市の自立相談支援は、勝田・美作・英田地域を美作市直営で、大原・東粟倉・作東地域を美作市社協が受託運営しており、それぞれ自立相談支援員が配置されています。美作市社協の本所には、「美作市大原・東粟倉・作東就労支援センター」を設置し、関係機関への同行訪問や美作市の就労支援員と就労支援や認定就労訓練事業の利用の斡旋も行いました。

令和2年度は、コロナ禍により収入減少・離職に伴う生活福祉資金特例貸付の相談が増えたことにより、支援プラン作成件数28件（前年度11件）、延べ相談件数は679件（前年度235件）と大幅に増加しました。相談者の年齢層は50～60代の中高齢者が半数以上を占めています。また、一人の相談者が複数の困りごとを抱えており、支援終了までの期間も長期化しているため、多機関との連携や様々な社会資源を活用した支援が重要になっています。本事業は令和3年度から、市内全域を事業実施区域として受託することになり、美作保健センター内に設置した「総合相談支援センター」を拠点に、各支所の地域ステーションとの連携を図りながら、相談支援を行います。

自立相談支援
の実績

1)相談実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
前年相談受付件数		2	1		1		2		2	1	1	1	11
新規相談受付件数	6	9	2	12	7	7	4	1	2	3	4	4	61
延べ相談受付件数	35	56	54	76	67	69	56	50	69	44	46	57	679
支援プラン作成件数	1	3	2	4	5	4	2	1	1	1	1	3	28
相談終結件数										1	1		2
当月末件数	17	26	28	40	47	54	58	59	61	63	66	70	70

2)相談者の性別

性別	男性	40人
	女性	21人
	合計	61人

4)相談者の困り事の詳細(複数回答あり)

項目	件数
収入・生活費のこと	61件
税金や公共料金の支払いのこと	11件
仕事探しや就職について	13件
病気や健康のこと	4件
家賃やローンの支払いのこと	14件
引きこもりや不登校について	
債務について	4件
家族との関係について	1件
仕事上の不安やトラブル	1件
DV・虐待について	
食べるものがない	3件
合計	112件

3)相談者の年代

年代	20代	1人
	30代	7人
	40代	9人
	50代	13人
	60代	19人
	70代	7人
	不明	5人
	合計	61人

自立相談支援
の 実 績

5)相談支援の内訳(延べ679回の相談件数の支援内訳)

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
相談者実人数	11	17	20	27	23	27	17	20	26	19	22	32	261
①面談	14	16	18	17	23	39	22	18	22	14	18	32	253
②電話相談連絡	5	17	14	26	19	17	9	16	8	9	8	7	155
③訪問・同行支援	2	3	9	13	8	2	8	11	14	9	7		86
④多機関との会議	5	10	2	1	2	4	2		4	2	4	3	39
⑤所内会議					2				3				5
⑥おむすび事業等	9	10	11	19	13	7	15	5	18	10	9	15	141
合計(①～⑥)	35	56	54	76	67	69	56	50	69	44	46	57	679

相談支援の内訳は、相談者の増加により継続支援のケースが増えています。「面談」が最も多く、次いで「電話相談・連絡」となっています。面談や訪問の回数が増加すると、その前後のやり取りとして電話相談等が増えると考えられます。

本会の食糧支援事業である「おむすび事業等」は、相談者との信頼関係を構築する上で大きな役割を担っており、年々需要が増えています。

また複合的な課題を抱える相談者の増加に伴い、多機関との調整のための会議が増えてきており、特に美作市保健福祉部との連携が更に進んできている事を示していると考えられます。

6)プラン作成者で他の事業等を利用した人数

法に基づく事業等	家計改善支援事業	28件
	就労準備支援事業	2件
その他の事業	美作市社協緊急援護資金	3件

広報啓発活動

生活困窮者自立支援事業の周知と事業推進に向け、美作市社協各支所において、様々な団体に向けた事業説明会を行いました(延べ43団体、609人)。
また、本会広報誌に4回の記事掲載をしました。

●団体等に向けた広報活動

地区社協福祉会議等	29回	440人
高齢者カブ・一人暮らし等	3回	29人
地域ケア会議	3回	35人
支部民児協	3回	46人
福祉団体(老人・身障・ホウ)	5回	59人
合計	43回	609人

●社協広報誌による広報活動

家計相談会開催の記事掲載
・令和2年5月号
・令和2年9月号
・令和3年1月号
・令和3年3月号

家計改善支援
の事業概要

家計改善支援事業は、自立相談支援事業と一体的に市内全域を実施区域として取り組みました。家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計に関するアセスメントを行い、家計の状況を「見える化」し、家計再生の計画・家計に関する個別のプランを作成し、利用者の家計管理意欲を引き出す支援を行いました。「家計」の相談は、収入の増加だけでなく収支の管理の仕方に改善の糸口がある場合が少なくありません。原則、初回相談時から家計改善支援員が相談に同席することで、生活困窮要因を見つけることが早くなり、課題解決に向けた整理がつきやすくなります。

令和2年度は、コロナ禍により減収した世帯に対して、生活福祉資金特例貸付を行い、併せて家計改善支援を行ったことにより、利用者数は前年に比べ8倍に増加しました。

その他、滞納の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援、債務整理に関する支援を行い、令和2年度は、利用実人数88人（前年度11人）、延べ相談回数683回（前年度221回）、本人死亡や転居等で終結した件数は3件となりました。

家計改善支援
の実績

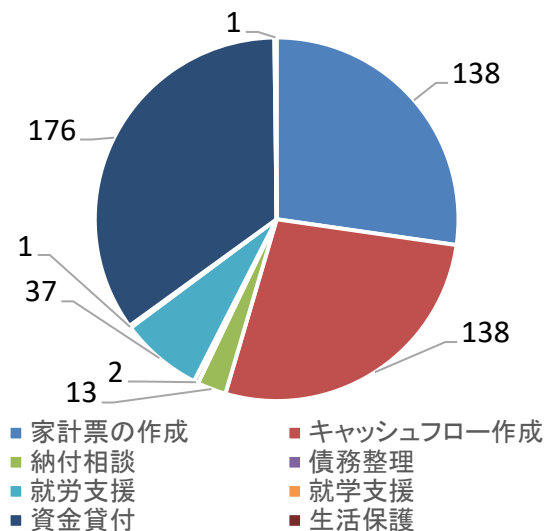
1) 支援実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
相談者実人数	12	2	1	2	4	8	7	4	11	6	5	26	88
①面談	16	24	24	24	30	37	39	29	36	24	44	57	384
②電話相談連絡	9	23	26	29	16	20	7	12	8	11	11	3	175
③訪問・同行支援	3	4	12	11	9	4	5	2	12	14	5	3	84
④多機関との会議	3	1		2	2	3			5	3	3	3	25
⑤その他	1	1	5	4	3				1				15
合計(①～⑤)	32	53	67	70	60	64	51	43	62	52	63	66	683

2) 個別支援内容 (単位：件)

家計票の作成	138
キャッシュフロー作成	138
納付相談	13
債務整理	2
就労支援	37
就学支援	1
資金貸付	176
生活保護	2
合計(①～⑤)	507



学習支援事業
の概要と実績

経済的な問題など、さまざまな家庭の事情により、十分な学習環境が不足していたり、学校や家庭以外での居場所を必要としている子どもを対象にした、学習教室と居場所を提供する事業です。令和2年度は、美作市社協作東支所で10名の小中高校生を受け入れ、延べ177回の利用がありました。（本資料51ページ参照）

支援調整会議

生活困窮者自立支援事業は、生活困窮者の相談に対応し、本人の状態にあった支援プランの作成、評価を行い、関係事業との連携を含めた包括的な支援を行うものとされています。支援調整会議は、毎月1回美作市の主任自立相談員を中心に担当者で支援プラン及び評価について調整を行いました。

生活困窮者自立支援制度への対応
①緊急食料支援おむすび事業・フードバンク事業 ②就学支援リユース事業

事業概要	<p>平成27年4月から生活困窮者自立支援制度が創設されました。この制度は、今まで十分に対応できなかった生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施することで、「自立の促進」を図ることを目的としています。</p> <p>美作市社協は平成27年度より、行政等と連携し既存の制度では対応できない狭間の福祉ニーズに対応すべく、生活困窮者支援を目的とした「緊急食料支援おむすび事業」「フードバンク事業」「就学支援リユース事業」「子どもの学習支援・居場所づくり事業」「生活困窮者等緊急援護資金貸付事業」の5事業を事業化しました。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

① 緊急食料支援おむすび事業・フードバンク事業

事業概要	<p>美作市内に在住し、生活困窮にある方に対して、生活の立て直しの一時的な支援をするために、市民や企業等から食料品や生活用品の寄附を募り、寄附物品を給付します。</p> <p>また、給付対象者の相談に応じ自立支援機関で長期的な生活の立て直しを図るとともに、市民に広く寄附を呼びかけ、生活困窮者支援の実態について周知、啓発を行います。</p>		
支援対象者	<p>現に経済的に困窮し、最低限の生活を維持することが困難な次の世帯</p> <p>①美作市社協で、相談を受付けた世帯 ②美作市保健福祉部総合相談係で、相談を受付けた世帯</p>		
給付物品	玄米、その他長期保存が可能な食料品		
給付内容	<p>①米の給付は、一人一日2合で原則2週間分とし、家族構成により上限10kgまで ②美作市の支援機関等からの要請があった場合は、状況により対応</p>		
寄附・給付状況	玄米	寄附物品総重量	1,996kg（令和元年度：1,606kg）（平成27年度から延べ8,853kg）
		寄附者実人数	39人（令和元年度：35人）
		給付物品総重量	1,741kg（令和元年度：1,360kg）（平成27年度から延べ5,997kg）
		給付実世帯数	60世帯（令和元年度：31世帯） （内訳）美作市社協提供分：57世帯（令和元年度：31世帯） 美作市保健福祉部提供分：不明（令和元年度：1世帯）
		その他給付	美作市社協「子どもの学習支援・居場所づくり事業」に充当
	食料品	寄附物品総重量	488kg（令和元年度から延べ899kg）
		寄附者実人数	8人
		給付物品総重量	631kg（令和元年度から延べ785kg）
		給付実世帯数	68世帯
		その他給付	美作市社協「子どもの学習支援・居場所づくり事業」に充当 美作市保健福祉部・地域包括支援センター

② 就学支援リユース事業

事業概要	<p>不要になった制服などを市民から寄附を募り、必要とする家庭に渡し、生活困窮世帯等の子供への就学支援として、美作市保健福祉部と協働し実施する。寄附の募集は、美作市の総合相談窓口寄せられた内容を社協広報紙により随時掲載。</p>
支援対象者	美作市保健福祉部社会福祉課 総合相談窓口相談が寄せられた方
支援実績	2件（作東中学校制服・体操服、林野高校制服）

生活困窮者自立支援制度への対応

③子どもの学習支援・居場所づくり事業 ④生活困窮者等緊急援護資金貸付事業

③子どもの学習支援・居場所づくり事業

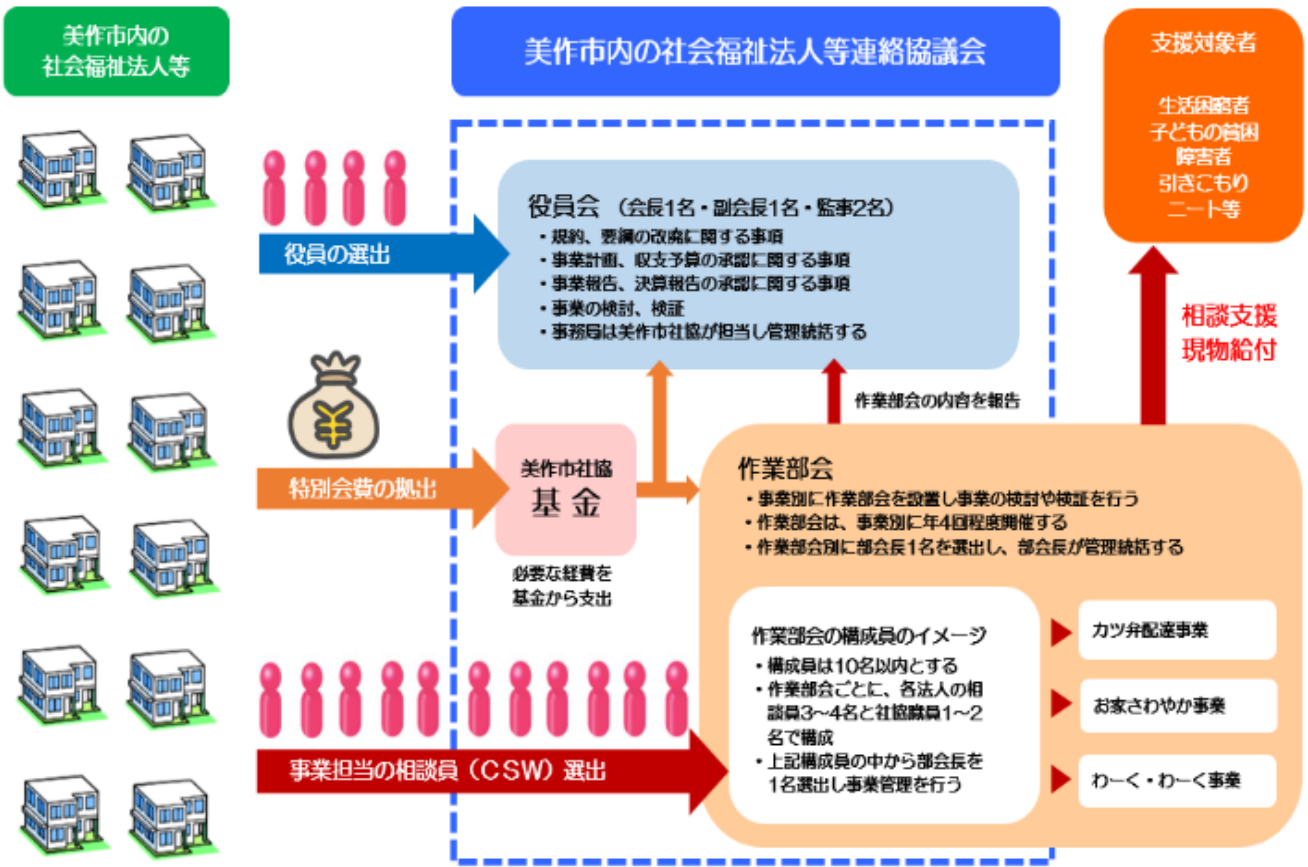
事業概要	<p>平成29年度より、生活困窮世帯やひとり親世帯等の小中学生の子どもに対して、学習支援や居場所の提供等を行うことで、学習意欲の向上や日常生活習慣・社会性・自己肯定感を育むことを目的に、市社協作東支所で「子どもの学習支援・居場所づくり事業」を実施しています。</p> <p>本事業は、主に作東地域の小中高校の児童・生徒を対象に、基本的な生活習慣を身につけることを目的に、主任児童委員や地区社協関係者、美作大学生の協力を得て、放課後、夏・冬・春休み、中間・期末テスト期間に実施しました。</p> <p>令和2年度はコロナ禍により従来行っていた介護保険事業所でのボランティア活動は中止しました。事業実施においては、子どもや保護者、世帯全体の貧困の連鎖を防止するために、中学校・教育委員会・美作市保健福祉部と定期的な協議を行い、事業を進めています。</p>
支援対象者	美作市内の中学生で、中学校や美作市保健福祉部が支援対象としている生徒とその兄弟姉妹
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習支援：授業の予習・復習、日々の勉強の習慣づけ（学生ボランティアが協力） ② 居場所の提供：ボランティア活動をしながら過ごせる居場所の提供 ③ 日常生活習慣：衣類の洗濯、炊飯・おにぎり作り、シャワー浴 ④ 自宅までの送迎 ⑤ 昼食の提供（無料） ⑥ ボランティア活動保険の加入（市社協負担） ⑦ 子どもや保護者の相談援助
受入れ場所	美作市社会福祉協議会本所（作東長寿センター内）
実施日	放課後・夏休み・冬休み・春休み・中間・期末テスト期間中の延べ83日間
受入れ人数	実人数：10人（男子3人・女子7人） 受入れ延人数：177人
学校内訳	江見小学校、土居小学校、作東中学校、真庭高校、誕生寺支援学校、津山工業高校
協力団体等	主任児童委員・作東地域社協・美作大学実習生等・住民ボランティア

④生活困窮者等緊急援護資金貸付事業

事業概要	緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった生活困窮者等に対し、小口の資金を貸し付けることで自立更生をはかります。
貸付対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援法に基づき自立支援計画を策定されている世帯 ・生活保護を申請し、生活保護費の支給開始までの世帯 ・日常生活自立支援事業利用者で会長が必要と認めた世帯
貸付件数	10件（令和元年度：12件）
貸付金額	<p>365,000円</p> <p>※ 6件は令和2年度中に償還済み、 4件は令和3年度中に償還予定。（200,000円償還済）</p>

事業概要	<p>平成28年4月1日、社会福祉法が改正され、全ての社会福祉法人に「地域における公益的な取組を実施する責務」として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料もしくは低料金で新たな福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならないことが規定されました。</p> <p>美作市社協は、今回の法改正を受け、一つの社会福祉法人ではできない制度の狭間にある新たな福祉ニーズを市内の社会福祉法人等が連携・協働し、地域の公益的な取組を進めるための協議会設立を市内の社会福祉法人等に働きかけ、平成29年6月1日に12法人14事業所で組織する「美作市内の社会福祉法人等連絡協議会」を設立しました。</p> <p>令和2年度はコロナ禍により、役員会、作業部会の開催が難しくなっていますが、活動が4年目を迎え、関係機関にお助け隊の活動周知が図られ、特にわーくわーく事業の希望者が増えています。</p>	
参加法人等	法人名	事業所名
	1 社会福祉法人 日本原荘	ケアサービスセンターかつた
	2 社会福祉法人 経山会	特別養護老人ホームやすらぎ荘
	3 社会福祉法人 幸輝会	特別養護老人ホームみまさか園
	4 社会福祉法人 幸輝会	特別養護老人ホーム作東寮
	5 社会福祉法人 光風福祉会	特別養護老人ホーム螢流荘
	6 社会福祉法人 千寿福祉会	特別養護老人ホームロマンシティあいだ
	7 社会福祉法人 千寿福祉会	デイサービスセンター湯郷・グループホーム湯郷
	8 社会福祉法人 勝明福祉会	障害者相談支援センターほのか
	9 社会福祉法人 勝明福祉会	就労継続支援A型福祉の店きずな
	10 社会福祉法人 津山みのり学園	児童発達支援事業所めばえ
	11 特定非営利法人 ワークサポート	
	12 特定非営利法人 地域生活支援センターみまさか	
	13 NPO法人 美作自立支援センター	
	14 社会福祉法人 美作市社会福祉協議会	
事業概要	基本方針	<p>参加社会福祉法人等は、相互の連携を図り、制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、地域が必要とする新たな福祉サービスの開発及び支援を行い、地域の社会資源として役割を果たす。</p>
	目的	<p>①社会福祉法人等が主体的になって地域のセーフティネットの役割を果たす ②制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、制度の枠組みを超えて、その人に必要な支援を行う ③各社会福祉法人等の専門性を有効活用し、複数の社会福祉法人等や地域の関係団体と連携することにより支援する ④地域が求める福祉ニーズに応じるため、市内の社会福祉法人等がネットワークを構築し、新たな福祉サービスを開発・提供する ⑤社会福祉法人等が、地域の福祉資源として機能するよう役割を果たす</p>
	支援対象者	<p>社会福祉法人等の利用者及びその世帯、又は地域で生活する上で困難を抱えている方</p>

美作市内の社会福祉法人等連絡協議会のフロー図



<p>実施事業</p>	<p>生活困窮者等に対し、次の事業を一体的に提供するため作業部会を設置し、寄添い支援を継続しながら一般就労に繋ぐ。また福祉ニーズに柔軟に対応し、新たな福祉サービスの開発に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①フードワン事業（フード＆ライフドライブ、生活困窮者等への配食サービス事業） ②お家さわやか事業（ゴミ屋敷清掃事業） ③わーく・わーく事業（生活困窮者等の就労訓練事業） ④子どもの学習支援・居場所づくり事業（生活困窮世帯の中学生の学習支援と居場所）
<p>会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①総会：6月 ②役員会：年3回程度（役員会の事務局は美作市社協が担当） ・各法人から役員1名を選出し、会長・副会長・監事を設置 ③作業部会：随時開催 ・各法人から相談員1名がいずれかの作業部会に参加し、実施する事業の調査、検討を行う
<p>参加法人費</p>	<p>参加法人から法人会費を拠出し、協議会の事業費に充当する。 法人均等割負担金10,000円 + (1,000円 × 職員数) ※職員数は、前年度の週40時間勤務の職員数 ※令和2年度は助成金の交付があり、法人会費総額は110,000円</p>



	期日・会場	内 容
役員会等 開催状況	令和2年6月19日 作東長寿センター	美作お助け隊 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告について ・令和元年度決算報告について ・役員改選並びに作業部会の構成員の変更について ・会長の選任について
	令和2年7月29日 作東長寿センター	第1回 役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・作業部会からの報告 ・フード&ライフドライブ事業について ※子育て世帯への支援等の検討
	令和2年12月11日 作東長寿センター	第2回 役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・(株)山陽マルナカ移動販売について ・かつ弁部会について（フードワン部会に名称変更）
	令和3年3月	第3回 役員会（書面決議による開催） <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画（案）、収支予算（案）について ・作業部会の報告
作業部会の 概要	<p>作業部会は、美作お助け隊参加法人の職員で組織する事業部隊で、各法人の利用者やその世帯等から支援対象者を拾い出し、アセスメントシートを元に4つの事業に結び付けながら、衣食住の生活の自立に向けた受理調整会議や事例検討、事業検証を行っています。美作市社協からは、各作業部会に1名の職員を配置し、部会の事務局的役割を担っています。また、支援者ニーズに対応するための新たな福祉サービスの企画・立案についても随時協議が行われました。（延べ11回開催）</p>	
作業部会の 開催状況	<p>フードワン事業作業部会(構成メンバー:4法人 5名) 第1回 令和2年7月27日: 部会長の選任、フード&ライフドライブ事業について 第2回 令和2年12月3日: フード&ライフドライブ事業について、部会名称変更</p>	
	<p>わーく・わーく事業作業部会(構成メンバー:6法人 7名) 第1回 令和2年7月1日: 支援後・支援中の状況報告、新規ケースの検討 第2回 令和2年12月1日: 支援後・支援中の状況報告、新規ケースの検討（1件） 第3回 令和3年1月26日: 支援後・支援中の状況報告、新規ケースの検討（1件）</p>	
	<p>お家さわやか事業作業部会(構成メンバー:6法人 7名) コロナ禍のため、作業部会は開催せず、メールで新規ケース検討（1件）</p>	
実践発表	<p>美作お助け隊の活動は、市町村域の社会福祉法人のネットワーク組織による先駆的な取組として高い評価を受けており、県社協主催の研修会において実践発表を行いました。</p> <p>○令和2年度 市町村域における社会福祉法人等ネットワーク情報交流会 「自立支援機関と美作お助け隊との連携について」 報告者：美作市社協 福田課長 期日：令和2年12月9日 場所：岡山県社協</p> <p>○令和2年度 生活困窮者自立支援事業 関係機関研修会 「働きづらさを抱える方のための働く場づくり」 報告者：高橋会長 福田課長 期日：令和2年12月21日 場所：岡山県社協</p> <p>○岡山県地域公益活動推進センター社会福祉法人役員セミナー大会 「地域公益活動を推進するための複数法人連携によるネットワーク組織の意義について」 報告者：美作市社協 春名事務局長 期日：令和3年2月15日 場所：岡山県社協</p>	

1. フードワン事業(生活困窮者等への配食、フード&ライフドライブ)

○生活困窮者等への配食

1) 事業概要

各法人が行う事業の中で生活困窮者等を発見し、活力をつけてもらうための弁当を無料で配布することにより(月～金曜日)、生活の自立に向けた支援を行う。弁当は自立に向け段階的に有料とする。

2) 利用料(最長6ヵ月実施)

2ヵ月までは無料。以後1ヵ月経過毎に段階的に有料とし、4ヵ月以降は400円。

- ・1日～2ヵ月：無料
- ・2ヵ月～3ヵ月：200円/食
- ・3ヵ月～4ヵ月：300円/食
- ・4ヵ月以降：400円/食

3) 支援対象者

各法人が必要と認めた者、市生活困窮担当者等が必要と認めた者(生活保護申請後受給開始までの者)

4) 事業実績

- ・令和2年度：実施なし
- 令和元年度までの実施数：12件

○フード&ライフドライブ

1) 事業概要

住民等から余剰食材等の寄附を受け、食事に困っている生活困窮世帯等に食料品を提供する。全参加法人が、食料品の受入れ場所になることで、社会福祉法人が住民にとって身近な福祉施設として認識され、地域との関わりを積極的に持つ機会に繋がるとともに、住民と社会福祉法人の協働による生活困窮者等への支援の仕組みを作る。

2) 実施状況



第1回 令和2年8月25日(火)～9月14日(月)
食品・日用品 1,003品 203.8kg



第2回 令和3年1月12日(月)～1月22日(金)
食品・日用品 1,132品 412.5kg

3) 提供状況

提供世帯：239世帯 提供品数：2,939品 提供重量：614.3kg

事業実施
状況

2. わーく・わーく事業(生活困窮者等への就労訓練事業)

1) 事業概要

各法人の利用者や世帯等の中で就労訓練が必要な者を、美作市の生活困窮者相談窓口に繋ぎ、各法人が就労支援事業者として中間就労の受入れをし、一般就労に向けた支援を行う。

2) 支援対象者

美作市自立相談支援事業で、就労訓練事業(中間的就労)の利用が適当であると行政が認められた者

3) 就労支援事業所登録法人: 6法人9事業所

- ①社会福祉法人日本原荘 ケアサービスセンターかつた
- ②社会福祉法人経山会 特別養護老人ホームやすらぎ荘
- ③社会福祉法人幸輝会 特別養護老人ホームみまさか園
- ④社会福祉法人幸輝会 特別養護老人ホーム作東寮
- ⑤社会福祉法人光風福祉会 特別養護老人ホーム螢流荘
- ⑥社会福祉法人千寿福祉会 デイサービスセンター湯郷
- ⑦社会福祉法人千寿福祉会 特別養護老人ホームロマンシティあいだ
- ⑧社会福祉法人美作市社会福祉協議会 デイサービスセンター大原事業所
- ⑨社会福祉法人美作市社会福祉協議会

4) 受入れ期間及び時間: 原則3か月、週2日の1日2時間

5) 業務内容等: 各法人で提供できる清掃作業、洗濯物たたみ、配膳、洗車等軽作業

6) 費用弁償等: 受入事業所で、費用弁償として2,000円を日払い

7) 事業実績

- ・中間就労受入実人数: 10名(内訳)引きこもり5名・不登校1名、ニト3名他
- ・受入れ後の状況: 3名が就労中
- ・受入れ法人: 5法人
- ・受入れ状況と事業終了後の当事者の状況

- ①美作市社会福祉協議会大原支所(4月2日~4月30日): 8日
→元年度からの継続、事業終了後就職等できず、なごみが継続支援
- ②美作市社会福祉協議会(5月7日~7月28日): 17日
→受け入れ期間中にコンビニでアルバイトとして雇用
- ③ワークサポート英田事業所(7月21日~9月1日): 13日
→期間中に大阪の実家に帰郷
- ④ロマンシティあいだ(8月25日~年11月20日): 26日
→事業終了後、B型作業所を利用
- ⑤美作市社会福祉協議会(9月17日~11月10日): 18日
→事業終了後、ガソリンスタンドに就職、その後短期バイトをするも現在無職
- ⑥美作市社会福祉協議会(12月22日~1月10日): 2日
→期間中に前職場(警備員)に再就職
- ⑦美作市社会福祉協議会(1月18日~利用中): 22日
- ⑧みまさか園(12月15日~2月10日): 21日
→事業を早期終了し、みまさか園に一般就労
- ⑨螢流荘(12月7日~3月2日): 26日
→事業終了後、工場に就職
- ⑩みまさか園(2月9日~利用中) 15日

8) わーく・わーく事業過年度受入状況等

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	合 計
利用者数	2	3	4	10	19
利用者の生活状況	引きこもり：2	引きこもり：2 精神障害者：1	引きこもり：2 生保受給者：1 不登校：1	引きこもり：5 不登校：1 精神障害者：2 発達障害者：2	
受入施設	高齢者施設：2	高齢者施設：2 美作市社協：1	高齢者施設：1 美作市社協：3	高齢者施設：1 障害者施設：1 美作市社協：6	
一般就労移行者数	1	2	3	5	11
就労先	特養介護員	土木作業員 特養清掃員	警備員 弁当屋販売員 特養清掃員	工場作業員 コンビニ店員 GS店員	
就労率	50%	66%	100%	83%	58%

事業実施状況

3. お家さわやか事業(ゴミ屋敷清掃事業)

1) 事業概要

各法人が行う事業の中でゴミ屋敷状態にある世帯を発見し、法人職員のマンパワーを活かして清掃作業を行う。また本人の抱える生活上の課題解決に向け支援する。

2) 支援対象者

各法人が必要と認めた者（生活困窮者・障害者・認知症の者）。

但し、清掃作業を通して自立を促せる可能性がある者、又は行政関係者や関係機関等の関わりが既にあり、その支援の一部として必要な者。

3) 事業実績

・実施件数：1件

・実施状況 退院後、介護サービスを利用して在宅生活をする独居高齢者宅を清掃
令和2年6月1日 地元協力者12名、法人5名、関係機関4名参加

4. 子どもの学習支援・居場所づくり事業

1) 事業概要

健全な育成環境を維持することが困難な世帯等の子どもが、ボランティア活動に参加することで、役割を持つことや、他人から感謝される経験を通じて自己肯定感を高めるとともに、基本的な生活習慣を身につけ、いじめの対象や不登校にならないよう支援する。

2) 支援対象者

美作市内の小中高校生で、学校や美作市保健福祉部が支援対象としている児童生徒

3) 事業実績

・実施場所：美作市社会福祉協議会本所（作東長寿センター内）

・開所日数：83日 ・利用実人数：10名 ・利用延人数：177名

4) 関係機関等との情報共有、役割共有

生徒のスムーズな受入れ、学生生活の維持、世帯全体の支援をするため下記の関係機関とケース会議、訪問、来所、電話等で情報共有、役割共有等を図った。

土居小学校、作東中学校、誕生寺支援学校、美作塾、美作市保健福祉部、スクールソーシャルワーカー、地域活動支援センターなごみ、主任児童委員、地域のボランティア

美作お助け隊の地域公益活動を広く市民に伝えるために、様々な媒体を活用して広報活動に取り組みました。地道な広報活動を継続することにより、市民を始め地区社協や福祉関係者からの要援護者の情報提供も増えています。



広報活動等

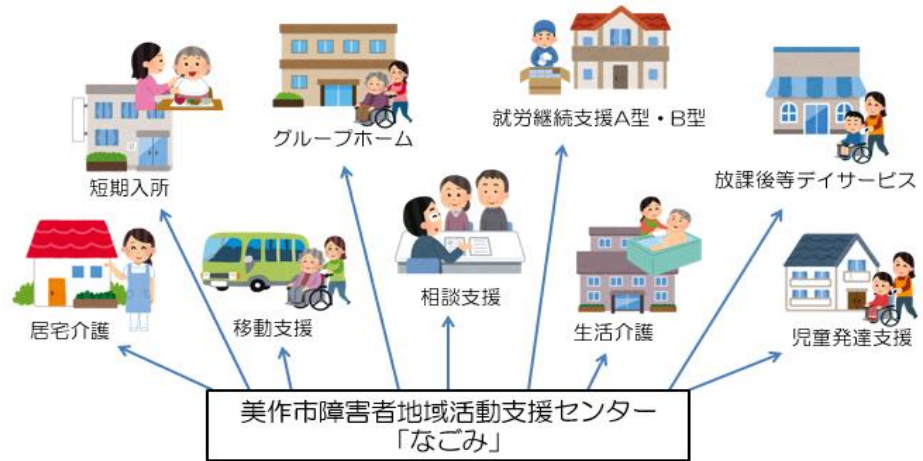
- 1) ケーブルテレビみまちゃんねる 「トップは語る」
出演者：高橋会長 放送日：令和3年1月7日
- 2) 美作市社協広報誌「はい！社協です」で、広報記事掲載
 - ①令和2年9月号（フード＆ライフドライブ実施について）
 - ②令和2年11月号（フード＆ライフドライブ事業お礼とご報告）
 - ③令和3年1月号（フード＆ライフドライブ実施について）
 - ④令和3年3月号（フード＆ライフドライブ事業お礼とご報告）
- 3) 山陽新聞記事掲載
 - 「子育て世帯応援しよう 美作お助け隊」（令和3年1月8日）
 - 「1132点の善意集まる 美作お助け隊」（令和3年2月2日）

事業概要		<p>美作市からの受託事業で、小学校就学前の乳幼児をもつ保護者に、子どもを安心して遊ばせながら育児相談や子育て中の親が気軽に集い、語り合えるような場（子育てサロン）を提供することにより、保護者の育児に対する不安・負担の緩和を図るために、市内7ヶ所で「子育てサロン」の活動支援を行っています。市社協は、各サロンへ助成金交付や子育てに関する講習やボランティア等の派遣を行っています。</p> <p>令和2年度はコロナ禍によりサロンの休止や利用控えの為、利用人数が減少しました。サロン開催にあたっては、マスクの着用や手指消毒など感染予防に配慮しました。</p>							
		<p>美作市からの受託事業で、小学校就学前の乳幼児をもつ保護者に、子どもを安心して遊ばせながら育児相談や子育て中の親が気軽に集い、語り合えるような場（子育てサロン）を提供することにより、保護者の育児に対する不安・負担の緩和を図るために、市内7ヶ所で「子育てサロン」の活動支援を行っています。市社協は、各サロンへ助成金交付や子育てに関する講習やボランティア等の派遣を行っています。</p> <p>令和2年度はコロナ禍によりサロンの休止や利用控えの為、利用人数が減少しました。サロン開催にあたっては、マスクの着用や手指消毒など感染予防に配慮しました。</p>							
事業内容		業務の目的		<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て親子の交流と集いの場を提供する。 2. 子育てアドバイザーが、子育ての悩み等に相談に応じる。 3. 地域の子育て関連情報を、集まってきた親子に提供する。 4. 子育て及び子育て支援に関する講習を実施する。 					
		開所時間		1日（回）あたり3時間以上開催					
		利用料		無料					
		事業概要							
子育てサロン活動状況内訳	サロン名称	開催場所	開催日	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				開所日	利用人数	開所日	利用人数	開所日	利用人数
	ちびゆりクラブ	高齢者福祉センター「やまゆり苑」	毎月2回（不定期）	24日	523人	22日	272人	20日	337人
	まめっこ	大原保健センター	毎週火曜日	49日	664人	46日	337人	36日	73人
	こっこ	いきいきゆうゆうの里 世代交流多目的ホール	毎週月・木曜日	88日	2,211人	81日	2,012人	72日	904人
	えんぜる	いきいきゆうゆうの里 世代交流多目的ホール	毎月第1火曜日	11日	115人	10日	113人	1日	4人
	さくらハウス	旧巨勢小学校	毎月第1・第3水曜日	26日	240人	25日	205人	5日	45人
	ぱれっと	作東長寿センター	毎月第2・第4金曜日	22日	284人	22日	209人	18日	149人
	つくしんぼ	生涯学習センター 英田保健センター	毎月第1・第3金曜日	20日	407人	18日	256人	16日	297人
	合 計				240日	4,444人	224日	3,404人	168日

事業概要	美作市から補助金を受け、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、遺族会、保護司会の事務局を担当し、自主運営に向けた福祉団体の支援を行っています。						
活動状況と助成金	団体名	会員数				役員会の開催状況	助成金額
		H29	H30	R1	R2		
	老人クラブ連合会	7,859人	7,771人	7,608人	7,224人	3回	6,876,000円
	身体障害者福祉協会	323人	298人	271人	202人	2回	810,000円
	遺族会	788人	690人	659人	634人	1回	990,000円
	保護司会	24人	25人	25人	23人	3回	450,000円
合	計				9,126,000円		
支部助成金内訳	団体名	勝田	大原	東粟倉	美作	作東	英田
	老人クラブ連合会	790,200円	1,102,800円	177,120円	1,532,400円	1,637,640円	666,720円
	身体障害者福祉協会	—	188,000円	—	144,500円	134,000円	156,500円
	遺族会	51,850円	98,300円	25,700円	201,100円	131,290円	54,820円
	保護司会	—	—	—	—	—	—
事務局の取り組み内容	団体名	事務局の取り組み内容					
	老人クラブ連合会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	身体障害者福祉協会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	遺族会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	保護司会	事業企画や事務運営の指導援助を行う。					

障害者地域活動支援センター I 型「なごみ」①

事業概要



美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」は、平成30年度より美作市から事業受託し、地域で生活する身体障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児が、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、精神保健福祉士等の専門職による日常生活の困り事等の相談支援や訪問活動、福祉サービスの利用援助、地域ボランティアの育成及び障害に対する理解を促す普及啓発等を行っています。

また、通所（通いの場）による創作的活動等の機会の提供や社会との交流の促進等、当事者活動の支援も行っており、地域社会との交流を促進する役割を担っています。

また、平成18年10月の開設以降作東総合支所を拠点に活動してきましたが、令和元年7月1日に作東長寿センターへ移転し、新たな場所で活動を開始しています。

事業内容

施設名称	美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」
事業所形態	地域活動支援センター I 型
場所	作東長寿センター内（美作市江見280番地）
開所日	毎週月～金曜日（日曜日及び土曜日、祝祭日、年末年始は休館）
開館時間	8：30～17：15
事業内容	① 障害児・者の日常生活に関する相談及び情報の提供 ② 地域における障害児・者の自主的な活動に関する支援 ③ 地域における障害児・者との交流の機会の提供
利用料	無料
職員の配置	施設長（社会福祉士）1名、 相談支援専門員（精神保健福祉士・社会福祉士）1名 （初任者研修修了者）1名 指導員2名（臨時職員2名）

相談支援実施状況

※ふれあいホール利用者相談含

地域で生活する障害児・者やその家族が、安心して生活ができるように、困ったことやわからないことを気軽に相談できる窓口として、相談支援専門員、精神保健福祉士などの専門職員が相談に対応し情報提供や訪問活動等の生活支援を行いました。

1)相談支援を利用している障害者等の実人数 (単位：人)

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能	その他	令和2年合計	令和元年合計
障害者	24	0	41	84	3	2	10	164	132
障害児	0	0	11	0	5	0	0	16	7
合計	24	0	52	84	8	2	10	180	139

相談支援実施状況 ※ふれあいホール 利用者の相談 含	2)支援方法 (単位:件)		3)支援内容(全12,272件対応の内訳) (単位:件)	
	訪問	608	福祉サービス利用(年金・社会資源)	2,098
	来所相談	351	不安解消・情緒安定(生活上の悩み)	1,630
	本人に同行	107	健康・医療(病気・服薬・受診)	1,628
	電話相談	978	家族・対人関係に関する支援	1,384
	電子メール	1	就労に関する支援(仕事・作業関係)	1,019
	個別支援会議	171	家計(金銭管理)に関する支援	970
	関係機関	2,051	障害や病気の理解に関する支援	954
	団体支援	51	生活技術に関する支援(生活支援)	569
	その他	8	社会参加・余暇活動に関する支援	430
	合計	4,326	保育・教育に関する支援	72
			権利擁護に関する支援	27

美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」には、美作市在住の障害児・者を対象に、日中活動の場の提供や創作活動、地域交流などの機会を提供する「ふれあいホール(通いの場)」を開設しており、当事者主体の活動拠点として事業を行っています。
 令和元年7月1日の作東長寿センターへの移転後は、入浴設備や調理室もあり、ふれあいホールの活動の幅も広がり、一日あたりの平均利用人数も5.6人から7.8人に増加しました。

1)ふれあいホール利用人数(利用登録者数:63人)

	開所 日数	延べ 人数	送迎 日数	入浴 者数		開所 日数	延べ 人数	送迎 日数	入浴 者数
4月	21日	159人	12日		10月	22日	172人	13日	7人
5月	18日	120人	10日	5人	11月	19日	150人	12日	
6月	18日	193人	11日		12月	19日	149人	12日	
7月	21日	162人	13日	2人	1月	19日	133人	11日	
8月	20日	153人	14日		2月	18日	138人	12日	
9月	20日	146人	12日	1人	3月	23日	176人	16日	
令和2年度平均利用人数7.9人/日					合計	238日	1,851人	148日	15人
					R1合計	239日	1,350人	142日	72人

2)行事・レクリエーション活動

	回数	利用者	職員	その他	令和2年 合計	令和元年 合計
ミーティング	12	141	37	15	193	174
七宝焼き作り	10	140	32	11	183	182
レディース(料理教室・創作活動)	12	90	36	21	147	128
メンズデイ(料理教室)	0	0	0	0	0	56
調理の日	10	141	33	14	188	89
囲碁ボール(地区住民との交流)	9	109	26	26	161	182
茶話会	8	107	25	11	143	135
課外活動・見学他	9	125	38	73	236	167

ふれあいホール(通いの場)利用状況
 創作的活動と生産活動の機会の提供

地域交流の場の提供	<p>美作保健センターや美作市社協各支所などで、ふれあいホール利用者の七宝焼き等の作品を展示しました。今年度はコロナ禍で例年参加していた「元気になろうやフェスタ」が中止になりましたが、障害者週間に向けてマスクや、プラ板をなごみで作成し、勝英管内の市町村窓口へ配布しました。</p> <p>また、地域住民との交流の場（囲碁ボール等）を提供し、障害者に対する理解を深める機会を提供しました。</p>				
	期 日	行 事	場 所	利用者	地域住民
	10月7日（水）	福山地区の方と囲碁ボール交流会	ふれあいホール	11人	12人
広報活動	<p>1)美作市社協広報誌「はい！社協です」になごみの活動を掲載 ①7月号表紙（No.125） 福山地区ボランティアと玉ねぎの収穫で交流 ②3月号表紙（No.129） 利用者作成の貼り絵紹介</p> <p>2)「なごみ通信」の発行 今年度よりなごみの行事やお知らせを周知するため毎月発行し、利用者や関係機関等に配布しました。</p> <p>3)福山地区広報誌「楽行かわら版」になごみの記事掲載</p> <p>福山地区ボランティアとの交流の様子が掲載され、地区住民に対してなごみの活動の周知が行えました。障害者に対する理解が今後広がっていくことが期待されます。</p>				
					
地域住民ボランティア育成事業	<p>「農福連携」による新たな住民ボランティアの養成</p> <p>「農福連携」は、障害者等の農業分野での活躍を通じて自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組で、今年度は福山地区の方から農業体験の誘いを受け、地区で管理しているドリームファームで、苗植えや収穫の体験をしました。地区の方と一緒に農業体験をしながら親睦を深め、障害者に対する理解を深める機会になりました。</p> <p>この活動を通じて、障害のある人も地域で役割を持って生活することができる事例となり参加した障害者も自己肯定感を高めることができました。</p>				
					
期 日	行 事	場 所	利用者	地域住民	
6月3日（水）	玉ねぎ収穫体験	ドリームファーム （福山地区）	17人	24人	
8月28日（金）	ポップコーン収穫体験		14人	12人	
10月5日（月）	芋ほり体験		11人	12人	
12月2日（水）	玉ねぎ苗植え体験		6人	15人	

運営協議会の
開催状況

運営協議会は、障害者団体等の代表者を中心に組織し、美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」の事業の検討及び事業実施上の諸問題について協議を行うために設置しており、令和2年度は3回の運営協議会を開催しました。

美作市障害者地域活動支援センターなごみ運営協議会委員名簿

役 職	氏 名	選 出 区 分
会 長	山 本 敏 子	知的障害者関係の代表（美作市知的障害者相談員）
副 会 長	丸 尾 克 己	精神障害者関係の代表（みまさかクローバーの会会長）
	安 東 眞 理 子	ボランティア関係の代表（みまさかクローバーの会副会長）
委 員	和 田 允 夫	身体障害者関係の代表（美作市身障協会副会長）
	太 田 吉 美	身体障害者関係の代表（美作市身障協会会員）
	大 橋 美 智 子	障がいをもつ児童関係の代表（愛夢皆の会副会長）
	矢 代 順 子	ボランティア関係の代表（メカマルボランティア一歩の会会長）
	柴 山 英 津 子	知的障害者関係の代表（美作市知的障害者相談員）
	中 村 光 秋	ボランティア関係の代表（作東地域社協会会長）
	八 幡 拓 真	その他の保健・医療関係者（美作県民局）
	吉 元 映 子	その他の保健・医療関係者（美作市発達支援センター）
	山 本 恭 子	その他の保健・医療関係者（美作市社会福祉課）

- 第1回運営協議会
期 日：令和2年6月25日（木） 出席人数：10人
協議事項：1) 令和元年度事業報告について
2) 障害理解を広めるボランティア養成講座について
- 第2回運営協議会
期 日：令和2年12月18日（金） 出席人数：7人
協議事項：1) 活動状況について
2) 障害理解を広めるボランティア養成講座について
- 第3回運営協議会
期 日：令和3年3月23日（火） 出席人数：8人
協議事項：1) 活動状況について
2) 次期役員体制について

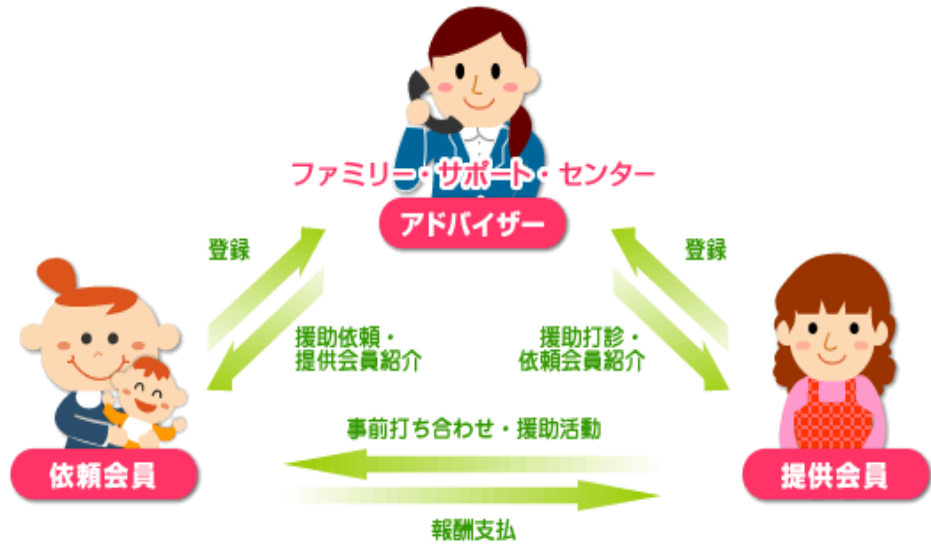
地域活動支援センターⅢ型「むぎの会」

事業概要	<p>美作市からの受託事業で、在宅で生活する障害等のある人が、軽作業を通じて生活のリズムを作り、対人関係の改善や社会に適応する力を養いながら社会復帰を目指すための障害者作業所の運営を行っています。</p> <p>近年では利用者の高齢化が進み体調面での不安が増加していますが、平成30年度より障害者地域活動支援センター「なごみ」を受託したことにより情報の共有等、連携したサービス提供を行っています。</p>							
事業内容	施設名称	美作市障害者共同作業所「むぎの会」						
	事業所形態	地域活動支援センターⅢ型						
	場所	世代交流多目的ホール（美作市社会福祉協議会美作支所）						
	開所日	毎週火～金曜日：週4日開所（祝祭日・お盆、年末年始を除く）						
	開所時間	13：00～16：00						
	作業内容	フルーツキャップの梱包						
		牛乳パックを使用したリサイクルはがき作り						
		新聞紙を使った包装資材の加工（市内特産物販売業者へ納入）						
	利用料	無料						
指導員の配置	2人／日							
利用状況推移	<p style="text-align: right;">利用延人数</p>							
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	登録人数※1	10人	10人	7人	12人	12人	11人	14人
	利用延人数	1,419人	1,532人	1,301人	1,172人	1,384人	947人	1,295人
	開所日数	190日	190日	190日	190日	190日	190日	190日
	※1.登録人数は、当該年度3月の人数を記載							
令和2年度 月別利用状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	開所日数	17日	15日	17日	17日	12日	17日	1,295人
	利用人数	104人	106人	132人	127人	79人	112人	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	開所日数	18日	15日	16日	15日	14日	17日	
	利用人数	122人	97人	120人	112人	88人	96人	

事業概要		<p>要介護高齢者及び障がい者等、公共交通機関での移動が困難な方を対象に、リフト付自動車等の福祉車両を使用して外出を支援し、社会参加を促進する有償運送事業を社協の自主財源を使った単独事業として行っています。</p> <p>ここ数年、利用実績が減少していますが、令和2年4月から正式に事業化された美作市タクシー利用補助事業の利用が増えたことが主な要因と考えられます。</p>							
事業内容	運送主体	美作市社会福祉協議会							
	運送対象者	外出時に車椅子の使用が必要か歩行介助者が必要な方で、単独では公共交通機関の利用が困難な移動制約者として、あらかじめ登録した方及び介助者・付き添いをされる方							
	運送区域	市内を発着点とし、社協営業時間内で往復可能な区域							
	運行支所	大原支所・作東支所							
	営業日	月曜日から金曜日（祝祭日及び12月29日から1月3日除く）							
	営業時間	午前9時から午後5時まで							
	使用車両	美作市社会福祉協議会所有の福祉車両							
	運転者	普通第二種免許を有する者及び指定講習受講修了者							
	利用料	基本料金：30分まで1,100円～以後30分毎に1,100円追加 迎車料金：50円/km ※初乗り場所に最も近い社協支所から初乗り場所まで							
利用状況内訳	登録者数推移		H27	H28	H29	H30	R1	R2	
		大原支所	22人	7人	7人	9人	12人	12人	
		作東支所	11人	11人	11人	13人	8人	8人	
		合計	33人	18人	18人	22人	20人	20人	
	令和2年度登録者内訳		要介護認定者	身障手帳所持者	その他			合計	
		大原支所	8人	2人	2人			12人	
		作東支所	1人	6人	1人			8人	
		合計	9人	8人	3人			20人	
	利用件数		H27	H28	H29	H30	R1	R2	
		大原支所	110件	19件	6件	4件	15件	11件	
		作東支所	24件	166件	153件	21件	9件	1件	
		合計	134件	185件	159件	25件	24件	12件	
	令和2年度利用内容内訳		通院	社会参加	通所			合計	
大原支所		9件		2件			11件		
作東支所			1件				1件		
合計		9件	1件	2件			12件		
移送先	美作市内：9件、津山市：2件、佐用町：1件								

ファミリー・サポート・センター事業 ①

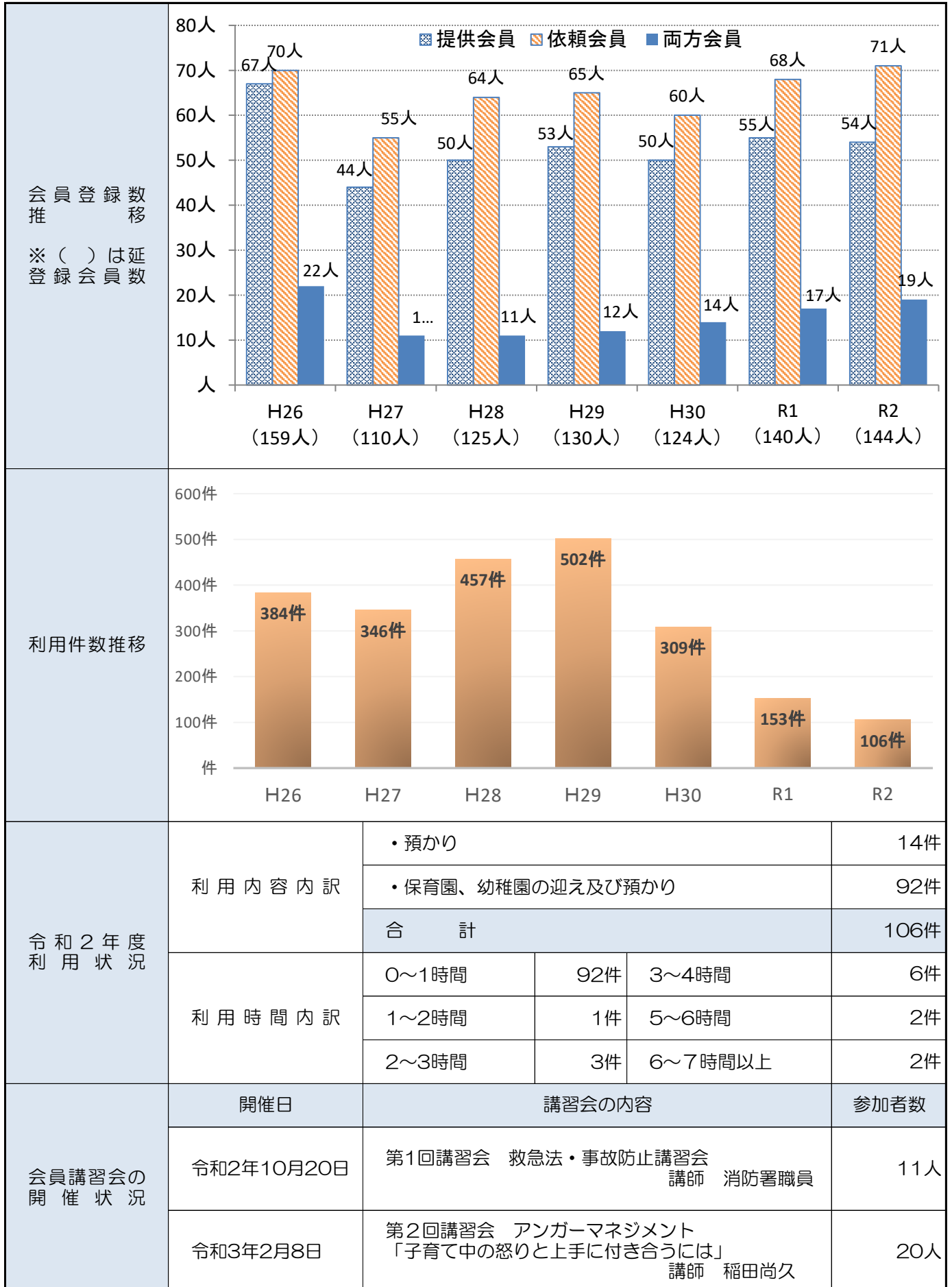
事業概要



美作市の受託事業で、保護者の子育てと就労支援を目的に、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と、子育てのお手伝いができる人（提供会員）が会員となり、相互の信頼と了解の上で一時的にお子さんを預る、子育ての相互援助事業の運営を行っています。美作支所に、「美作市ファミリーサポートセンター」を設置し、仲介斡旋業務を行うアドバイザーが、会員の紹介、援助活動の依頼など会員間の調整等を行っています。

事業内容

名 称	美作市ファミリー・サポート・センター			
センター事務局	美作支所内（世代交流多目的ホール）			
センター受付日時	月～金曜日（祝祭日・お盆、年末年始を除く）9：00～17：00			
会 員 区 分	依頼会員：美作市在住で子育ての援助を受けたい保護者			
	提供会員：美作市在住で子育ての援助活動ができる人：資格不問			
	両方会員：美作市在住で依頼・提供会員の両方の活動が可能な人			
援 助 の 対 象	依頼会員の同居親族で、概ね生後3か月以上10歳未満の乳幼児及び児童			
援 助 活 動 の 内 容	保育施設の保育開始時まで、保育終了後の子どもの預かり			
	保育施設までの子どもの送迎			
	小学校の放課後、放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり			
	仕事と育児の両立のために援助が必要な場合の子どもの預かり			
利 用 料			1時間まで	以降30分毎
	平日	午前7時～午後7時まで	500円	250円
		午後7時～午前7時まで	700円	350円
土・日曜日、祝日及びセンターが定める別の日		700円	350円	
年 会 費	500円	会 員 登 録 料	無料	
補 償 保 険	サービス提供会員傷害保険・賠償責任保険・依頼子供傷害保険			



「食」の自立支援事業

事業概要	美作市の受託事業で、在宅の高齢者等が安心して健康で自立した生活を送ることができるよう、食生活の自立、健康の増進等を図り、併せて安否確認を行うことにより、在宅生活での自立を支援しています。								
事業内容	対象者	1. 概ね65歳以上の一人暮らしで、身体機能が低下している方							
		2. どちらか一方が虚弱な高齢者夫婦世帯							
		3. その他、市長が「食」の自立支援を必要と認める方							
	利用料	400円/1食							
提供日	大原支所	月～日曜日（週7日）	配達方法		大原支所	刈払機-人材センター			
	作東支所	月～金曜日（週5回）			作東支所	臨時配達員			
	英田支所	月～金曜日（週5回）			英田支所	弁当業者			
（令和3年3月末推定） 利用実人数推移									
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	大原支所	59人	64人	43人	36人	41人	42人	39人	
	作東支所	33人	39人	30人	28人	27人	28人	45人	
	英田支所	14人	12人	17人	17人	14人	10人	11人	
	合計	106人	115人	90人	81人	82人	80人	95人	
配食利用数推移 （単位/食）									
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	大原支所	12,492食	12,770食	10,159食	7,351食	7,835食	7,544食	7,955食	
	作東支所	4,068食	5,775食	4,834食	3,884食	4,757食	3,943食	5,195食	
	英田支所	1,378食	1,600食	1,664食	2,517食	2,310食	1,865食	1,437食	
	合計	17,938食	20,145食	16,657食	13,752食	14,902食	13,352食	14,587食	

生活管理指導員派遣事業

事業概要		生活管理指導員派遣事業は美作市の受託事業で、概ね65歳以上の高齢者を対象に、基本的な生活習慣が欠如していたり、対人関係が成立しにくいなどの社会適応が困難な高齢者に対して、生活管理指導員（ホームヘルパー等）を派遣し、日常生活に対する指導や支援を行い、要介護状態への進行を予防し、自立した生活の向上を図ります。							
事業内容		対象者	基本的な生活習慣が欠如していたり、対人関係が成立しない等の社会適応が困難な高齢者。「要支援」及び「要介護」認定者は利用できない。						
		サービス内容	1. 日常生活に関する支援・指導（基本的な生活習慣を習得の支援・指導）						
			2. 家事に対する支援と指導						
			3. 対人関係の構築のための支援と指導（近隣住民との関係修復等）						
		利用者負担金	200円/1時間当たり		※委託金額 1時間当たり2,780円				
実人数推移		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	大原支所	—	—	—	—	—	—	1人	—
	作東支所	—	1人	—	1人	1人	—	—	
	合計	人	1人	—	1人	1人	—	1人	—
訪問回数推移		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	大原支所	—	—	—	—	—	—	5回	—
	作東支所	—	8回	—	33回	19回	—	—	
	合計	—	8回	—	33回	19回	—	5回	—

産後ヘルパー派遣事業

事業概要		美作市の受託事業で、産後1年以内の産婦を対象に家事の支援や授乳、おむつ交換等の育児に関する支援を行います。			
事業内容		対象者	美作市内に住所を有する産後1年以内の産婦		
		サービス内容	1. 家事に対する支援（食事の準備、洗濯、掃除、買い物、関係機関との連携）		
			2. 育児に対する支援（授乳の手伝い、おむつ交換・着替え、沐浴、育児環境の整備）		
		利用者負担金	500円/1回当たり		
		委託金額	1回当たり2,780円		
派遣回数等	1. 1回の出産ごとの利用上限は15回（多胎児は30回）				
	2. 1回当たりの利用上限は2時間				
利用状況		利用実人数	訪問回数		
	合計	2人	12回		

共同募金配分金事業

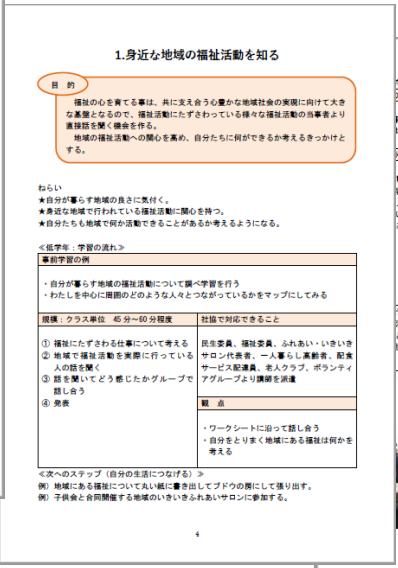
事業概要		<p>●募金期間：10月1日～12月31日 戸別・法人・街頭・学校・職域等で募金活動を展開</p> <p>市民の募金への協力とそれぞれの支所で募金を適切に配分することで、民間財源を有効に活用するとともに、市民の福祉への参加と関心を高めています。</p> <p>共同募金の配分金は、旧町村域の福祉活動の財源として、全て還元することを基本に事業を実施していますが、障害者の当事者団体や家族会への支援の必要性、ボランティアグループの多様な活動や、新たな福祉ニーズに対応するために、令和2年度より配分内容を見直し、従来の地域配分に市域枠配分を加え（配分額890,000円）活用しました。</p>												
		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2
募金額推移 (単位：円)		目標額	5,100,000円	5,100,000円	5,000,000円	5,000,000円	4,900,000円	4,800,000円	4,800,000円					
		実績額	4,559,592円	4,558,532円	4,345,067円	4,280,730円	4,459,708円	4,305,592円	4,260,918円					
		達成率	89.4%	89.4%	86.9%	85.6%	91.0%	89.7%	88.8%					
地域別実績 (単位：円)			勝田地域	大原地域	東栗倉地域	美作地域	作東地域	英田地域	合計					
		目標額	500,000円	630,000円	170,000円	2,030,000円	1,010,000円	460,000円	4,800,000円					
		実績額	597,648円	540,385円	184,205円	1,665,184円	911,441円	362,055円	4,260,918円					
		達成率	119.5%	85.8%	108.4%	82.0%	90.2%	78.7%	88.8%					
募金ボランティア			勝田地域	大原地域	東栗倉地域	美作地域	作東地域	英田地域						
		募金ボランティア団体名	民生委員	日赤協賛員会	民生委員	福祉委員	区長	部落長						
配分事業内訳		決算額	主 な 実 施 事 業											
		勝 田	223,000円	高齢者料理教室、地域社協助成（1人暮らしの会）、介護者家族の会助成、勝田地域ボランティア連										
		大 原	153,000円	地域社協助成（一人暮らしの会）、コミュニティカフェ助成、介護者家族の会										
		東栗倉	63,000円	サロン配布用非接触式デジタル体温計、地区社協助成										
		美 作	467,000円	地域社協助成、美作地域一人暮らしの会助成、地区社協一人暮らしの会助成 美作地域ボランティア連絡協議会助成										
		作 東	260,000円	地区社協助成、一人暮らしの集い助成										
		英 田	104,000円	地区社協助成										
		市域枠	890,000円	1)障害児者福祉活動費 みまさかクローバーの会、がんばろう会、障害児者親の会、愛夢皆の会、むぎの会、にこにこ会、作東親の会 2)児童・青少年福祉活動費 子ども食堂助成、居場所づくり助成 3)ボランティア活動育成事業費 勝田サロンの会、お話の会このゆびとまれ、介護予防サポーターつくし会 ささゆり会、ボランティアグループ「ぼけっと」、日赤協賛員会、でこぼん、あすなる、おおはら語りの会「昔こっぶり」、手話サークルさくらんぼの会、みまさか点字サークル、要約筆記サークル、ほがらか会、手話サークルあおぞら、マジック同好会、観光ボランティアガイド、民話の会ほっこり、たんぼほの会、日本語支援みまさかの会、みまさか朗読の会、一歩の会、すみれ会、みまさか子育てサポートっこ、江見福祉ボランティア、栗井福祉ボランティア、吉野福祉ボランティア、サポーター作東、かほちゃの馬車、手話サークル「きらら」お話ししゃぼぼ、ボランティアグループなどでしこ英田										
赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業		岡山県共同募金会が公募する地域住民の地域福祉活動を支援する助成事業に、本会からも申請し30万円の助成金が交付された。助成金は、「福祉ネットワークづくり事業」の財源に充当。												

<p>事業概要</p>	<p>美作市の補助金を受け、ボランティアの育成・支援を行っています。少子高齢化により支える側が減少し支えられる側が増加している美作市において、市民参加による助け合い活動を推進するためには、ボランティアを中心に新たな担い手を増やすことが重要です。市内のボランティア人口を増やすために、ボランティア活動に関する情報発信やボランティア登録を促進するとともに、全ての市民に向けた福祉教育や講座等の学習の場を提供し、誰もがボランティア活動に参加し、活動ができる環境づくりを支援することを目的に令和2年4月1日に美作市社協ボランティアセンターを設立しました。</p> <p>また、平時より災害に備えた仕組みとして常設型の災害ボランティアセンターを設置し活動についての広報・啓発・情報発信、また運営協力者の事前登録・育成、資機材整備等様々な事業を行いながら災害に備えてまいります。</p> <p>令和2年度はコロナ禍により、様々なボランティア活動や福祉教育、講座の開催ができませんでした。</p>			
<p>美作市社協ボランティアセンター</p>	<p>○美作市社協ボランティアセンターの機能充実にに向けた計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉出前ステーションと連携したボランティアセンターのコーディネート機能の充実 ②ボランティアグループの育成・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・分野別（高齢者、障害者、子育て、地域福祉）の部会開催（グループ同士の情報交換、交流会：年1回） ・ボランティア登録と活動保険の加入斡旋 ③人材の育成（各種養成講座・研修会等の開催） <ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成講座の開催 ・「障害理解を広めるボランティアさん」養成講座の開催 ・ボランティア講演会の開催（2年に1回開催：次回令和3年度） ・市社協広報誌を通じたボランティア紹介：「輝くボランティア」 ④「夏のボランティア体験事業」の実施 ⑤市内の小・中・高校生に向けた体験型福祉教育の開催とメニュー作成 ⑥市内地区社協に向けた「地域福祉講座」の開催 ⑦常設災害ボランティアセンターの設置 <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンターの研修（毎年開催） ・災害ボランティアセンター模擬訓練（毎年開催） ・災害ボランティアセンター運営協力登録者の募集と育成 ・災害ボランティアセンターの広報、啓発及び情報提供 			
<p>ボランティアセンター登録グループ一覧</p>	<p>登録団体数</p>	<p>30団体</p>		
	<p>登録会員数</p>	<p>640人</p>		
	<p>地域名</p>	<p>グループ名</p>	<p>会員数</p>	<p>主な活動</p>
	<p>勝田 (3)</p>	<p>勝田サロンの会</p>	<p>57名</p>	<p>勝田地区内の高齢者サロン活動</p>
		<p>お話の会 このゆびとまれ！</p>	<p>7名</p>	<p>絵本の読み聞かせ</p>
		<p>介護予防サポーターつくし会</p>	<p>24名</p>	<p>高齢者の介護予防体操</p>
	<p>大原 (6)</p>	<p>ささゆり会</p>	<p>7名</p>	<p>高齢者加の手伝い、子育てサロン</p>
		<p>ボランティアサークル「ぼけっと」</p>	<p>8名</p>	<p>絵本の読み聞かせ・託児・サロン等</p>
		<p>日赤岡山県支部大原分区協賛員会</p>	<p>78名</p>	<p>救護ボランティア</p>
		<p>でこぼん</p>	<p>17名</p>	<p>介護予防体操教室のサポート</p>
		<p>あすなろ会</p>	<p>5名</p>	<p>男性料理教室の手伝い</p>
		<p>おおはら語りの会 昔こっぴり</p>	<p>8名</p>	<p>民話の語り部</p>

ボランティア活動推進事業 ②

	地区名	グループ名	会員数	主な活動
ボランティアセンター登録グループ一覧	美作 (13)	手話サークル さくらんぼの会	9名	手話サークル（夜の部）
		美作手話サークル あおぞら	10名	手話サークル（昼の部）
		みまさか子育て клуб「こっこ」	24名	参加日の預かり保育・乳幼児サロン
		美作要約筆記サークル	9名	講演会等での要約筆記
		みまさか朗読の会	9名	地域との交流・読み聞かせ
		たんぼぼの会	11名	高齢者サロン支援・友愛訪問等
		一歩の会	5名	精神障害者との交流会、作業所支援
		美作傾聴ボランティア ほがらか会	12名	高齢者宅等での傾聴訪問活動
		すみれ会	56名	高齢者の介護予防体操
		美作マジック同好会	15名	手品の披露
		みまさか民謡の会 ほっこり	9名	民謡の語り部
		美作市観光ボランティアガイドの会	16名	市内の各所旧跡、神社仏閣等の観光ガイド
		日本語支援 みまさかの会	8名	外国出身者への日本語支援
	作東 (6)	吉野福祉ボランティアの会	55名	一人暮らし高齢者の見守り・ふれあい活動
		江見福祉ボランティアの会	31名	高齢者サロン・ミニデイ・友愛訪問
粟井福祉ボランティアの会		22名	見守り訪問活動・ちょっとだけお助け隊	
サポーター作東		72名	介護予防体操の普及	
かぼちゃの馬車		11名	人形劇、ペープサート、読み聞かせ他	
手話サークル「きらら」		5名	手話学習・ろう者との交流・施設訪問	
英田 (2)	ボランティアグループ「なでしこ英田」	29名	介護予防体操の普及	
	絵本の読み聞かせ会 お話ししゃポッポ	11名	託児・読み聞かせ・子育てサロン	
ボランティア養成講座の開催	<p>令和2年度 手話奉仕員養成講座 入門課程</p> <p>受講者：14名 修了者：6名</p> <p>6月6日～11月25日手話奉仕員の養成講座入門課程を全25回開催</p> <p>会場：美作市民センター</p>			
ボランティア育成活動	<p>2020 夏のボランティア体験事業</p> <p>市内の中・高校生が、夏休み期間を利用して高齢者施設等でボランティア体験をする「2020夏のボランティア体験事業」は、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止しました。</p>			

福祉教育ガイドブックの作成



「福祉教育ガイドブック(小学校編)」


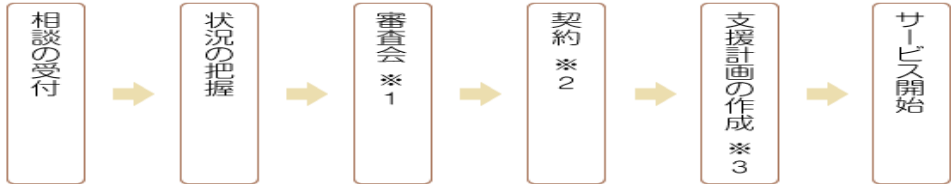
美作市内の小学生・中学生を対象に「将来の地域福祉の担い手を地域ぐるみで育む」ことを目的に福祉教育の充実に取り組んでいます。従来から行っていた高齢者疑似体験やアイマスク体験、車いす体験に新たなプログラムを加えた「福祉教育ガイドブック」の小学校編・中学校編を作成しました。

ガイドブックは小中学校の先生と協議し、福祉教育を通じて、子供の自主性を育み、自ら考え行動するアクティブラーニングや実際に自分たちが住む地域でボランティア活動を実践するサービスマーケティングの手法を取り入れたプログラムになっています。

このガイドブックを活用することによって、限られた時間の中でより効果的に福祉教育を進めていくことが出来るようになりました。

所轄支所	期 日	開催場所	対 象	人数	内 容
勝 田	令和2年11月10日	勝田中学校	中学1年生	18名	認知症サポーター養成講座
大 原	令和2年10月2日	大原小学校	小学4年生	20名	障害理解アイマスク体験
	令和2年10月9日		小学4年生	20名	視覚障害者との交流
	令和2年12月11日	大原中学校	中学1年生	43名	アイマスク・車椅子体験
美作	令和2年9月29日	美作北小学校	小学4年生	40名	社協・福祉について
	令和2年10月6日		小学4年生	40名	障害理解アイマスク体験
	令和2年10月13日		小学4年生	40名	視覚障害者との交流
作 東	令和2年11月19日	作東中学校	中学1年生	38名	アイマスク・車椅子体験・高齢者疑似体験

日常生活自立支援事業 ①

<p>事業概要</p>	<p>判断能力の不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が地域で自立した生活を送れるよう、美作市社協と利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助、日常の金銭管理、書類預かり等のサービスを行っています。平成27年から各地で事業説明会や関係機関との連携強化を図り、困難事例についても積極的な契約を行った結果、人口当たりの事業利用者数が、県内で最も多く県平均の5.3倍の利用者数となっています。 令和2年度は、コロナ禍により支援員による訪問や施設での面談が制限され、職員が対応するケースが増加しました。 【人口千人当たりの利用者数：2.28人（県内平均0.43人）令和3年3月末現在】 ※政令指定都市のため岡山市を除く</p>	
<p>事業内容</p>	<p>サービス内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 福祉サービスの利用援助 <ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスの利用や利用を止める手続き 福祉サービスの利用料を支払う手続き 福祉サービスの苦情解決制度を利用する手続き 日常的な金銭管理 <ul style="list-style-type: none"> 年金や福祉手当などの受領に必要な手続き 税金、社会保険料、医療費、公共料金の支払手続き 日常的な生活費の払戻し、預け入れなどの手続き 書類等の管理 <ul style="list-style-type: none"> 金融機関の貸金庫で、預貯金通帳、年金証書、権利証、契約書類、保険証書、印鑑の大切な書類の預かり 
	<p>対象者</p>	<p>認知症高齢者、知的・精神障害者の方で、日常生活を営むのに必要な判断などが本人のみでは適切に行うのが困難な方。</p>
	<p>利用料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 福祉サービスの利用援助・日常的な金銭管理サービス 1,100円/1時間＋交通費 ※1時間を超える場合は30分毎に550円加算 書類等の預かりサービス：年間5,000円
	<p>サービス提供頻度</p>	<p>福祉サービス利用援助・日常的な金銭管理サービスの定期的な支援頻度は、概ね月1～4回程度</p>
	<p>日援事業専門員</p>	<p>相談の受け付けや支援計画の作成、定期的な訪問、関係機関等との調整等のコーディネイト業務をする専門職を1名配置</p>
	<p>生活支援員</p>	<p>支援計画に基づき日援事業専門員の指示を受けて、支払い代行や生活費等のお届け等、具体的なサービスを提供する生活支援員を14名配置</p>
<p>サービス開始までの流れ</p>		
	<p>審査会</p>	<p>サービスの利用・契約に関して、学識経験者、医師、弁護士、福祉・行政の関係者による「契約締結審査会」を県社協で開催し審査（年6回開催）</p>
	<p>契約</p>	<p>本人のサービス内容についての理解や利用の意思について確認等を行い、本人と美作市社協が契約を締結</p>
	<p>支援計画の作成</p>	<p>支援計画を作成し、金銭の支払いや振込み、生活費のお届けなどのサービス内容や頻度を決定</p>

令和2年度 利用状況		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計				
	令和2年度 新規契約件数	3名	5名	4名	12名				
	令和2年度末 実利用者数	10名	39名	10名	59名				
※契約終了件数1件（死亡：1件）									
令和2年度 支所別利用 契約者内訳									
利用契約者 区分推移									
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	認知症高齢者等	17名	22名	9名	8名	7名	7名	8名	10名
	知的障害者等	9名	8名	21名	27名	33名	31名	34名	39名
	精神障害者等	6名	5名	4名	7名	7名	7名	6名	10名
	合計	32名	35名	34名	42名	47名	45名	48名	59名
活動状況		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
日援事業 専門員	問合せ事業説明	27件	12件	16件	25件				
	相談援助	1,090件	1,312件	1,225件	1,680件				
	合計	1,117件	1,324件	1,241件	1,705件				
生活支援員	稼働状況	570回	464回	603回	464回				
会議・相談会 開催状況	会議名	開催日	内容		参加者等				
	生活支援員連絡会議	偶数月の 第4月曜日	生活支援員の業務内容の 確認と情報交換		社協職員2名 生活支援員 16名				

法人後見事業 ①

事業概要	<p>認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力の低下した方が、地域で自立した生活が送れるよう、また、様々な権利が侵害されないよう、成年後見制度の利用を促進し、市社協が法人として成年後見人、保佐人もしくは補助人になることにより、本人の財産管理や身上監護を行い、適切かつ効果的に援助を行います。なお、適正運営を担保するために、弁護士・司法書士各1名と顧問契約を締結しています。</p>								
事業の開始	平成27年2月4日から本会独自事業として開始								
職員体制	法人後見専門員（社会福祉士）：2名 法人後見支援員：14名								
後見業務の利用要件等	<p>美作市内に在住する方で、他に適切な後見人等が得られない方で、紛争性が無く、身上監護と日常的な金銭管理が中心の方で、次のいずれかに該当する方</p> <p>①市長申立てをする方で、他に適切な後見人等が得られない方 ②原則として、高額な財産を所有せず、他に適切な後見人等が得られない方 ③日常生活自立支援事業利用者で、判断能力が低下した方のうち、①か②に該当する方 ④本会及び法人後見運営委員会が特に必要と認める場合</p>								
受任状況	<p>受任中：21件 受任待ち：0件 終了：1件 （過年度受任件数 H28：5件、H29：13件、H30：17件、R1：19件）</p>								
法人後見状況		性別	年齢	類型	申立人	区分	審判を受けた年月	居所	利用経緯
	1	女性	80代	後見	市長	認知症	平成27年8月	介護医療施設	日援事業
	2	男性	70代	保佐	本人	認知症	平成27年10月	ケアハウス	日援事業
	3	男性	70代	後見	市長	認知症	平成29年1月	病院	市長申立
	4	男性	70代	後見	市長	精神	平成29年2月	病院	市長申立
	5	女性	70代	保佐	市長	精神	平成29年4月	病院	市長申立
	6	女性	70代	補助	市長	知的	平成29年6月	在宅	市長申立
	7	女性	80代	後見	市長	認知症	平成29年6月	病院	市長申立
	8	男性	80代	保佐	市長	精神	平成29年7月	養護	市長申立
	9	女性	80代	後見	市長	精神	平成29年12月	特養	市長申立
	10	男性	60代	保佐	本人	知的	平成30年2月	グループホーム	日援事業
	11	女性	60代	保佐	保佐人	知的	平成30年6月	自宅	日援事業
	12	女性	30代	保佐	保佐人	知的	平成30年10月	グループホーム	日援事業
	13	女性	80代	後見	市長	認知症	平成30年9月	病院	市長申立
	14	男性	80代	保佐	本人	認知症	平成31年3月	グループホーム	日援事業
	15	女性	80代	保佐	町長	認知症	平成31年4月	養護	町長申立
	16	男性	50代	後見	市長	知的	平成31年5月	障害者施設	市長申立
	17	男性	50代	保佐	市長	知的	平成31年6月	障害者施設	市長申立
	18	女性	60代	保佐	市長	精神	令和元年11月	自宅	市長申立
	19	女性	80代	保佐	市長	認知症	令和2年7月	特養	市長申立
	20	女性	80代	後見	市長	認知症	令和2年11月	病院	市長申立
	21	男性	60代	後見	市長	認知症	令和3年1月	病院	市長申立
受任類型内訳：後見9件・保佐11件・補助1件									

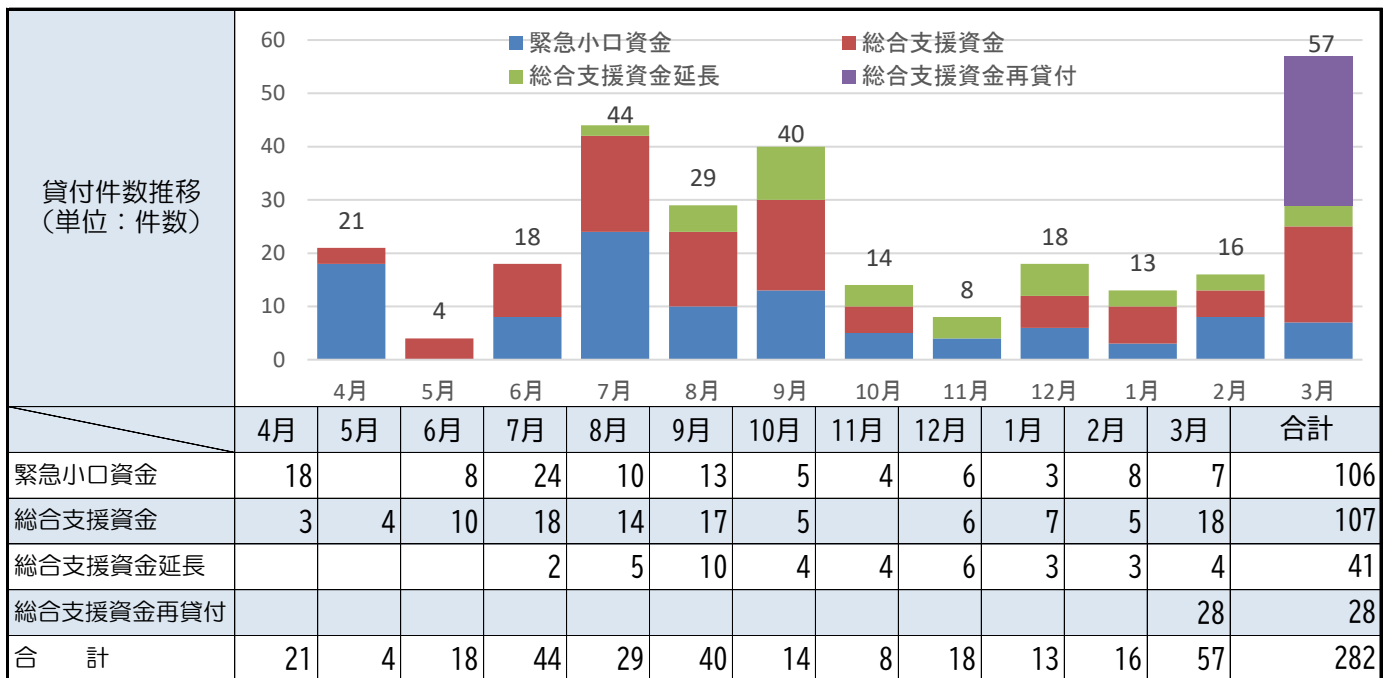
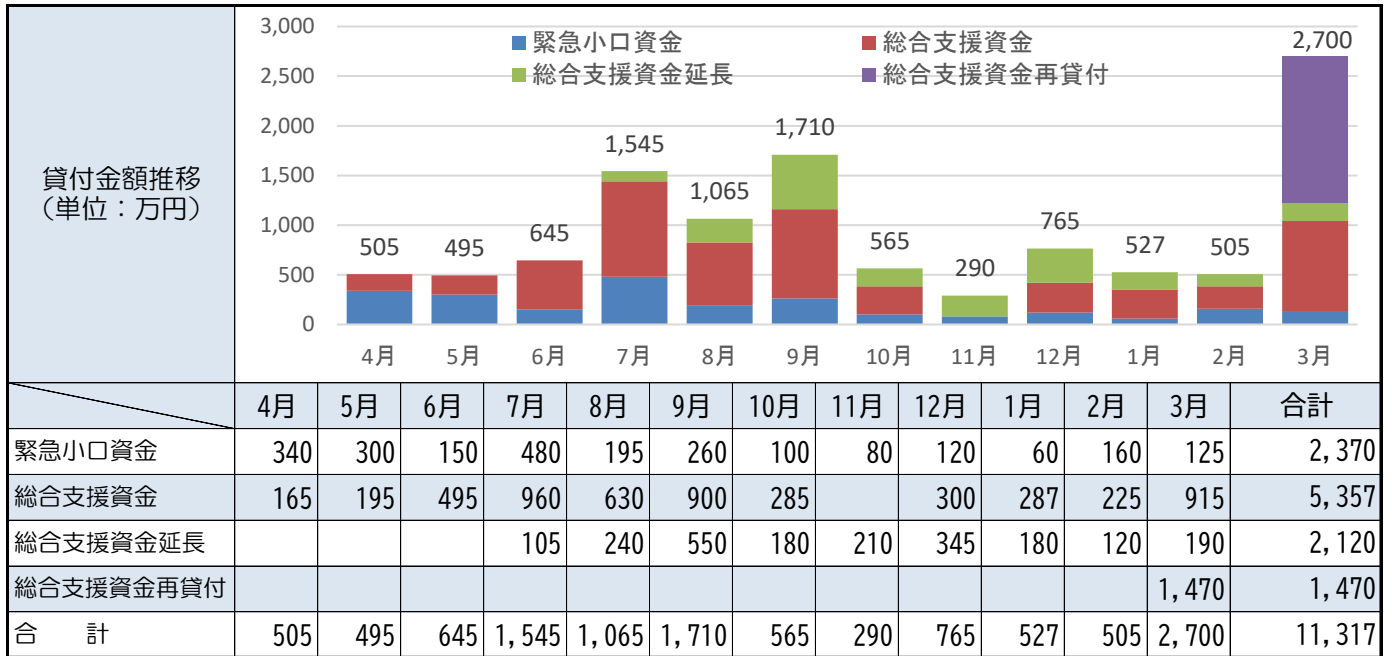
<p>関係機関・団体等との連携</p>	<p>①岡山高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会への参加（コロナ禍のため不参加） ②みまさかネットワークへの参加（コロナ禍のため中止） ③勝英地域自立支援協議会への参加 ④岡山県社会福祉協議会法人後見連絡会への参加</p>			
<p>会議・研修会参加状況</p>	<p>①みまさかネットワーク暮らしの困りごと相談会（コロナ禍のため中止） ②「明るくてやさしい成年後見制度ちゅうごくブロックセミナーin岡山2021」（岡山県社協主催） ③市民後見人フォローアップ研修参加（7/27、9/28、11/24、1/25、美作市主催）</p>			
<p>成年後見制度広報活動</p>	<p>地区社協関係者や市民、関係団体等を対象に、制度活用に関する広報・啓発活動を実施しました。また、成年後見制度利用促進法と勝英管内の中核機関設置に向けた市町村社協の役割や連携・協働の必要性について、勝英管内市町村社協の関係職員で研修会を開催し情報共有の機会を設けました。（平成28年からの延べ実績：50団体1,040人）</p>			
	<p>開催日</p>	<p>対象団体等</p>	<p>参加人数</p>	
	<p>1</p>	<p>令和2年8月18日</p>	<p>養護老人ホーム塩手荘 職員研修</p>	<p>12人</p>
	<p>2</p>	<p>令和2年10月22日</p>	<p>勝英地域市町村社協職員研修会</p>	<p>12人</p>
	<p>3</p>	<p>令和3年3月11日</p>	<p>美作名倉堂 職員研修</p>	<p>22人</p>
<p>合計</p>	<p>3団体</p>	<p>46人</p>		
<p>市民後見人等養成講座開催</p>	<p>美作市・勝央町・奈義町・西粟倉村の住民を対象に、判断能力が不十分な人の権利と財産を保護する成年後見制度の担い手として、地域住民の視点で支援を行う市民後見人等の養成を目的とする「市民後見人等養成講座」を開催しました。 美作市3名、勝央町1名、奈義町2名、西粟倉村2名が研修を修了し、美作市社協の法人後見支援員等として活躍していただきます。 （過年度実績：平成28年14人、平成29年1人、平成30年2人、令和元年9人）</p>			
	<p>①事業説明会</p>	<p>期 日：令和2年9月10日（木） 会 場：美作市社会福祉協議会美作支所 参加者：16名</p>		
	<p>②講座内容</p>	<p>1. 岡山県主催市民後見人養成研修 日 程：令和2年10月6日～11月20日（7日間） 会 場：津山総合福祉会館 2. 美作市等が実施する研修 日 程：令和2年12月4日（金）～12月23日（水）中の2日 内 容：1) 美作市の高齢者・障害者サービスに関する講座 2) 特別養護老人ホーム蛸流荘 スタートワーキングサポート視察 3) 日常生活自立支援事業生活支援員との同行訪問</p>		
<p>③登録等</p>	<p>市民後見人バンク登録の意思確認面接（面接者：9名） 期 日：令和3年1月22日（金） 会 場：美作市民センター 面接官：大山弁護士、松本司法書士、行政職員2名、社協職員2名</p>			

生活福祉資金貸付事業

事業概要	<p>生活福祉資金貸付制度は、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、その世帯の自立更正等を図ることを目的としています。市町村社協は、貸付と償還の事務委託を受けて、窓口指導等を担っています。</p> <p>令和2年3月25日から、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等により、収入の減少があった世帯の資金需要に対応するため、生活福祉資金緊急小口資金（特例貸付）の貸付手続きを行いました。（次ページに詳細を掲載）</p> <p>令和2年度はコロナ禍により岡山県社協より償還状況に関する情報提供がなかった為、前年度に新規貸付件数を追加しました。</p> <p>【資金種類】 総合支援資金・更正・福祉・住宅・教育支援・療養介護・災害援護・離職者支援・長期生活支援・緊急小口資金・緊急小口資金（特例貸付）</p>								
協働の対象	民生委員児童委員								
貸付件数推移	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	49件	39件	37件	46件	40件	35件	35件	39件	39件
令和2年度末 継続貸付件数			勝田支所	大原支所	東粟倉支所	美作支所	作東支所	英田支所	合計
	総合支援資金		1件				1件		2件
	更生資金		1件	3件		1件	3件		8件
	生活資金								
	福祉資金					1件	2件	2件	5件
	住宅資金		2件	6件		1件	2件		11件
	教育支援資金						1件	3件	4件
	離職者支援資金					1件		1件	2件
	緊急小口資金			2件	1件	4件			7件
	合計		4件	11件	1件	8件	9件	6件	39件
令和2年度 相談件数			勝田支所	大原支所	東粟倉支所	美作支所	作東支所	英田支所	合計
	延べ相談件数		8件	12件	5件	169件	125件	38件	357件
令和2年度新規貸付状況内訳			勝田支所	大原支所	東粟倉支所	美作支所	作東支所	英田支所	合計
緊急 小口資金	貸付件数		1件					1件	
	貸付額		100,000円					100,000円	
教育支援資金 (就学支度金)	貸付件数						1件	1件	
	貸付額						240,000円	240,000円	
福祉資金 (福祉費)	貸付件数						1件	1件	
	貸付額						278,000円	278,000円	
合計	貸付件数		1件				2件	3件	
	貸付額		100,000円				518,000円	618,000円	

<p>事業概要</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少があった世帯の資金需要に対応するため、生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金及び総合支援資金(生活支援費)について、特例措置が設けられました。資金の種類は4種類あり、令和2年度の実績は、貸付件数297件、総貸付金額1億1,317万円、貸付実人数153人となりました。</p> <p>コロナ禍で先行き不透明な中、貸付対象者の継続的な支援が求められており、貸付対象者153人中、生活困窮者自立支援事業の自立相談支援に74人を繋ぎ、67人を家計改善支援事業、9人を就労支援事業、8人を住居確保給付金により生活再建に向けた支援を行いました。その結果、20人が家計改善や就労先が決まり、税の滞納等の支払いをすることが出来ました。</p> <p>①緊急小口資金 緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に上限20万円を貸付 ②総合支援資金 生活再建までの間に必要な生活費用として上限月20万円を3か月以内貸付 ③総合支援資金延長 総合支援資金特例貸付を利用し、なおも生活困窮の状況が続く世帯に対して、上限20万円を3か月以内貸付 ④総合支援資金再貸付 緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の利用が終了し生活に困窮している世帯に対して、上限20万円を3か月以内貸付</p>																											
<p>事業実施状況</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、生活資金でお悩みの皆さまへ 2021年3月19日時点</p> <p style="text-align: center;">一時的な資金の緊急貸付に関するご案内</p> <p>岡山県社会福祉協議会では、低所得世帯等に対して、生活費等の必要な資金の貸付け等を行う生活福祉資金貸付制度を実施しております。</p> <p>本制度につき、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、償還免除の特例を設けた緊急小口資金等の特例貸付を実施します。</p> <p style="text-align: center;">申込受付期間: 令和2年3月25日(水)～令和3年6月30日(水) <small>※申込受付は、令和3年6月30日消印有効とします。</small></p> <p style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症対策のため、郵送での申込みにご協力ください。</p> <p>貸付手続の流れ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">美作市貸付金総額</td> <td style="width: 30%;">113,170,000円</td> <td style="width: 50%;">(297件)</td> </tr> <tr> <td> 緊急小口資金</td> <td>23,700,000円</td> <td>(121件)</td> </tr> <tr> <td> 総合支援資金</td> <td>53,570,000円</td> <td>(107件)</td> </tr> <tr> <td> 総合支援資金延長貸付</td> <td>21,200,000円</td> <td>(41件)</td> </tr> <tr> <td> 総合支援資金再貸付</td> <td>14,700,000円</td> <td>(28件)</td> </tr> <tr> <td>特例貸付実人数</td> <td colspan="2">153人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特例貸付後の支援内訳</td> <td>自立相談支援事業</td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>家計改善支援事業</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>就労支援事業</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>住宅確保給付金</td> <td>8人</td> </tr> </table>	美作市貸付金総額	113,170,000円	(297件)	緊急小口資金	23,700,000円	(121件)	総合支援資金	53,570,000円	(107件)	総合支援資金延長貸付	21,200,000円	(41件)	総合支援資金再貸付	14,700,000円	(28件)	特例貸付実人数	153人		特例貸付後の支援内訳	自立相談支援事業	74人	家計改善支援事業	67人	就労支援事業	9人	住宅確保給付金	8人
美作市貸付金総額	113,170,000円	(297件)																										
緊急小口資金	23,700,000円	(121件)																										
総合支援資金	53,570,000円	(107件)																										
総合支援資金延長貸付	21,200,000円	(41件)																										
総合支援資金再貸付	14,700,000円	(28件)																										
特例貸付実人数	153人																											
特例貸付後の支援内訳	自立相談支援事業	74人																										
	家計改善支援事業	67人																										
	就労支援事業	9人																										
	住宅確保給付金	8人																										

生活福祉資金特例貸付事業②

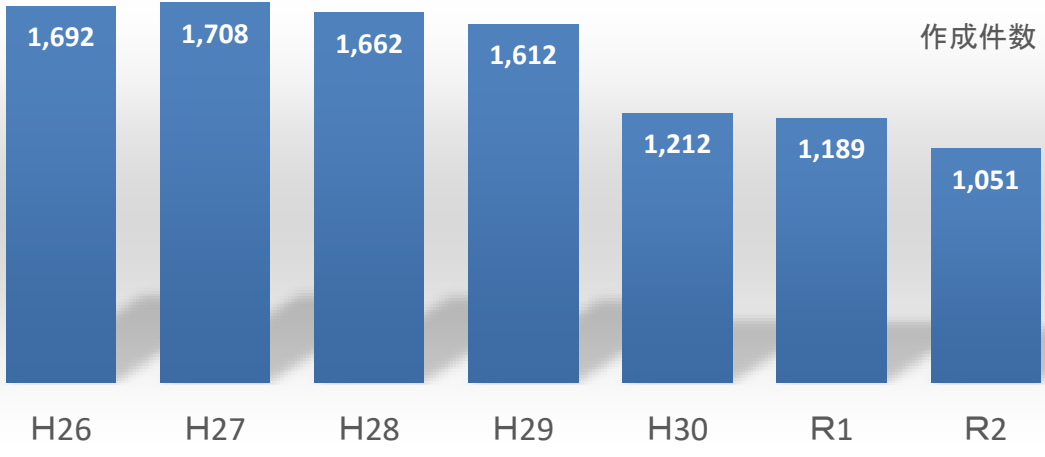
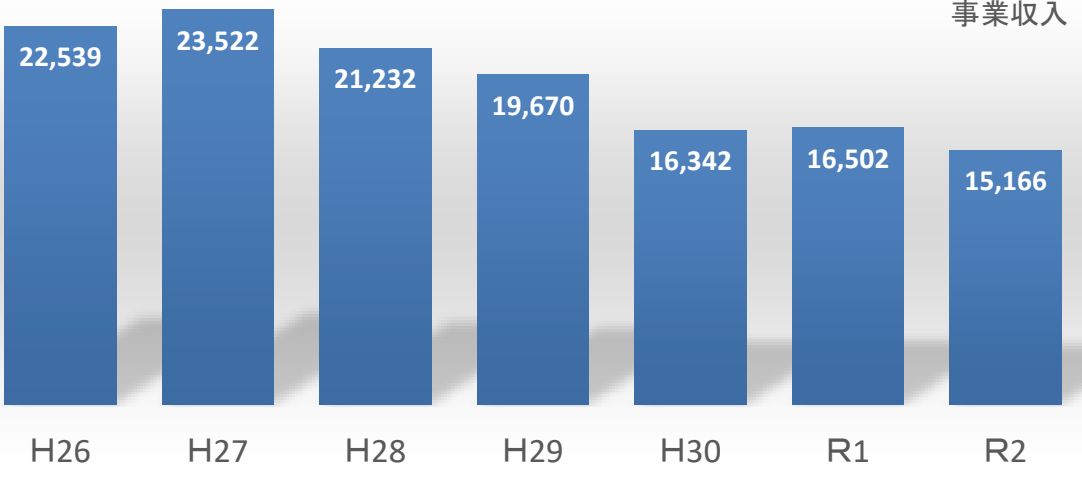


地域別貸付状況		勝田	大原	東栗倉	美作	作東	英田	合計
緊急小口資金	件数	7件	7件	2件	67件	26件	12件	121件
	金額	130万円	135万円	40万円	1,320万円	515万円	230万円	2,370万円
総合支援資金	件数	5件	5件	1件	54件	28件	14件	107件
	金額	255万円	285万円	60万円	2,702万円	1,320万円	735万円	5,357万円
総合支援資金延長	件数	2件	2件	1件	18件	13件	5件	41件
	金額	105万円	120万円	60万円	925万円	610万円	300万円	2,120万円
総合支援資金再貸付	件数		2件		14件	7件	5件	28件
	金額		120万円		690万円	375万円	285万円	1,470万円
合計	件数	14件	16件	4件	153件	74件	36件	297件
	金額	490万円	660万円	160万円	5,637万円	2,820万円	1,550万円	11,317万円

事業概要	<p>美作市公の施設の指定管理者指定に伴い、市内4ヶ所の福祉施設の管理を行っています。指定期間の終了に伴い、令和3年3月31日をもって美作市大原居宅サービスセンター、美作市コスモス苑の施設管理業務を撤退しました。</p>				
管理施設内訳	施設名	住所	所轄		
	1. 美作市大原居宅サービスセンター	美作市古町1850-1	大原支所		
	2. 美作市コスモス苑	美作市東青野844-1	東栗倉支所		
	3. 美作市東栗倉ふれあいセンター				
4. 美作市いきいきゆうゆうの里世代交流多目的ホール（多目的運動広場・遊歩自然公園）	美作市北山401	美作支所			
施設利用状況	施設名	年度	開所日数	利用延人数	管理料
	 <p>美作市大原居宅サービスセンター</p>	H28	255日	5,407人	—
		H29	256日	5,384人	—
		H30	258日	5,281人	—
		R1	257日	5,387人	—
		R2	256日	4,912人	—
	 <p>美作市コスモス苑</p>	H28	254日	3,056人	—
		H29	256日	3,407人	—
		H30	256日	3,863人	—
		R1	257日	3,455人	—
		R2	256日	2,848人	—
	 <p>美作市東栗倉ふれあいセンター</p>	H28	242日	934人	741,000円
		H29	244日	955人	750,000円
		H30	245日	978人	750,000円
		R1	241日	819人	756,944円
		R2	245日	403人	763,889円
	 <p>世代交流多目的ホール</p>	H28	261日	13,031人	1,932,000円
		H29	269日	12,371人	1,971,000円
		H30	264日	10,877人	2,000,000円
		R1	264日	9,279人	2,018,519円
R2		274日	7,847人	2,038,000円	

障害者総合支援事業

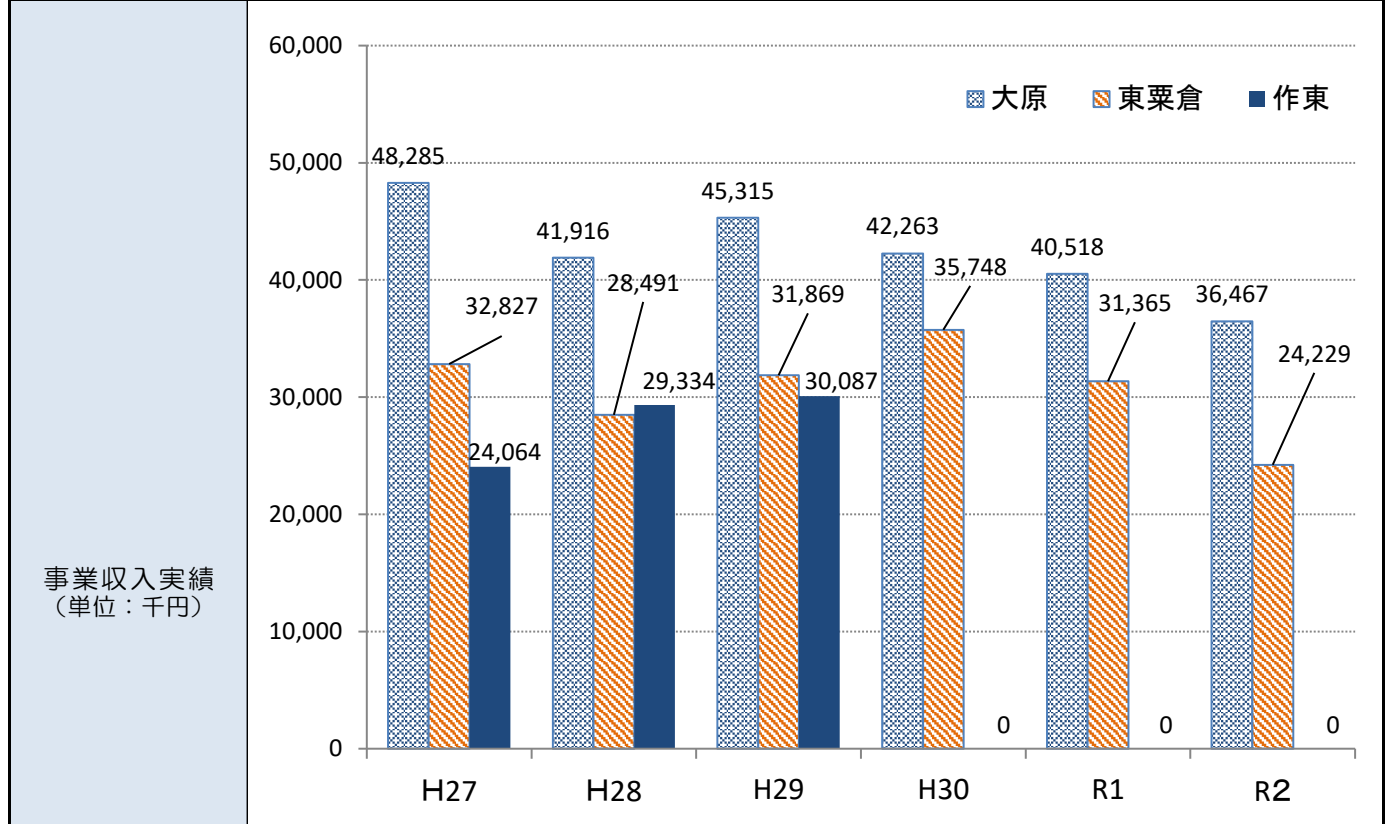
事業概要	障害者総合支援法により、大原、作東の2事業所で、障がい児・者が障害の種類に関係なく共通の福祉サービスを受けられるよう、居宅介護（訪問介護）事業と地域生活支援事業（市受託事業）に取り組んでいます。令和2年3月31日をもって作東事業所を廃止し、令和2年度からは大原事業所よりサービスを提供しています。							
実施事業	支所名	サービス区分						
	大原支所 作東支所	居宅介護（訪問介護：生活援助・身体介護）、地域生活支援事業						
サービス内容	サービス区分	サービス内容						
	居宅介護事業（訪問介護）	利用者の自宅にヘルパーが訪問し、入浴や排泄等の介護（身体介護）や食事などの介助（生活援助）を行います。						
	地域生活支援事業	美作市の受託事業である地域生活支援事業を行っています。障がい児・者の自立した在宅生活を支援するための市町村独自事業で、移動支援・生活サポート・訪問入浴の3事業があり、主に屋外での移動が困難な方に対して外出のための援助をヘルパーが行う移動支援事業を行いました。						
利用状況内訳			利用 実人数	居宅介護（ホームヘルプ）			生活 サポ-ト・ 移動支援	合 計
				生活援助	身体介護	小計		
	大原支所	平成27年度	14人	412時間	723時間	1,135時間	225時間	1,360時間
		平成28年度	14人	410時間	897時間	1,307時間	265時間	1,572時間
		平成29年度	10人	419時間	903時間	1,322時間	274時間	1,596時間
		平成30年度	11人	473時間	779時間	1,252時間	160時間	1,412時間
		令和元年度	9人	514時間	854時間	1,368時間	63時間	1,431時間
		令和2年度	19人	908時間	1,354時間	2,262時間	55時間	2,317時間
	作東支所	平成27年度	9人	451時間	87時間	538時間	19時間	557時間
		平成28年度	8人	596時間	93時間	689時間	20時間	709時間
		平成29年度	9人	543時間	128時間	671時間	—	671時間
		平成30年度	5人	400時間	94時間	494時間	—	494時間
		令和元年度	4人	367時間	—	367時間	11時間	378時間
	合 計	平成27年度	23人	863時間	810時間	1,673時間	244時間	1,917時間
		平成28年度	22人	1,006時間	990時間	1,996時間	265時間	2,281時間
		平成29年度	19人	962時間	1,031時間	1,993時間	274時間	2,267時間
		平成30年度	16人	873時間	873時間	1,746時間	160時間	1,906時間
		令和元年度	13人	881時間	854時間	1,735時間	74時間	1,809時間
令和2年度		19人	908時間	1,354時間	2,262時間	55時間	2,317時間	

<p>事業内容</p>	<p>介護認定された方の居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、必要に応じたサービスが利用できるよう連絡調整を行っています。 令和3年3月31日をもって居宅介護支援事業を民間譲渡しました。 また、障害福祉サービス・障害児通所支援を利用する方のサービス等利用計画を作成する指定特定相談支援事業所「みらい」を同一敷地内に併設し、事業を実施しておりましたが、居宅介護支援事業所の民間譲渡に伴い、美作市障害者地域活動支援センターなごみ内に事業所を移転しました。</p>																										
<p>事業所概要</p>	<p>大原指定居宅介護支援事業所：介護支援専門員3名（正職員2名、嘱託職員1名） 指定特定相談支援事業所「みらい」：相談支援専門員1名（介護支援専門員兼務）</p>																										
<p>ケアプラン作成件数 （単位：件）</p>	 <table border="1" data-bbox="352 1167 1490 1301"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作成件数</td> <td>1,692</td> <td>1,708</td> <td>1,662</td> <td>1,612</td> <td>1,212</td> <td>1,189</td> <td>1,051</td> <td>88.4%</td> </tr> </tbody> </table>										H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	前年比	作成件数	1,692	1,708	1,662	1,612	1,212	1,189	1,051	88.4%
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	前年比																			
作成件数	1,692	1,708	1,662	1,612	1,212	1,189	1,051	88.4%																			
<p>事業収入実績 （単位：千円）</p>	 <table border="1" data-bbox="352 1827 1490 1962"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業収入</td> <td>22,539</td> <td>23,522</td> <td>21,232</td> <td>19,670</td> <td>16,342</td> <td>16,502</td> <td>15,166</td> <td>91.9%</td> </tr> </tbody> </table>										H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	前年比	事業収入	22,539	23,522	21,232	19,670	16,342	16,502	15,166	91.9%
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	前年比																			
事業収入	22,539	23,522	21,232	19,670	16,342	16,502	15,166	91.9%																			
<p>特定相談支援事業所実績</p>	<p>平成30年度作成件数：延べ3件（利用実人数3人） 令和元年度作成件数：延べ9件（利用実人数9人） 令和2年度作成件数：延べ55件（利用実人数9人）</p>																										

通所介護事業①

事業内容	<p>大原、東栗倉の2事業所で、介護予防通所介護事業も併せて実施しています。大原事業所は基準該当サービスとして障害のある方の受け入れも行いました。東栗倉事業所は、定員18名以下の地域密着型通所介護事業所として事業を実施しました。 令和3年3月31日をもって通所介護事業を民間譲渡しました。</p>							
事業所概要	事業所名				定員	サービス提供時間		営業日
	デイサービスセンター大原事業所				35名	5～7時間		月～金曜日 及び祝日
	東栗倉デイサービスセンター事業所				18名	7～9時間		
利用実人数 推移 (R2年度末)		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	大原	43人	50人	49人	57人	51人	49人	47人
	東栗倉	26人	30人	24人	34人	39人	37人	32人
	作東	30人	27人	28人	21人	—	—	—
利用延人数 推移 (単位：人)								
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	前年比
	大原	5,986	5,407	5,355	5,281	5,341	4,912	92.0%
	東栗倉	3,595	3,056	3,407	3,863	3,455	2,848	82.4%
	作東	2,997	3,570	3,181	—	—	—	—
	合計	12,578	12,033	11,943	17,940	8,796	7,760	88.2%

令和2年度 利用状況内訳	利用区分			合計	開所日数	平均 利用者数
	要支援	要介護 1~2	要介護 3~5			
大原事業所	596人	2,881人	1,287人	4,764人	256日	18.6人
東栗倉事業所	662人	1,661人	468人	2,791人	256日	10.9人



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	前年比
大原	48,285	41,916	45,315	42,263	40,518	36,467	90.0%
東栗倉	32,827	28,491	31,869	35,748	31,365	24,229	77.2%
作東	24,064	29,334	30,087	—	—	—	—
合計	105,176	99,741	107,271	78,011	71,883	60,696	84.4%

職員研修の 実施状況	年月日	事業所名	研修内容	参加者数
	令和2年9月23日	デイサービスセンター 大原事業所	新型コロナウイルス 感染症対策について	7名
	令和2年11月27日	大原指定訪問介護事業所	新型コロナウイルス 感染症対策について	12名
	令和2年12月10日	東栗倉デイサービス センター事業所	新型コロナウイルス 感染症対策について	9名
	令和3年12月25日	大原指定訪問介護事業所	高齢者虐待について	12名

訪問介護事業

事業内容	大原指定訪問介護事業所で併せて介護予防訪問介護事業も実施しています。 なお、作東事業所は令和2年3月31日をもって事業所を廃止し、令和2年度からは大原事業所よりサービスを提供しています。							
事業所概要	事業所名				営業日		サービス内容	
	大原指定訪問介護事業所				月～日曜日		身体介護、生活援助	
利用実人数 推移		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	大原	58人	54人	46人	47人	45人	45人	74人
	作東	69人	63人	55人	46人	39人	32人	
訪問時間実績 (単位：時間)								
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	前年対比
	大原	7,380	6,567	7,051	7,278	5,770	8,496	147.2%
	作東	8,478	6,995	6,289	4,228	3,611		0.0%
	合計	15,858	13,562	13,340	11,506	9,381	8,496	90.6%
事業収入実績 (単位：千円)								
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	前年対比
	大原	23,391	23,969	26,112	22,163	20,495	31,669	154.5%
	作東	27,068	23,376	20,704	14,623	12,752		0.0%
	合計	50,459	47,345	46,816	36,786	33,247	31,669	95.3%

